

羽村市地域福祉計画策定基礎調査
《 報 告 書 》

令和5年3月
羽村市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	1
6. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 職業	3
(4) 居住年数	3
(5) 居住地区	4
(6) 居住形態	5
(7) 家族人数	5
(8) 家族構成	6
(9) 家族で当てはまるもの	7
(10) 「ひきこもり」の状態にある方の年齢	7
II 調査の結果	8
1. 地域での暮らしについて	8
(1) 居住地域での暮らしやすさの満足度	8
(1-1) 「居住地域での暮らしやすさの満足度」と「総合的な満足度」の相関分析	10
(2) 安心して暮らしていくために重要なこと	12
(3) 毎日の暮らしで感じている悩みや不安	15
(4) 経済的な問題が生じている理由	18
(5) 悩みや不安の相談相手	21
(6) 隣近所とのつきあい方	24
(7) 今後希望するつきあい方	27
(7-1) 希望するつきあい方（現状と今後との比較）	29
(8) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと	30
(9) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること	33
(10) 住民相互の協力関係の必要性	36
(11) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと	39

(12) 災害時における住民間の相互支援	42
(13) 助け合い・支え合いの意識を育むために必要だと思う取組み	45
(14) 地域でのボランティアやNPO活動への期待度	47
(15) 地域で生活する中で困ったこと	50
2. 地域活動への参加について	52
(16) 地域活動への参加の有無	52
(17) 参加している地域活動	55
(18) 活動に参加しない理由	58
(19) 地域活動への参加条件	61
(20) 今後参加したい地域活動	64
3. 市の福祉施策や制度・サービスについて	66
(21) 羽村市の地域福祉に対する印象	66
(22) 行政や福祉サービスに関する情報入手先	68
(23) 相談窓口や相談機関の認知・利用状況	72
(24) サービスの利用者	74
(25) サービスをスムーズに利用開始できたか	76
(26) 利用したサービスの満足度	78
(27) 福祉サービスが利用しやすい環境整備	80
(28) 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと	83
(29) 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係	86
(30) 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係	89
(31) 用語の認知度	92
(32) 成年後見制度を利用したいか	94
(33) 市民後見人になってみたいか	95
(34) 再犯防止の推進に向けて協力できること	96
(35) 再犯防止の推進に向けて市がすべきこと	98
(36) 身の回りにヤングケアラーと思われる子はいるか	100
(37) ヤングケアラーを見かけたときの対応	101
(38) 民生・児童委員になってみたいか	103
(39) 民生・児童委員になりたくない理由	105
(40) 今後優先して取り組むべき施策	107
(41) 自由回答	111
Ⅲ. 調査票	113

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、20歳以上の市民を対象に、地域福祉を一体的・計画的に推進するための意見・要望などを把握するとともに、第六次羽村市地域福祉計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査の設計

調査対象：羽村市に居住する20歳以上の男女

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査時期：令和4年11月11日～12月7日

調査方法：郵送調査

3. 調査項目

- (1) 地域での暮らしについて
- (2) 地域活動への参加について
- (3) 市の福祉施策や制度・サービスについて
- (4) あなたご自身のことについて

4. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000	380	38.0%

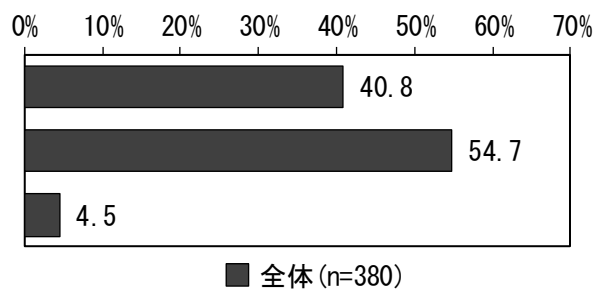
5. 報告書の見方

- ・基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数（調査数）です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足しあわせて100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・クロス集計表は、全体の結果と属性ごとの結果との傾向の違いがわかりやすいように、全体より10ポイント以上高いものには濃い網掛け、10ポイント以上低いものには薄い網掛けをしています。
- ・分析軸の項目に「無回答」があるため、全体のnと合計が一致しない場合があります。

6. 回答者の属性

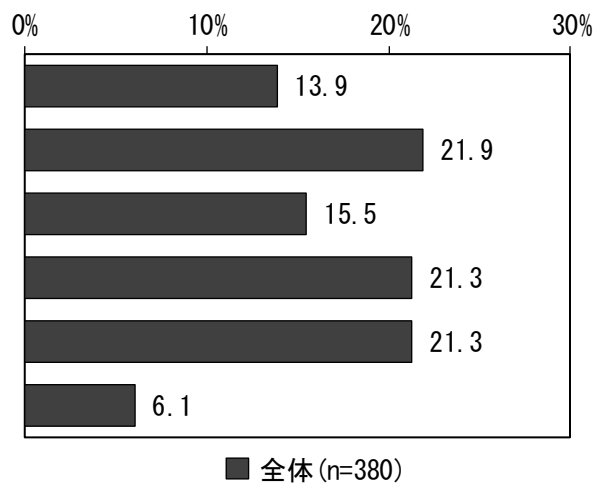
(1) 性別

項目	基数 (n)	構成比 (%)
男性	155	40.8
女性	208	54.7
無回答	17	4.5
全体	380	100.0



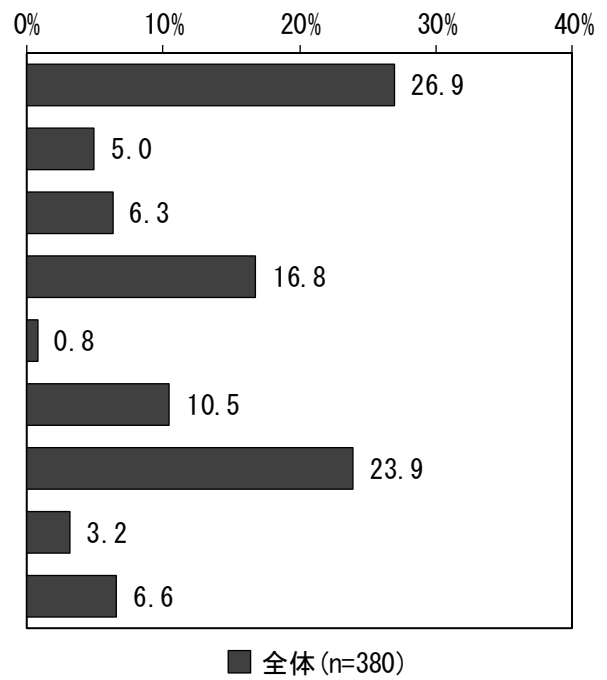
(2) 年齢

項目	基数 (n)	構成比 (%)
20～39歳	53	13.9
40～54歳	83	21.9
55～64歳	59	15.5
65～74歳	81	21.3
75歳以上	81	21.3
無回答	23	6.1
全体	380	100.0



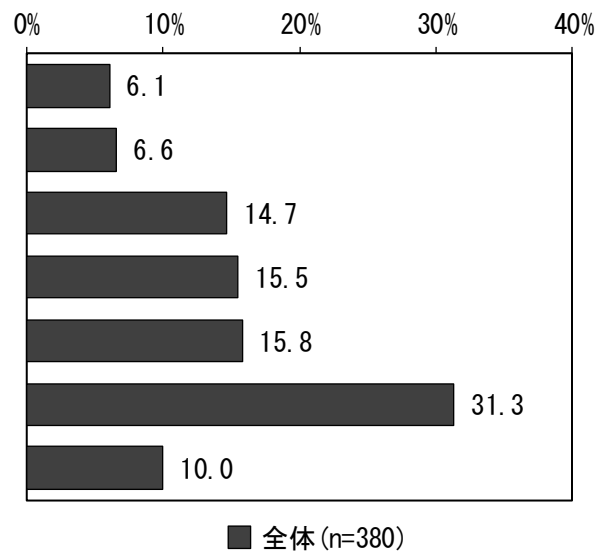
(3) 職業

項目	基数 (n)	構成比 (%)
正社員・正職員	102	26.9
派遣・契約社員	19	5.0
自営業・自由業 (農林業含む)	24	6.3
アルバイト・ パートタイム	64	16.8
学生	3	0.8
家事専業	40	10.5
無職	91	23.9
その他	12	3.2
無回答	25	6.6
全体	380	100.0

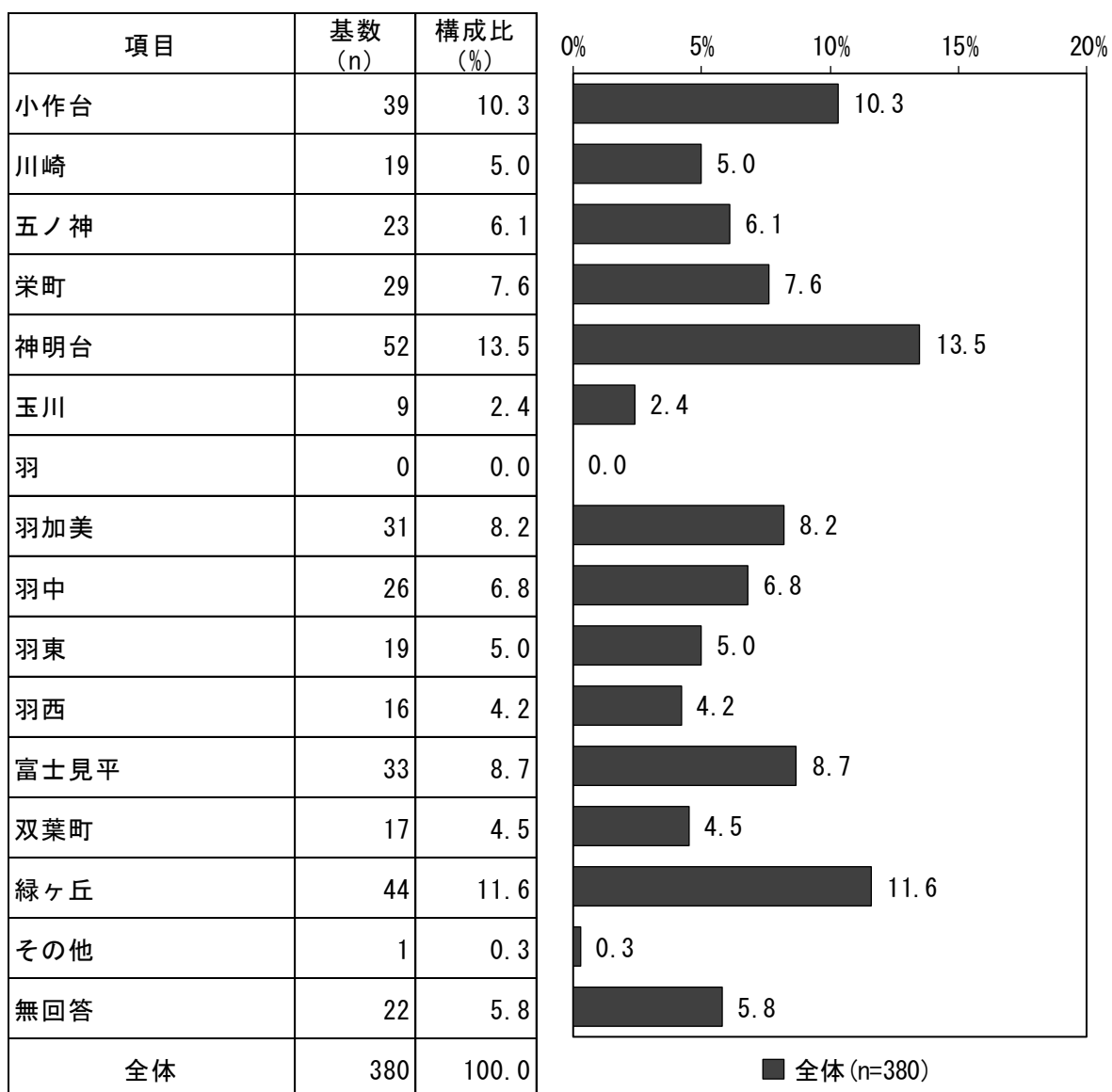


(4) 居住年数

項目	基数 (n)	構成比 (%)
5年未満	23	6.1
5～9年	25	6.6
10～19年	56	14.7
20～29年	59	15.5
30～39年	60	15.8
40年以上	119	31.3
無回答	38	10.0
全体	380	100.0

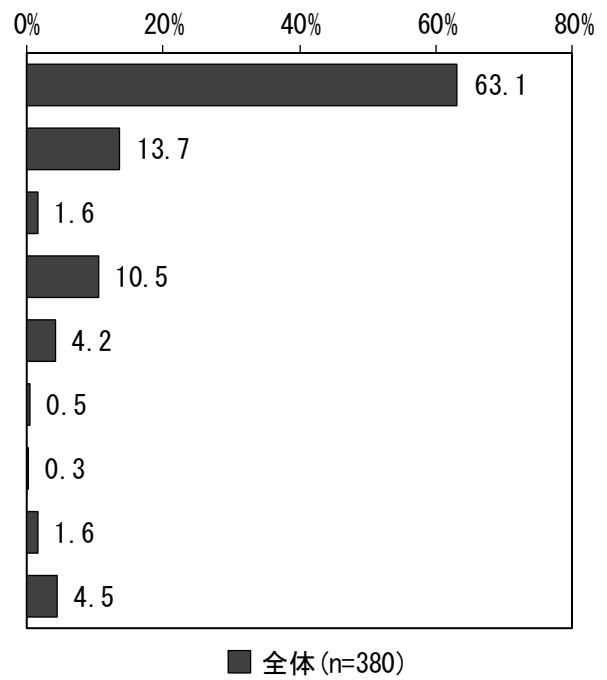


(5) 居住地区



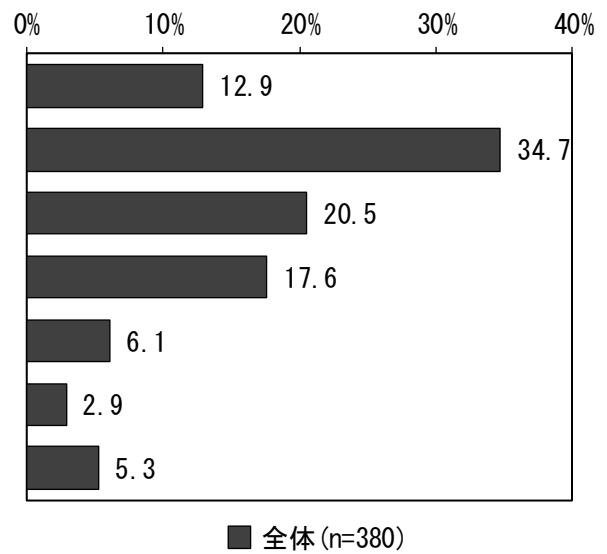
(6) 居住形態

項目	基数 (n)	構成比 (%)
持ち家（一戸建て）	240	63.1
持ち家（マンション などの集合住宅）	52	13.7
民間の賃貸住宅 （一戸建て）	6	1.6
民間の賃貸住宅（マンショ ンなどの集合住宅）	40	10.5
公営住宅	16	4.2
社宅（会社が借り上げて いるアパート等含む）	2	0.5
学生寮	1	0.3
その他	6	1.6
無回答	17	4.5
全体	380	100.0



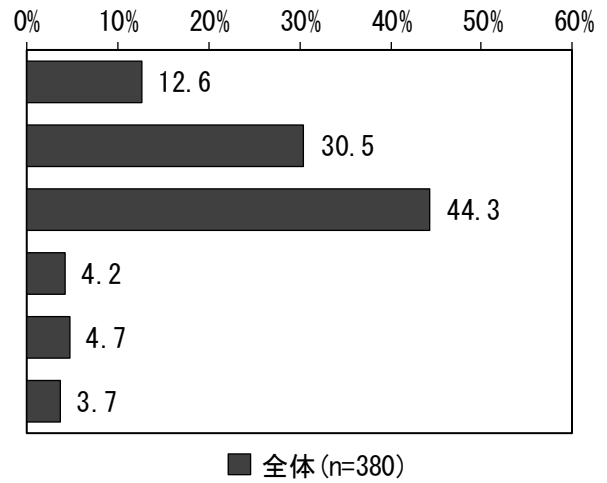
(7) 家族人数

項目	基数 (n)	構成比 (%)
1人	49	12.9
2人	132	34.7
3人	78	20.5
4人	67	17.6
5人	23	6.1
6人以上	11	2.9
無回答	20	5.3
全体	380	100.0



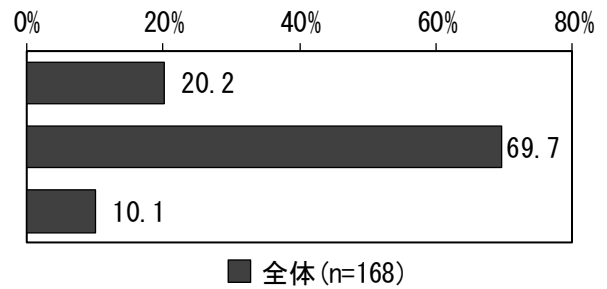
(8) 家族構成

項目	基数 (n)	構成比 (%)
ひとり暮らし	48	12.6
夫婦のみ	116	30.5
二世世代家族	168	44.3
三世世代家族	16	4.2
その他	18	4.7
無回答	14	3.7
全体	380	100.0



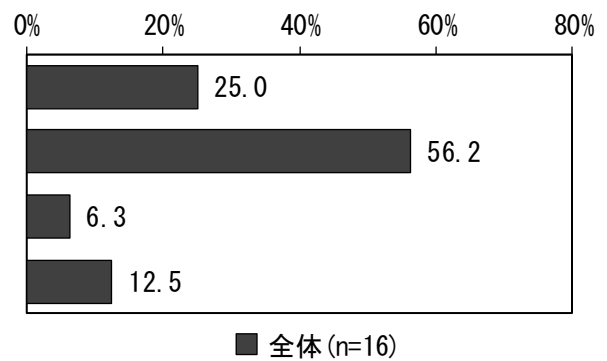
二世世代家族の内容

項目	基数 (n)	構成比 (%)
親と同居	34	20.2
子どもと同居	117	69.7
無回答	17	10.1
全体	168	100.0



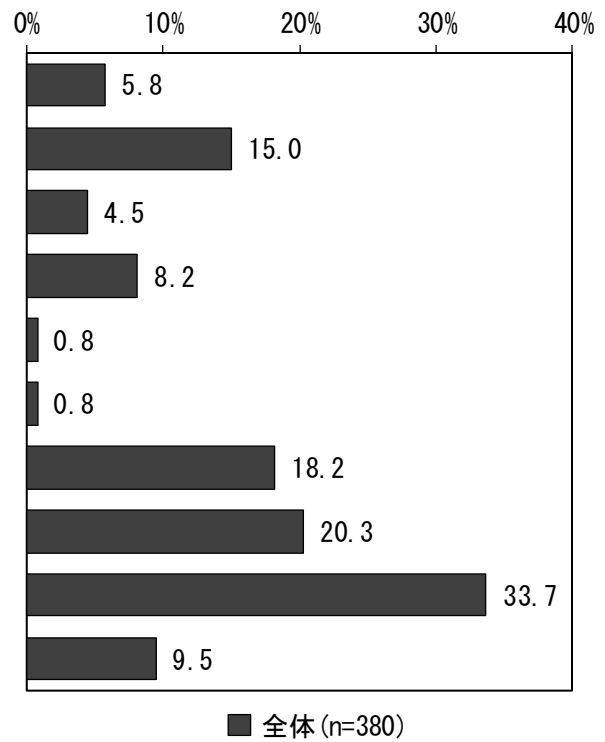
三世世代家族の内容

項目	基数 (n)	構成比 (%)
子どもと孫と同居	4	25.0
親と子どもと同居	9	56.2
親とその親と同居	1	6.3
無回答	2	12.5
全体	16	100.0



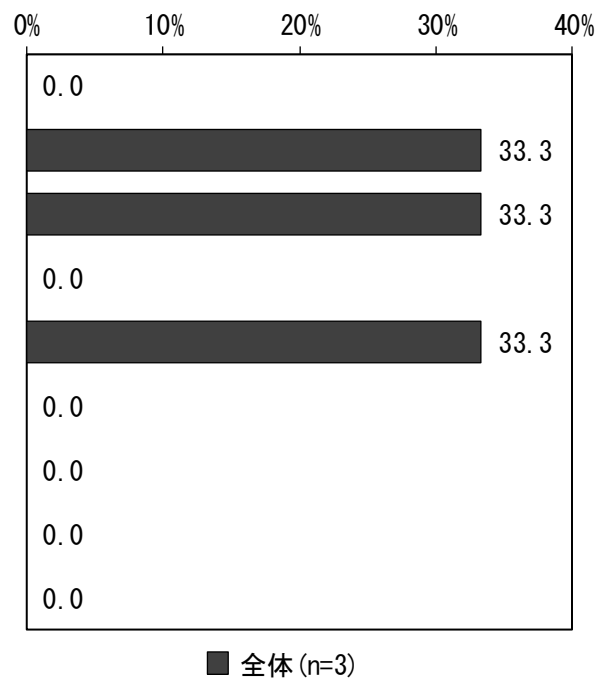
(9) 家族で当てはまるもの

項目	基数 (n)	構成比 (%)
小学校入学前の子ども	22	5.8
小学生から高校生の子ども	57	15.0
日常生活を送る上で介護を必要とする方	17	4.5
障害のある方	31	8.2
「ひきこもり」の状態にある方	3	0.8
「ニート」の状態にある方	3	0.8
65～74歳の方	69	18.2
75歳以上の方	77	20.3
該当なし	128	33.7
無回答	36	9.5
全体	380	100.0



(10) 「ひきこもり」の状態にある方の年齢

項目	基数 (n)	構成比 (%)
10代	0	0.0
20代	1	33.3
30代	1	33.3
40代	0	0.0
50代	1	33.3
60代	0	0.0
70代	0	0.0
80代以上	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	3	100.0

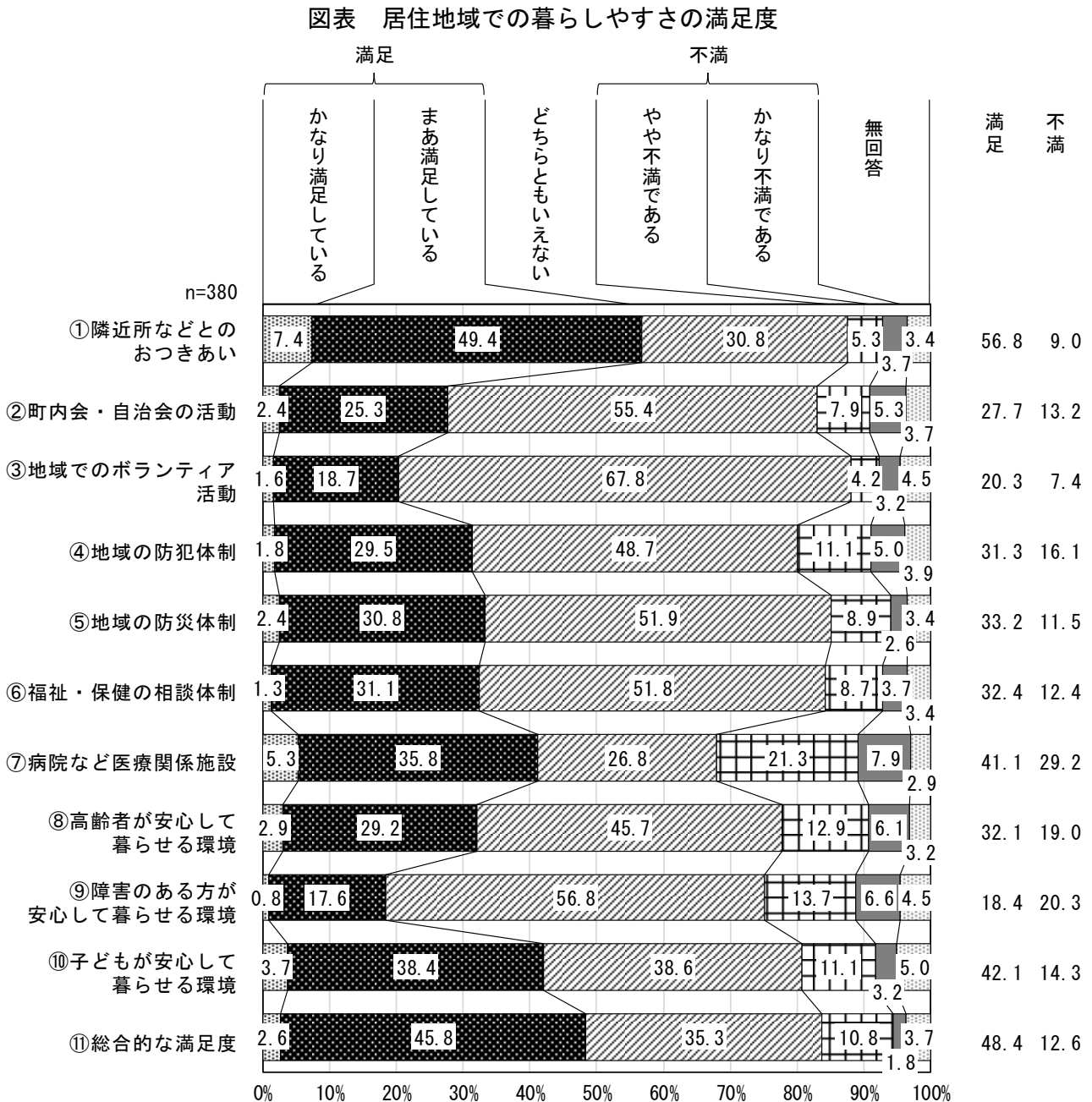


II 調査の結果

1. 地域での暮らしについて

(1) 居住地域での暮らしやすさの満足度

問1 あなたが現在お住まいの地域での暮らしやすさについて、どの程度満足していますか。
(項目ごとに○はひとつ)



居住地域での暮らしやすさの満足度について聞いたところ、「かなり満足している」と「まあ満足している」を合計した《満足》は、【①隣近所などのおつきあい】が最も高く 56.8%となっています。一方、「やや不満である」と「かなり不満である」を合計した《不満》は、【⑦病院など医療関係施設】が最も高く 29.2%となっています。

図表 居住地域での暮らしやすさの満足度（《満足》の割合、属性別）

（単位：％）

		n	① 隣近所などのおつきあい	② 町内会・自治会の活動	③ 地域でのボランティア活動	④ 地域の防犯体制	⑤ 地域の防災体制	⑥ 福祉・保健の相談体制	⑦ 病院など医療関係施設	⑧ 高齢者が安心して暮らせる環境	⑨ 障害のある方が安心して暮らせる環境	⑩ 子どもが安心して暮らせる環境	⑪ 総合的な満足度
全体		380	56.8	27.7	20.3	31.3	33.2	32.4	41.1	32.1	18.4	42.1	48.4
性別	男性	155	53.0	25.8	22.6	38.1	38.1	34.9	42.5	36.8	21.3	40.0	50.3
	女性	208	61.1	29.3	17.3	26.9	30.7	29.8	39.3	28.8	16.3	43.8	48.2
年齢	20～39歳	53	69.8	30.2	20.8	39.6	45.2	52.9	37.7	45.2	30.2	62.2	66.0
	40～54歳	83	46.9	13.2	13.2	21.7	22.9	26.5	32.5	25.3	16.9	45.9	48.2
	55～64歳	59	50.8	18.6	10.2	27.1	32.2	25.4	39.0	25.4	15.3	30.5	44.0
	65～74歳	81	58.0	35.8	27.2	37.0	40.7	32.1	48.1	39.6	19.8	40.7	46.9
	75歳以上	81	64.2	40.8	24.7	37.0	33.3	30.9	45.7	29.6	13.6	37.0	45.7
居住年数	5年未満	23	43.5	13.0	8.7	26.0	39.1	39.1	34.9	39.1	26.1	39.1	60.9
	5～9年	25	64.0	20.0	8.0	24.0	28.0	36.0	32.0	24.0	12.0	36.0	48.0
	10～19年	56	44.6	19.7	12.5	33.9	30.4	30.4	41.1	34.0	21.4	58.8	55.3
	20～29年	59	52.5	22.0	22.0	28.8	33.9	28.8	40.7	28.8	16.9	35.6	42.3
	30～39年	60	55.1	26.6	23.4	28.3	30.0	33.4	33.4	28.4	15.0	36.7	41.6
	40年以上	119	69.8	42.8	25.2	37.8	37.8	33.6	50.5	37.8	21.0	45.4	50.5
居住地区	小作台・栄町	68	52.9	23.5	17.6	33.8	33.8	27.9	39.7	29.4	11.8	39.7	45.6
	川崎・玉川・羽・羽東	47	68.1	34.0	25.5	25.5	31.9	27.7	46.8	34.0	17.0	44.7	53.2
	神明台	52	46.1	19.2	19.2	30.7	34.6	34.6	36.6	32.6	19.2	28.8	42.3
	富士見平・双葉町	50	50.0	18.0	18.0	28.0	20.0	28.0	34.0	30.0	20.0	40.0	42.0
	羽加美・羽西・羽中	73	63.0	36.9	23.3	32.9	37.0	34.2	31.5	31.5	23.3	49.4	50.7
	五ノ神・緑ヶ丘	67	58.2	31.4	14.9	38.8	43.3	38.8	56.6	37.3	19.4	49.3	58.2

性別で見ると、【④地域の防犯体制】で男性（38.1％）が女性（26.9％）を11.2ポイント上回っています。

年齢で見ると、20～39歳は11項目中7項目が全体の割合を大きく上回っています。

居住年数で見ると、【⑩子どもが安心して暮らせる環境】は10～19年（58.8％）が全体（42.1％）を16.7ポイント上回っています。

居住地区で見ると、【⑦病院など医療関係施設】は五ノ神・緑ヶ丘（56.6％）が全体（41.1％）を15.5ポイント上回っています。

(1-1) 「居住地域での暮らしやすさの満足度」と「総合的な満足度」の相関分析

「居住地域での暮らしやすさの満足度」(問1の①～⑩)の各項目と「総合的な満足度」(問1の⑪)から相関係数(r)を算出し、各項目の満足度と総合的な満足度の関係を分析しました。

◇相関係数(r)

相関係数(r)とは、2つのデータの関係の強さを数値(係数)で示したもので、-1から+1の間の数値となります。1に近づくほど関係が強くなり、関係が低いと0に近くなります。

相関係数(r)	考え方
$0 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない
$0.2 < r \leq 0.4$	弱い相関がある
$0.4 < r \leq 0.7$	中程度の相関がある
$0.7 < r \leq 1.0$	強い相関がある

◇満足度と相関係数(r)

「周辺の生活環境評価」の各項目について、満足度と相関係数(r)を一覧にすると以下のようになります。

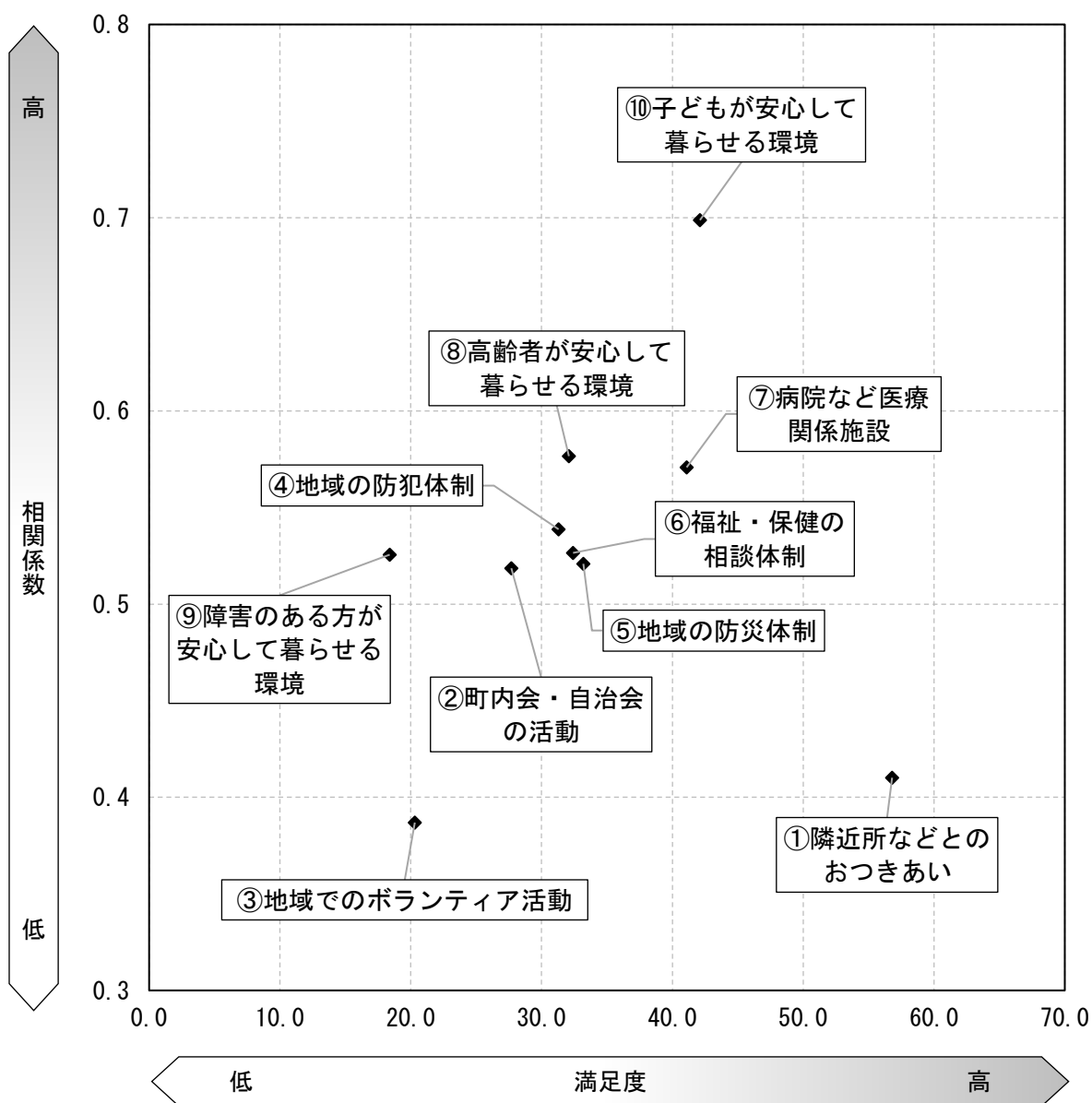
周辺の生活環境評価	満足度	相関係数(r)
①隣近所などのおつきあい	56.8	0.41
②町内会・自治会の活動	27.7	0.52
③地域でのボランティア活動	20.3	0.39
④地域の防犯体制	31.3	0.54
⑤地域の防災体制	33.2	0.52
⑥福祉・保健の相談体制	32.4	0.53
⑦病院など医療関係施設	41.1	0.57
⑧高齢者が安心して暮らせる環境	32.1	0.58
⑨障害のある方が安心して暮らせる環境	18.4	0.53
⑩子どもが安心して暮らせる環境	42.1	0.70

注) 満足度は、各項目の「かなり満足している」と「まあ満足している」の割合の合計となります。

「居住地域での暮らしやすさの満足度」の各項目と「総合的な満足度」との相関係数（r）、満足度を基に散布図に示しました。

【③地域でのボランティア活動】（0.39）以外で相関係数（r）が0.4を超えており、総合的な満足度と中程度の相関が見られました。中でも、【⑩子どもが安心して暮らせる環境】は0.70と高くなっています。これらの相関が見られた項目の評価が向上することが、総合的な満足度向上に影響すると考えられます。

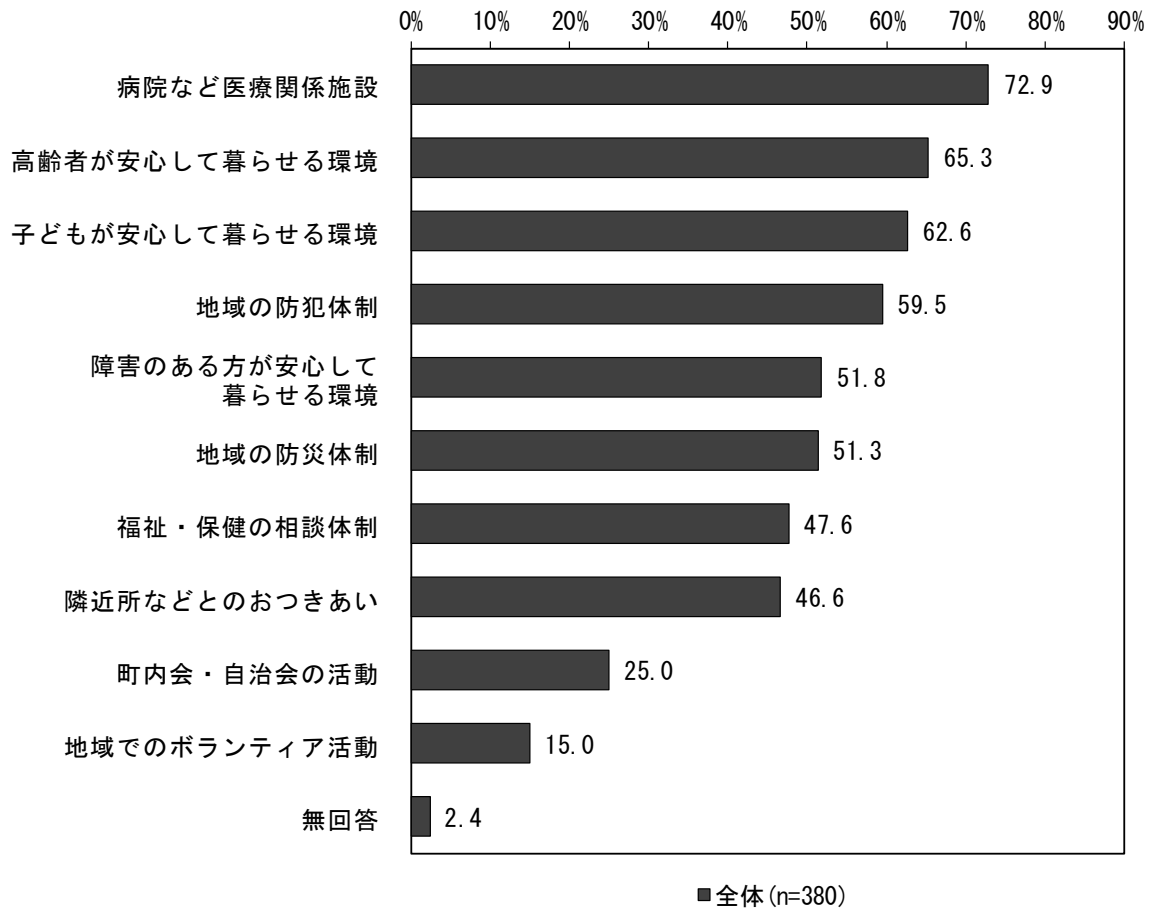
図表 居住地域での暮らしやすさの満足度（散布図）



(2) 安心して暮らしていくために重要なこと

問2 地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 安心して暮らしていくために重要なこと



安心して暮らしていくために重要なことについて聞いたところ、「病院など医療関係施設」が72.9%と7割を超えて最も高くなっています。これに、「高齢者が安心して暮らせる環境」が65.3%、「子どもが安心して暮らせる環境」が62.6%と6割を超えて続いています。

図表 安心して暮らしていくために重要なこと（属性別）

（単位：％）

		n	病院など医療関係施設	高齢者が安心して暮らせる環境	子どもが安心して暮らせる環境	地域の防犯体制	障害のある方が安心して暮らせる環境	地域の防災体制	福祉・保健の相談体制	隣近所などのおつきあい	町内会・自治会の活動	地域でのボランティア活動	無回答
全体		380	72.9	65.3	62.6	59.5	51.8	51.3	47.6	46.6	25.0	15.0	2.4
性別	男性	155	72.3	60.0	56.8	62.6	45.8	56.8	45.2	48.4	27.1	18.7	1.9
	女性	208	74.0	68.3	67.8	57.7	55.8	48.1	48.6	45.7	22.6	12.5	2.9
年齢	20～39歳	53	73.6	52.8	79.2	64.2	56.6	47.2	47.2	32.1	9.4	5.7	0.0
	40～54歳	83	79.5	50.6	67.5	65.1	42.2	55.4	43.4	28.9	10.8	13.3	0.0
	55～64歳	59	79.7	72.9	62.7	55.9	57.6	54.2	49.2	45.8	22.0	8.5	3.4
	65～74歳	81	74.1	64.2	59.3	59.3	54.3	54.3	51.9	53.1	33.3	23.5	4.9
	75歳以上	81	64.2	81.5	51.9	54.3	51.9	48.1	48.1	70.4	42.0	19.8	2.5
居住年数	5年未満	23	87.0	60.9	73.9	60.9	47.8	43.5	39.1	34.8	4.3	4.3	4.3
	5～9年	25	80.0	68.0	80.0	84.0	60.0	64.0	56.0	40.0	8.0	4.0	0.0
	10～19年	56	85.7	55.4	69.6	55.4	42.9	57.1	51.8	37.5	21.4	14.3	1.8
	20～29年	59	78.0	67.8	66.1	67.8	57.6	61.0	45.8	35.6	25.4	11.9	1.7
	30～39年	60	66.7	55.0	61.7	55.0	43.3	46.7	40.0	43.3	16.7	18.3	3.3
	40年以上	119	69.7	73.9	57.1	55.5	56.3	48.7	49.6	62.2	36.1	20.2	2.5
居住地区	小作台・栄町	68	73.5	51.5	51.5	60.3	42.6	55.9	44.1	38.2	23.5	19.1	2.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	72.3	70.2	63.8	61.7	46.8	51.1	44.7	40.4	27.7	14.9	0.0
	神明台	52	78.8	69.2	61.5	51.9	46.2	44.2	40.4	57.7	21.2	17.3	0.0
	富士見平・双葉町	50	70.0	70.0	70.0	74.0	54.0	50.0	52.0	50.0	28.0	16.0	2.0
	羽加美・羽西・羽中	73	74.0	71.2	72.6	65.8	69.9	60.3	61.6	49.3	30.1	13.7	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	70.1	58.2	58.2	47.8	46.3	47.8	40.3	44.8	17.9	10.4	7.5

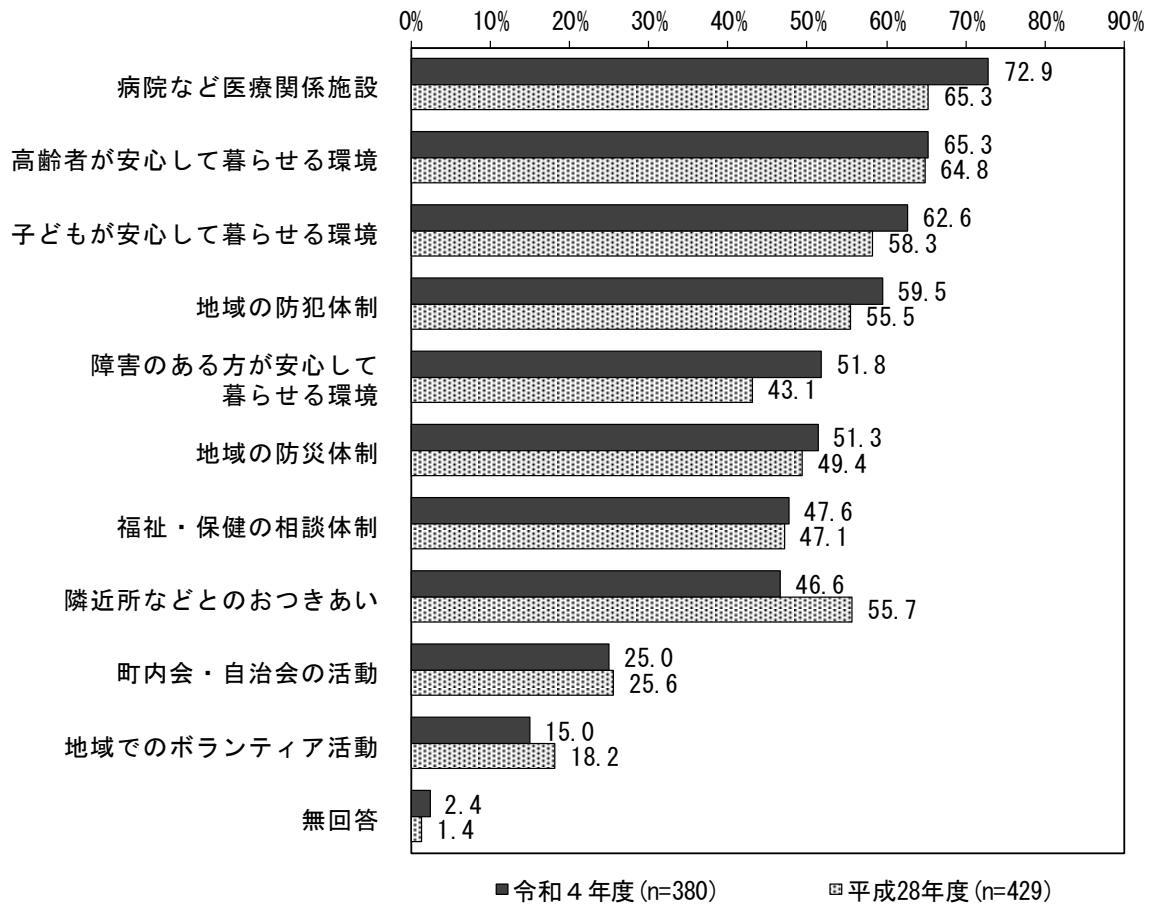
性別で見ると、「子どもが安心して暮らせる環境」は女性（67.8％）が男性（56.8％）を11.0ポイント上回っています。

年齢で見ると、75歳以上で「高齢者が安心して暮らせる環境」（81.5％）と「隣近所などのおつきあい」（70.4％）と「町内会・自治会の活動」（42.0％）が全体を大きく上回っています。

居住年数で見ると、5年未満と5～9年で「町内会・自治会の活動」と「地域でのボランティア活動」が全体を大きく下回っています。

居住地区で見ると、「障害のある方が安心して暮らせる環境」は羽加美・羽西・羽中（69.9％）が全体（51.8％）を18.1ポイント上回っています。

図表 安心して暮らしていくために重要なこと（時系列）

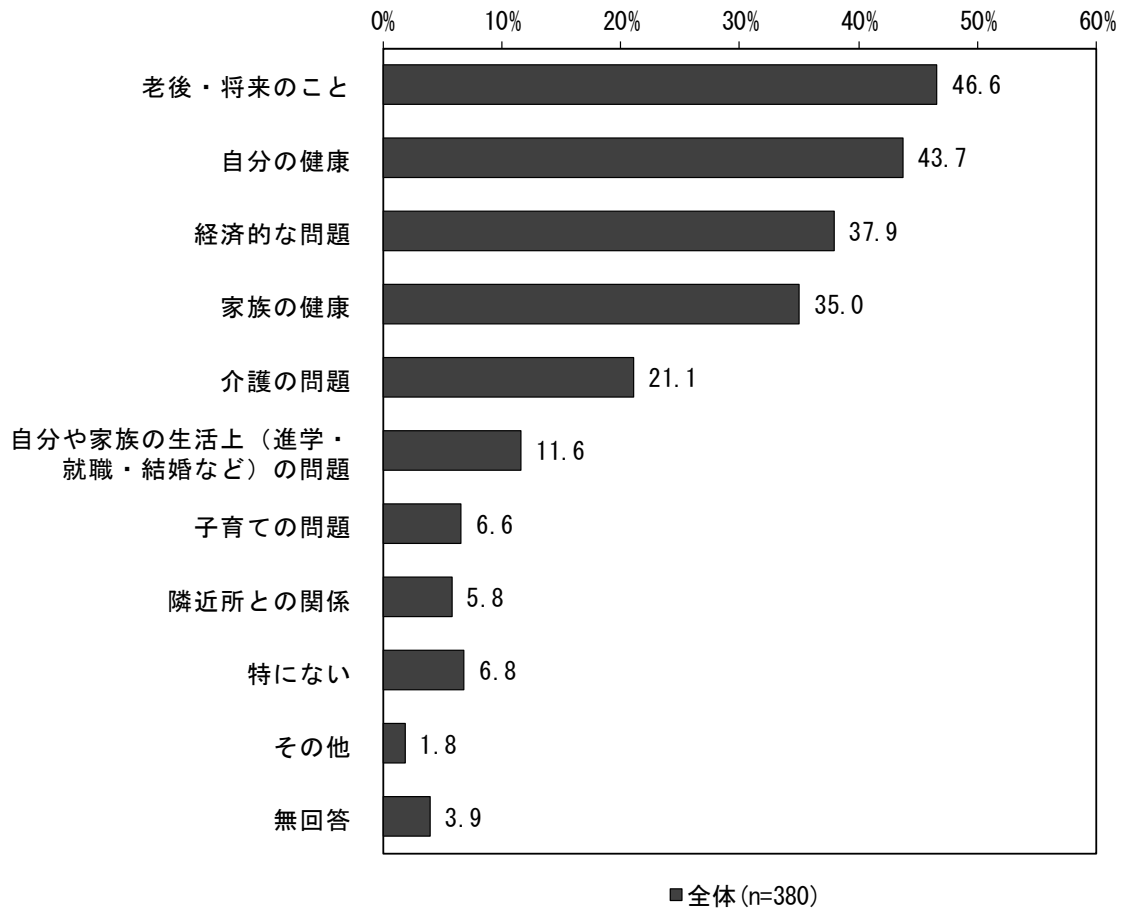


安心して暮らしていくために重要なことについて時系列で見ると、「隣近所などのおつきあい」(46.6%)が平成28年度(55.7%)から9.1ポイント低く、「町内会・自治会の活動」(25.0%)が平成28年度(25.6%)から0.6ポイント低く、「地域でのボランティア活動」(15.0%)が平成28年度(18.2%)から3.2ポイント低くなっています。

(3) 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

問3 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。(〇は3つまで)

図表 毎日の暮らしで感じている悩みや不安



毎日の暮らしで感じている悩みや不安について聞いたところ、「老後・将来のこと」が46.6%と最も高くなっており、「自分の健康」が43.7%と4割を超えています。これに、「経済的な問題」が37.9%、「家族の健康」が35.0%と3割を超えて続いています。

一方で、「特にない」も6.8%見られます。

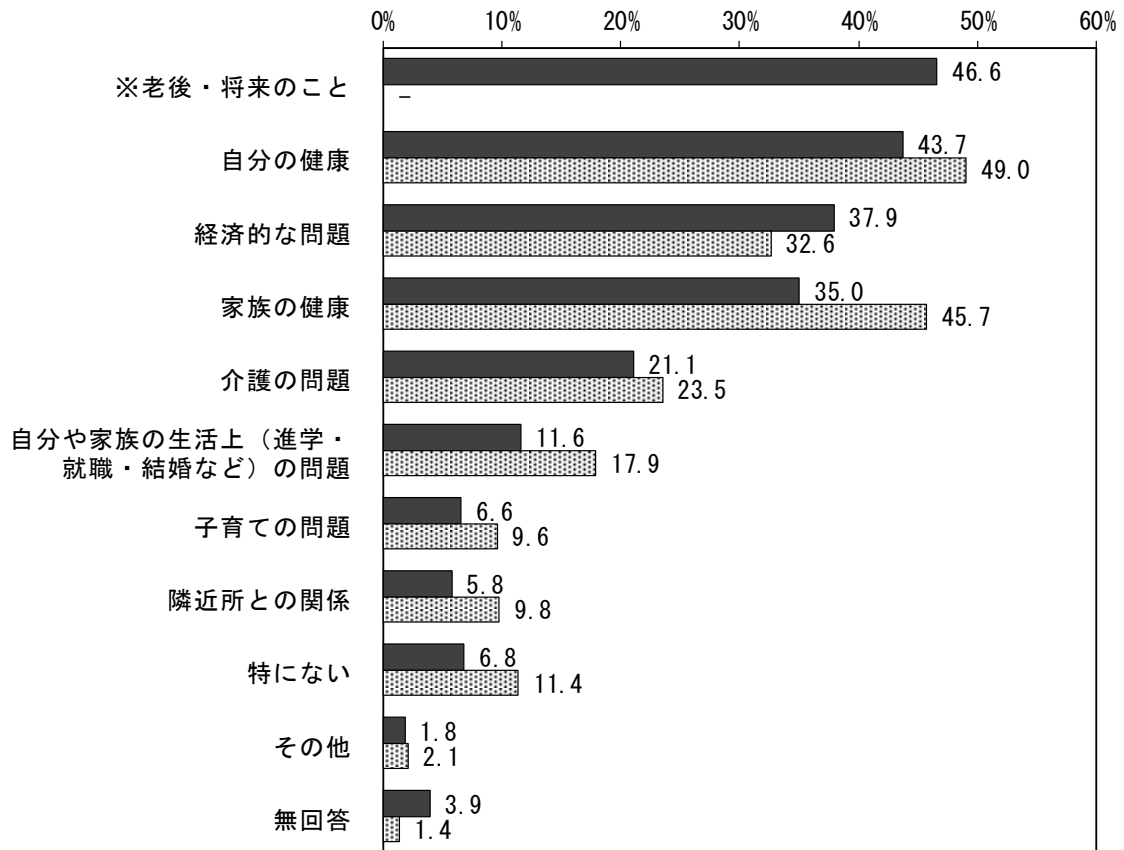
図表 毎日の暮らしで感じている悩みや不安（属性別）

（単位：％）

	n	老後・将来のこと	自分の健康	経済的な問題	家族の健康	介護の問題	（進学・就職・結婚など）の問題	子育ての問題	隣近所との関係	特にない	その他	無回答	
全体	380	46.6	43.7	37.9	35.0	21.1	11.6	6.6	5.8	6.8	1.8	3.9	
年齢	20～39歳	53	47.2	22.6	49.1	26.4	3.8	28.3	22.6	5.7	9.4	1.9	3.8
	40～54歳	83	45.8	31.3	47.0	20.5	24.1	16.9	8.4	2.4	4.8	2.4	2.4
	55～64歳	59	50.8	39.0	30.5	35.6	27.1	10.2	0.0	6.8	8.5	1.7	8.5
	65～74歳	81	55.6	56.8	28.4	43.2	18.5	7.4	2.5	2.5	8.6	1.2	3.7
	75歳以上	81	37.0	65.4	33.3	43.2	25.9	3.7	0.0	9.9	2.5	2.5	3.7

年齢で見ると、20～39歳で「経済的な問題」（49.1％）と「自分や家族の生活上（進学・就職・結婚など）の問題」（28.3％）と「子育ての問題」（22.6％）が全体を大きく上回っています。

図表 毎日の暮らしで感じている悩みや不安（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

■ 令和4年度 (n=380)

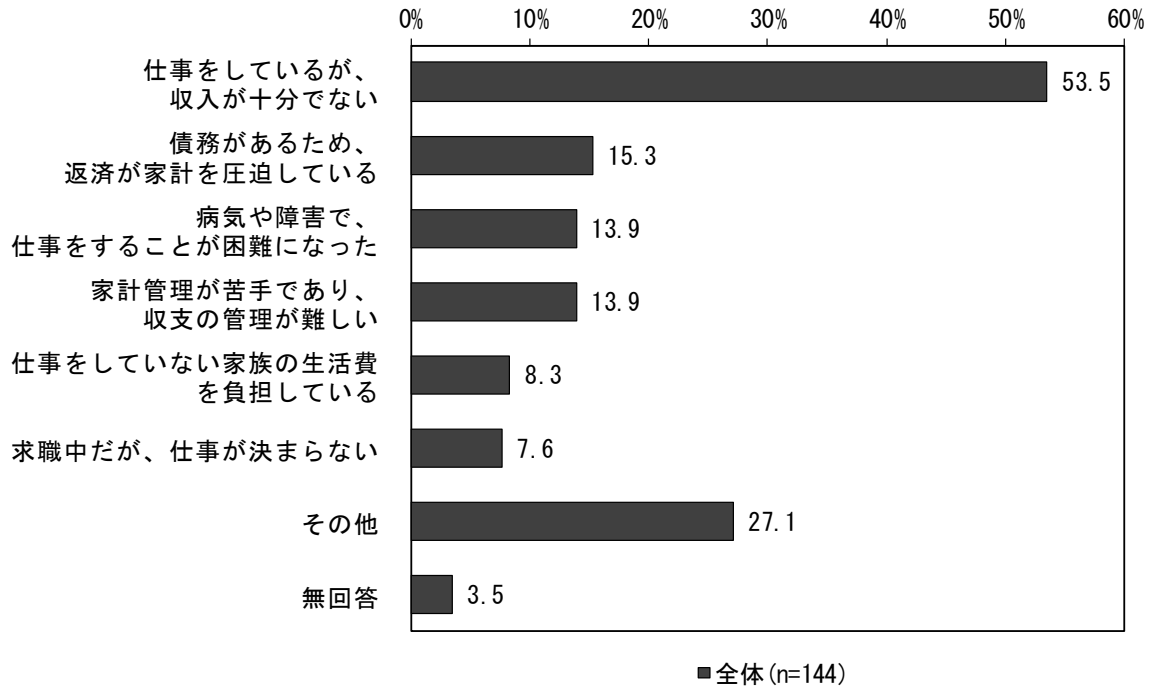
▨ 平成28年度 (n=429)

毎日の暮らしで感じている悩みや不安について時系列で見ると、今回調査から追加された選択肢の「老後・将来のこと」が46.6%と最も高くなっています。また、「経済的な問題」(37.9%)のみ割合が増加し、平成28年度(32.6%)から5.3ポイント高くなっています。

(4) 経済的な問題が生じている理由

問3-1 問3で「6. 経済的な問題」に○をつけた方に伺います。
経済的な問題が生じている理由としてはどのようなものが考えられますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 経済的な問題が生じている理由



経済的な問題が生じている理由について聞いたところ、「仕事をしているが、収入が十分でない」が 53.5%と 5割を超えて最も高くなっています。これに、「債務があるため、返済が家計を圧迫している」が 15.3%、「病気や障害で、仕事することが困難になった」と「家計管理が苦手であり、収支の管理が難しい」が 13.9%と 1割を超えて続いています。

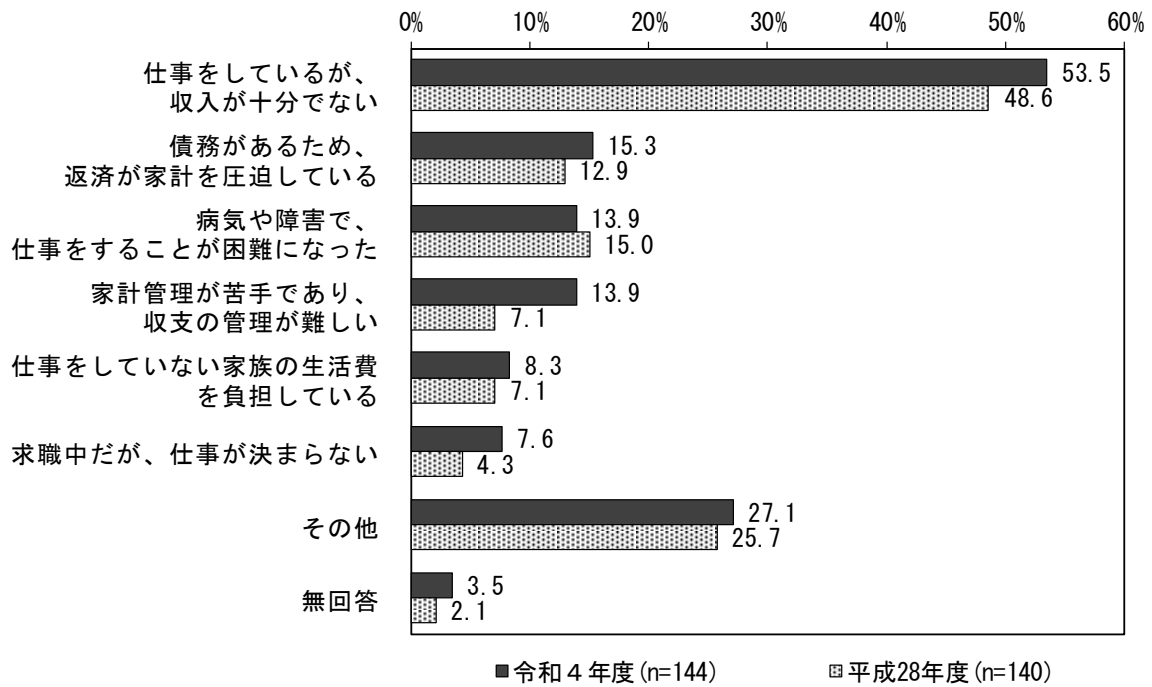
図表 経済的な問題が生じている理由（属性別）

（単位：％）

	n	仕事を しているが、 収入が十分で ない	債務が あるため、 返済が家計を 圧迫している	病気や障 害で、 仕事を することが 困難にな った	家計管理 が難しい	仕事を している 負担して いない家 族の生活 費を	求職中 だが、 仕事が決 まらない	その他	無回 答	
全体	144	53.5	15.3	13.9	13.9	8.3	7.6	27.1	3.5	
年齢	20～39歳	26	73.1	15.4	7.7	30.8	3.8	11.5	11.5	0.0
	40～54歳	39	71.8	12.8	10.3	7.7	10.3	5.1	33.3	0.0
	55～64歳	18	50.0	22.2	16.7	5.6	0.0	11.1	16.7	5.6
	65～74歳	23	47.8	17.4	17.4	8.7	8.7	13.0	26.1	0.0
	75歳以上	27	14.8	7.4	11.1	11.1	11.1	0.0	48.1	14.8

年齢で見ると、20～39歳で「仕事をしているが、収入が十分でない」（73.1％）と「家計管理が苦手であり、収支の管理が難しい」（30.8％）が全体を大きく上回っています。

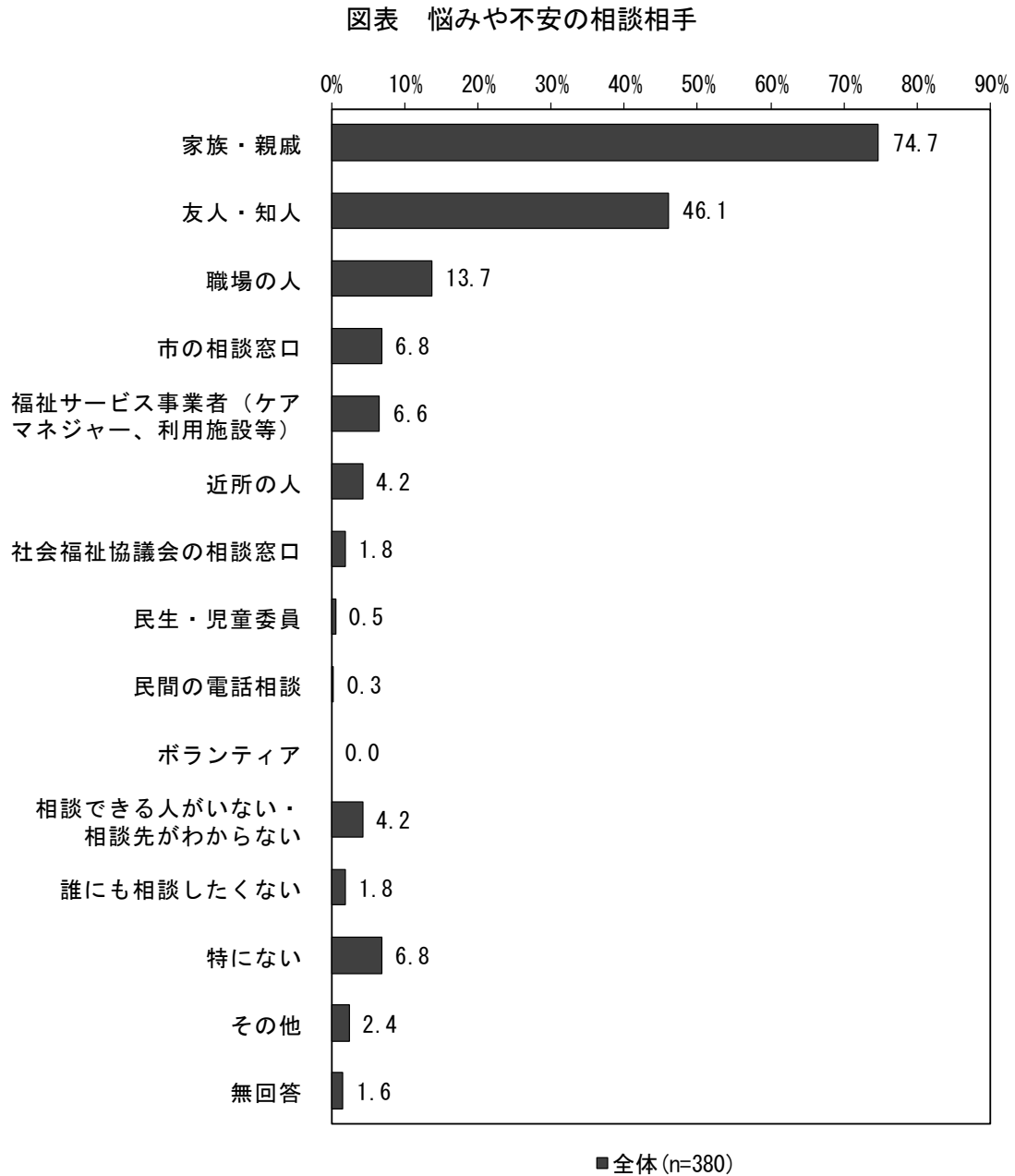
図表 経済的な問題が生じている理由（時系列）



経済的な問題が生じている理由について時系列で見ると、「病気や障害で、仕事をするのが困難になった」以外の項目で割合が高くなっています。「家計管理が苦手で、収支の管理が難しい」(13.9%)が平成28年度(7.1%)から6.8ポイント高くなっています。

(5) 悩みや不安の相談相手

問4 悩みや不安がある時には、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)



悩みや不安の相談相手について聞いたところ、「家族・親戚」が74.7%と7割を超えて最も高くなっています。これに、「友人・知人」が46.1%と4割を超えて続いています。

一方で、「特にない」も6.8%見られます。

図表 悩みや不安の相談相手（属性別）

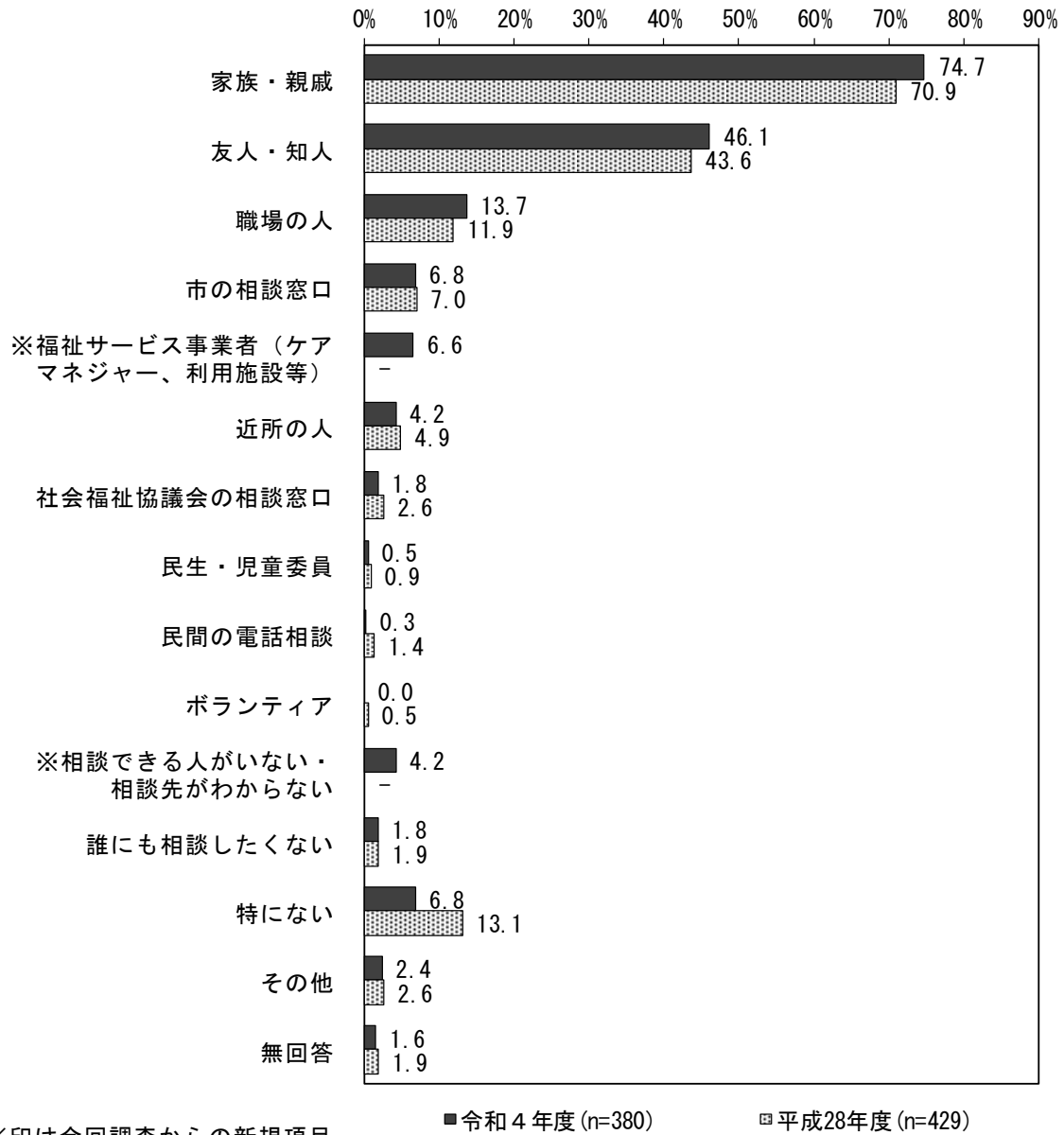
（単位：％）

	n	家族・親戚	友人・知人	職場の人	市の相談窓口	福祉サービス事業者 （ケアマネジャー、利用施設等）	近所の人	社会福祉協議会の相談窓口	民生・児童委員	民間の電話相談	ボランティア	相談できる人がいない・ 相談先がわからない	誰にも相談したくない	
全体	380	74.7	46.1	13.7	6.8	6.6	4.2	1.8	0.5	0.3	0.0	4.2	1.8	
年齢	20～39歳	53	77.4	50.9	24.5	7.5	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	3.8	1.9
	40～54歳	83	72.3	44.6	20.5	4.8	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	2.4
	55～64歳	59	66.1	54.2	18.6	1.7	6.8	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	3.4
	65～74歳	81	84.0	33.3	6.2	9.9	7.4	4.9	3.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
	75歳以上	81	75.3	48.1	2.5	8.6	9.9	8.6	4.9	1.2	1.2	0.0	2.5	1.2

	n	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全体	380	6.8	2.4	1.6
年齢	20～39歳	53	7.5	0.0
	40～54歳	83	6.0	2.4
	55～64歳	59	6.8	1.7
	65～74歳	81	7.4	1.2
	75歳以上	81	7.4	6.2

年齢で見ると、「友人・知人」は65～74歳（33.3%）が全体（46.1%）を12.8ポイント下回っています。

図表 悩みや不安の相談相手（時系列）

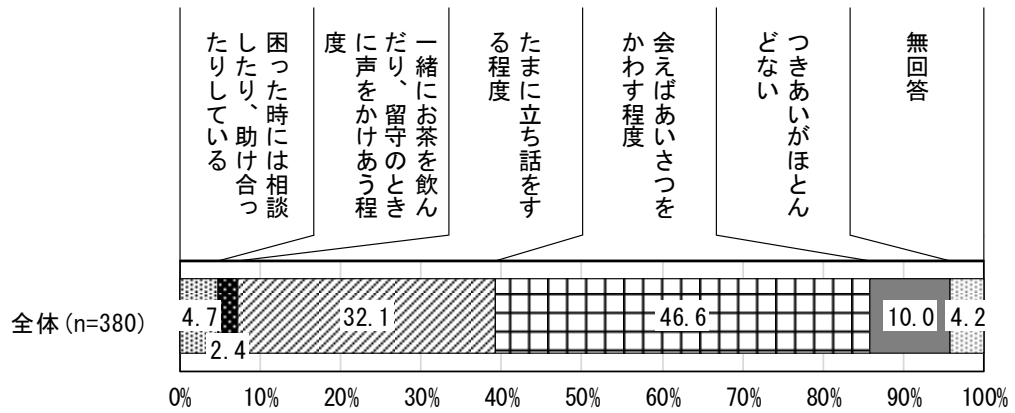


悩みや不安の相談相手について時系列で見ると、「家族・親戚」(74.7%)が平成28年度(70.9%)から3.8ポイント高くなっています。また、「特にない」(6.8%)が平成28年度(13.1%)から6.3ポイント低くなっています。

(6) 隣近所とのつきあい方

問5 あなたは、日頃、隣近所とどのようなつきあい方をしていますか。(○はひとつ)

図表 隣近所とのつきあい方



隣近所とのつきあい方について聞いたところ、「会えばあいさつをかわす程度」が46.6%と最も高く、「たまに立ち話をする程度」が32.1%、「つきあいがほとんどない」が10.0%、「困った時には相談したり、助け合ったりしている」が4.7%、「一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度」が2.4%となっています。

図表 隣近所とのつきあい方（属性別）

（単位：％）

		n	困った時には相談したり、助け合ったりしている	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
全体		380	4.7	2.4	32.1	46.6	10.0	4.2
性別	男性	155	5.2	1.9	30.3	53.6	9.0	0.0
	女性	208	3.4	2.9	34.6	42.3	10.1	6.7
年齢	20～39歳	53	1.9	1.9	18.9	66.0	11.3	0.0
	40～54歳	83	3.6	0.0	18.1	57.8	18.1	2.4
	55～64歳	59	0.0	5.1	37.3	47.4	8.5	1.7
	65～74歳	81	4.9	1.2	43.3	39.5	7.4	3.7
	75歳以上	81	8.6	4.9	43.3	28.4	4.9	9.9
居住年数	5年未満	23	0.0	4.3	0.0	78.3	17.4	0.0
	5～9年	25	0.0	0.0	28.0	64.0	8.0	0.0
	10～19年	56	7.1	0.0	25.0	53.6	10.7	3.6
	20～29年	59	5.1	1.7	25.4	49.1	15.3	3.4
	30～39年	60	3.3	3.3	35.0	43.4	15.0	0.0
	40年以上	119	5.0	4.2	46.2	32.8	4.2	7.6
居住地区	小作台・栄町	68	1.5	1.5	23.5	60.3	10.3	2.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	2.1	4.3	42.6	38.3	10.6	2.1
	神明台	52	1.9	3.8	28.8	48.2	9.6	7.7
	富士見平・双葉町	50	8.0	0.0	36.0	38.0	14.0	4.0
	羽加美・羽西・羽中	73	6.8	1.4	35.6	45.2	5.5	5.5
	五ノ神・緑ヶ丘	67	4.5	3.0	32.8	47.8	10.4	1.5

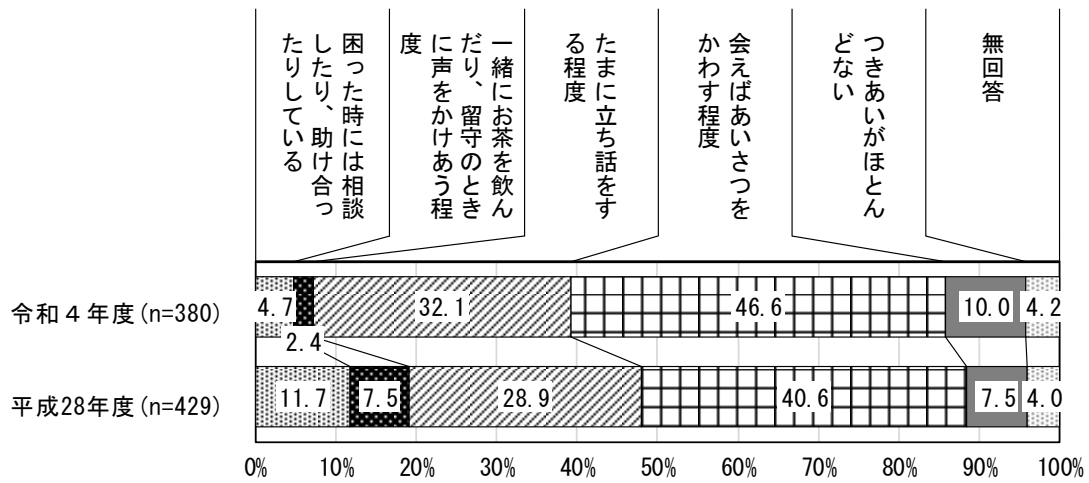
性別で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」は男性（53.6％）が、女性（42.3％）を11.3ポイント上回っています。

年齢で見ると、「たまに立ち話をする程度」は20～39歳（18.9％）と40～54歳（18.1％）が全体（32.1％）を大きく下回り、65～74歳（43.3％）と75歳以上（43.3％）が全体（32.1％）を大きく上回っています。

居住年数で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」は5年未満（78.3％）と5～9年（64.0％）が全体（46.6％）を大きく上回っています。

居住地区で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」は小作台・栄町（60.3％）が全体（46.6％）を13.7ポイント上回っています。

図表 隣近所とのつきあい方（時系列）

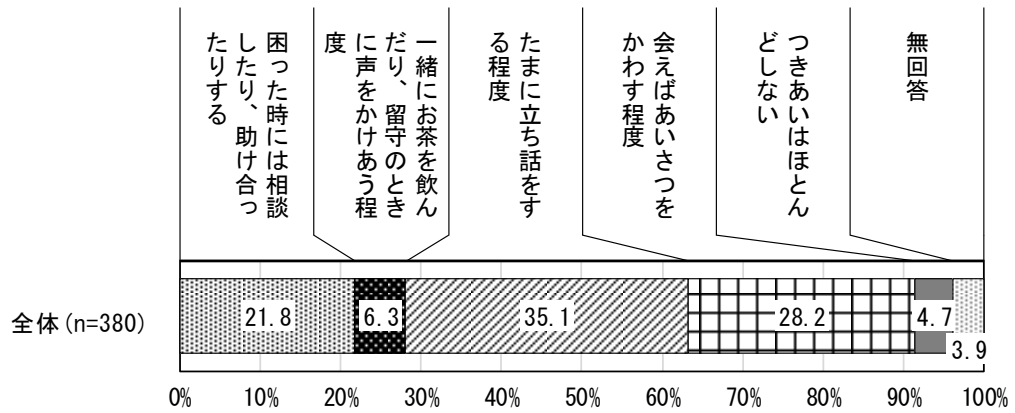


隣近所とのつきあい方について時系列で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」（46.6%）が平成28年度（40.6%）から6.0ポイント高くなっています。

(7) 今後希望するつきあい方

問6 今後、隣近所とはどの程度のつきあい方を望んでいますか。(〇はひとつ)

図表 今後希望するつきあい方



今後希望するつきあい方について聞いたところ、「たまに立ち話をする程度」が35.1%と最も高く、「会えばあいさつをかわす程度」が28.2%、「困った時には相談したり、助け合ったりする」が21.8%、「一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度」が6.3%、「つきあいはほとんどしない」が4.7%となっています。

図表 今後希望するつきあい方（属性別）

（単位：％）

	n	困った時には相談したり、助け合ったりする	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいはほとんどしない	無回答	
全体	380	21.8	6.3	35.1	28.2	4.7	3.9	
性別	男性	155	17.4	6.5	41.3	29.7	3.2	1.9
	女性	208	24.0	6.3	31.2	28.4	5.8	4.3
年齢	20～39歳	53	18.9	1.9	37.7	34.0	7.5	0.0
	40～54歳	83	18.1	0.0	28.9	43.4	6.0	3.6
	55～64歳	59	13.6	10.2	40.6	27.1	5.1	3.4
	65～74歳	81	23.5	11.1	40.7	19.8	3.7	1.2
	75歳以上	81	30.9	7.4	32.0	19.8	2.5	7.4
居住年数	5年未満	23	13.0	4.3	34.8	43.6	4.3	0.0
	5～9年	25	28.0	4.0	36.0	28.0	4.0	0.0
	10～19年	56	21.4	3.6	26.8	37.4	5.4	5.4
	20～29年	59	15.3	1.7	44.0	25.4	8.5	5.1
	30～39年	60	18.3	6.7	31.7	36.7	3.3	3.3
	40年以上	119	26.9	10.1	37.8	20.2	2.5	2.5
居住地区	小作台・栄町	68	14.7	4.4	35.4	33.8	8.8	2.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	21.3	8.5	53.1	12.8	4.3	0.0
	神明台	52	21.2	11.5	26.9	34.7	1.9	3.8
	富士見平・双葉町	50	26.0	0.0	36.0	26.0	6.0	6.0
	羽加美・羽西・羽中	73	30.1	5.5	32.9	24.7	2.7	4.1
	五ノ神・緑ヶ丘	67	16.4	7.5	34.3	35.8	4.5	1.5

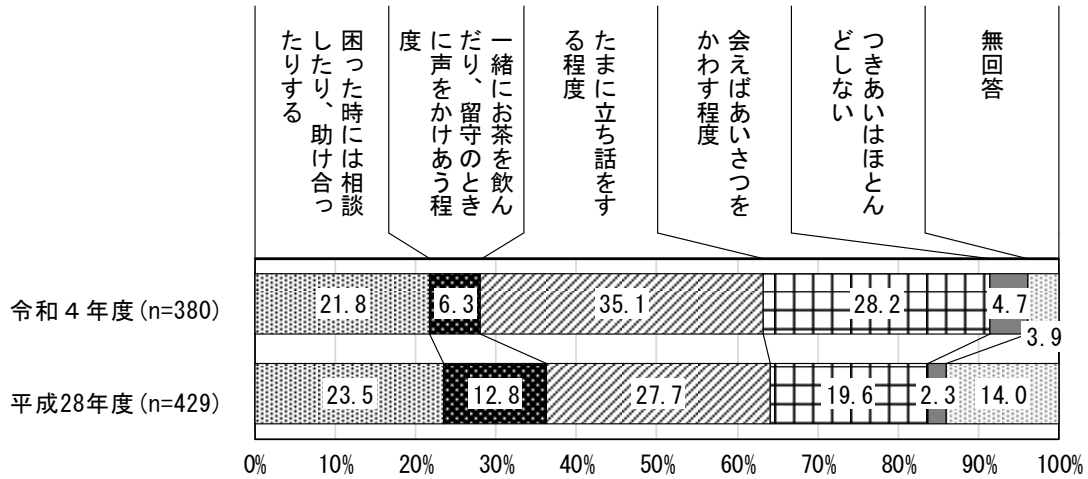
性別で見ると、「たまに立ち話をする程度」は男性（41.3％）が、女性（31.2％）を10.1ポイント上回っています。

年齢で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」は40～54歳（43.4％）が全体（28.2％）を15.2ポイント上回っています。

居住年数で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」は5年未満（43.6％）が全体（28.2％）を15.4ポイント上回っています。

居住地区で見ると、「たまに立ち話をする程度」は川崎・玉川・羽・羽東（53.1％）が全体（35.1％）を18.0ポイント上回っています。

図表 今後希望するつきあい方（時系列）



今後希望するつきあい方について時系列で見ると、「会えばあいさつをかわす程度」（28.2%）が平成28年度（19.6%）から8.6ポイント高くなっています。

（7-1）希望するつきあい方（現状と今後との比較）

「隣近所とのつきあい方」と「今後希望するつきあい方」を比較することで、そのギャップを確認しました。

今後の意向としては、相談したり、助け合ったり、声をかけあったり、立ち話をしたりなど、より親密なつきあい方を希望していることが伺えます。

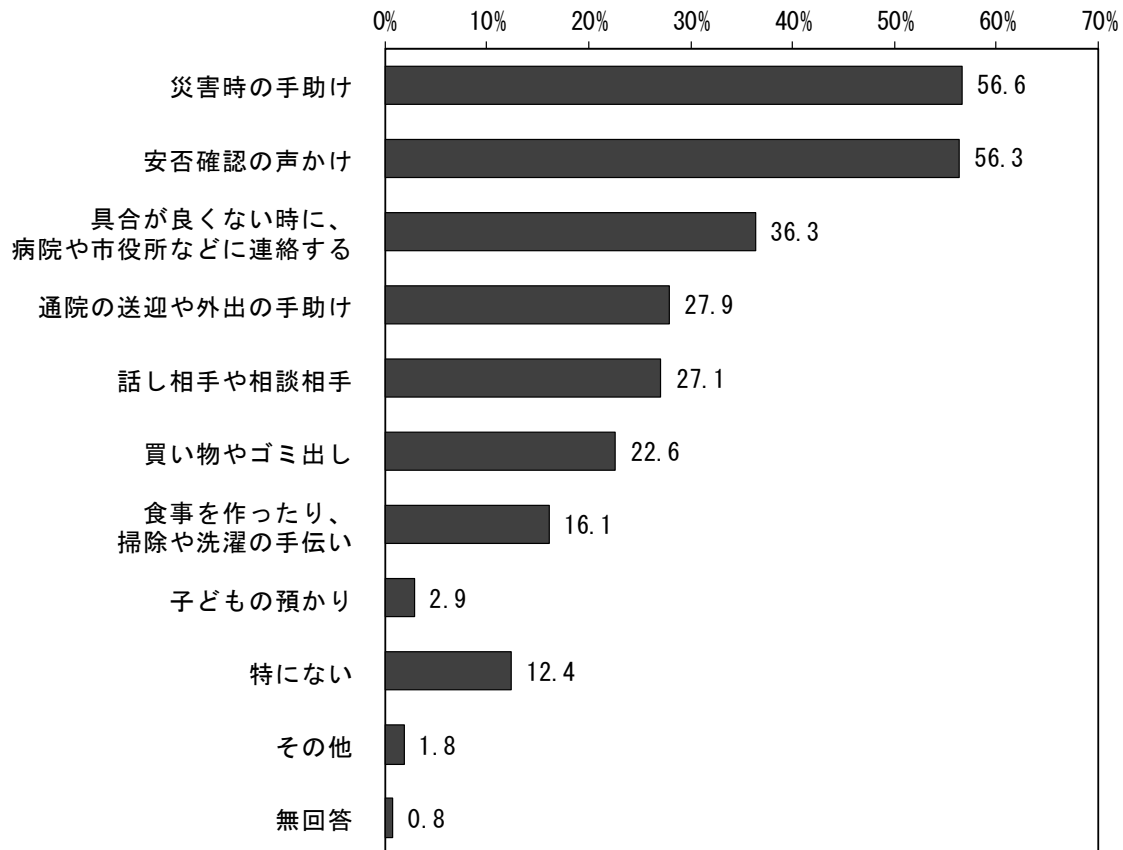
（単位：現状・今後は%、差はポイント）

	困った時には相談したり、助け合ったりする	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいはほとんどしない	無回答
現状	4.7	2.4	32.1	46.6	10.0	4.2
今後	21.8	6.3	35.1	28.2	4.7	3.9
差	-17.1	-3.9	-3.0	18.4	5.3	0.3

(8) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと

問7 あなたが、高齢になったときや、病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人にどのようなことをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと



■全体 (n=380)

日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいことについて聞いたところ、「災害時の手助け」が56.6%と最も高く、「安否確認の声かけ」が56.3%と5割を超えています。これに、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」が36.3%と3割を超えています。

一方で、「特にない」も12.4%見られます。

図表 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと（属性別）

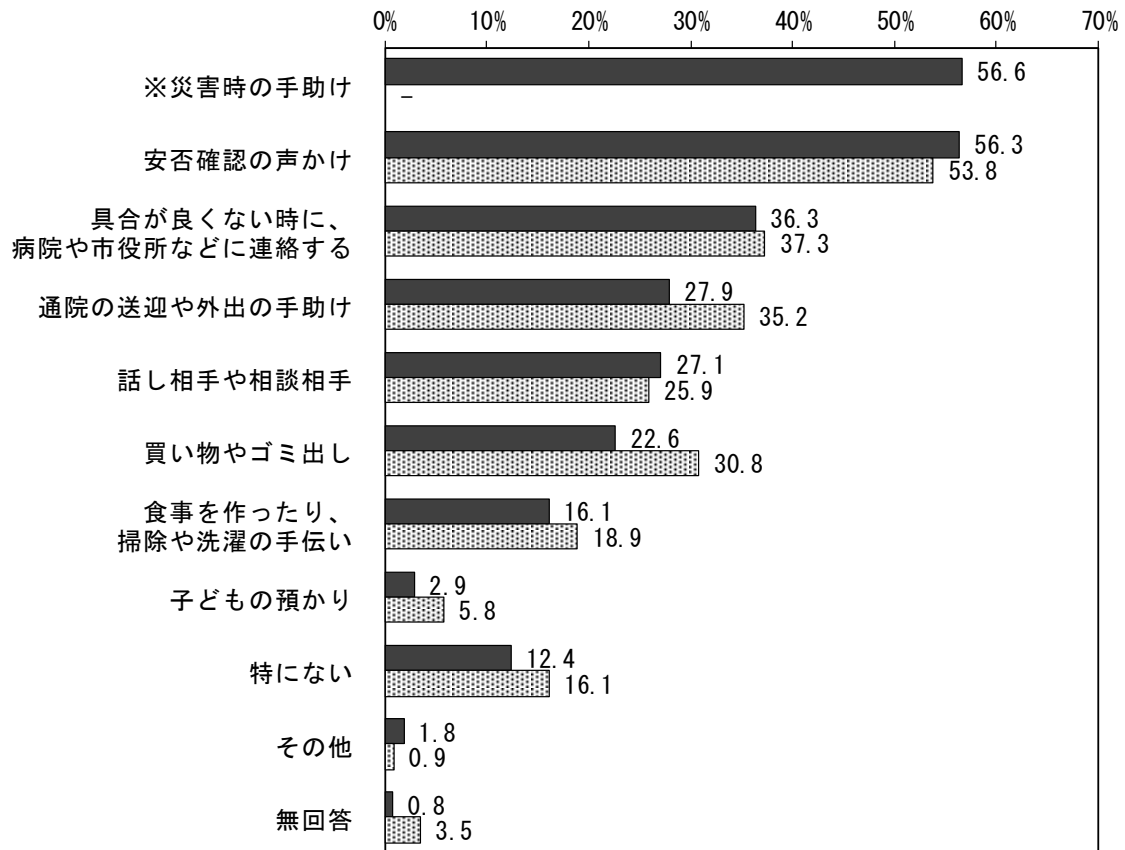
（単位：％）

	n	災害時の手助け	安否確認の声かけ	具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する	通院の送迎や外出の手助け	話し相手や相談相手	買い物やゴミ出し	食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い	子どもの預かり	特にない	その他	無回答	
全体	380	56.6	56.3	36.3	27.9	27.1	22.6	16.1	2.9	12.4	1.8	0.8	
年齢	20～39歳	53	64.2	56.6	35.8	24.5	35.8	22.6	20.8	9.4	11.3	1.9	0.0
	40～54歳	83	51.8	49.4	38.6	18.1	25.3	20.5	13.3	3.6	19.3	2.4	1.2
	55～64歳	59	61.0	54.2	40.7	30.5	20.3	23.7	18.6	1.7	10.2	1.7	0.0
	65～74歳	81	60.5	61.7	34.6	34.6	28.4	28.4	14.8	0.0	11.1	1.2	0.0
	75歳以上	81	54.3	60.5	33.3	29.6	25.9	14.8	9.9	1.2	8.6	2.5	2.5
居住地区	小作台・栄町	68	51.5	42.6	26.5	27.9	19.1	19.1	14.7	2.9	13.2	1.5	0.0
	川崎・玉川・羽・羽東	47	70.2	61.7	40.4	29.8	27.7	19.1	10.6	2.1	12.8	4.3	0.0
	神明台	52	53.8	57.7	32.7	34.6	32.7	30.8	11.5	0.0	15.4	0.0	1.9
	富士見平・双葉町	50	46.0	68.0	36.0	28.0	36.0	24.0	16.0	4.0	12.0	0.0	2.0
	羽加美・羽西・羽中	73	71.2	61.6	39.7	31.5	24.7	23.3	20.5	4.1	5.5	2.7	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	50.7	52.2	44.8	14.9	25.4	20.9	14.9	3.0	16.4	3.0	1.5

年齢で見ると、割合に大きな差は見られません。

居住地区で見ると、「災害時の手助け」は川崎・玉川・羽・羽東（70.2％）と羽加美・羽西・羽中（71.2％）が全体（56.6％）を大きく上回っています。

図表 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

■ 令和4年度 (n=380)

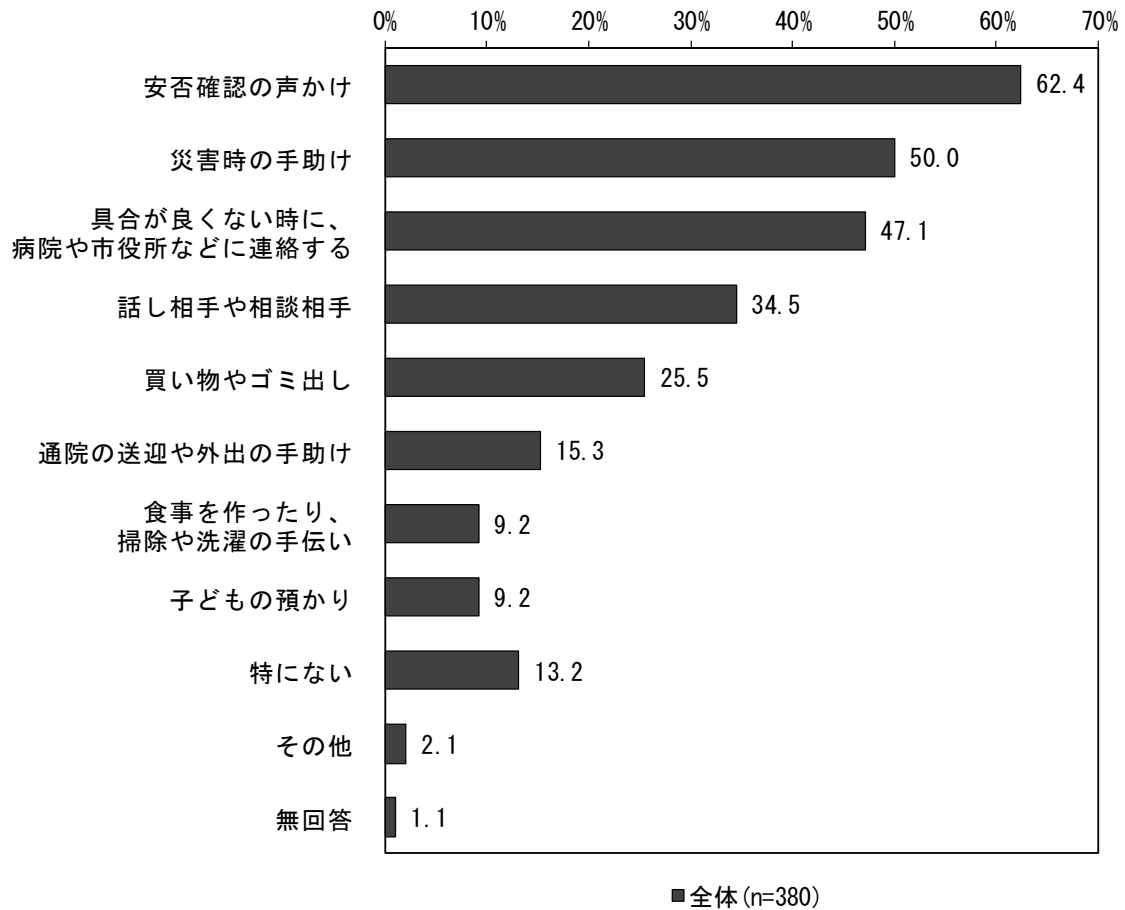
▨ 平成28年度 (n=429)

日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいことについて時系列で見ると、今回調査から追加された選択肢の「災害時の手助け」が56.6%と最も高くなっています。また、「安否確認の声かけ」(56.3%)と「話し相手や相談相手」(27.1%)は平成28年度から割合が高くなっています。一方で、「通院の送迎や外出の手助け」(27.9%)が平成28年度(35.2%)から7.3ポイント低くなっています。

(9) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること

問8 あなたがお住まいの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、高齢、障害、子育てなどで困っているご家庭があった場合、あなたにできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること



日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることについて聞いたところ、「安否確認の声かけ」が62.4%と6割を超えて最も高くなっています。これに、「災害時の手助け」が50.0%と5割を超えています。

図表 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること（属性別）

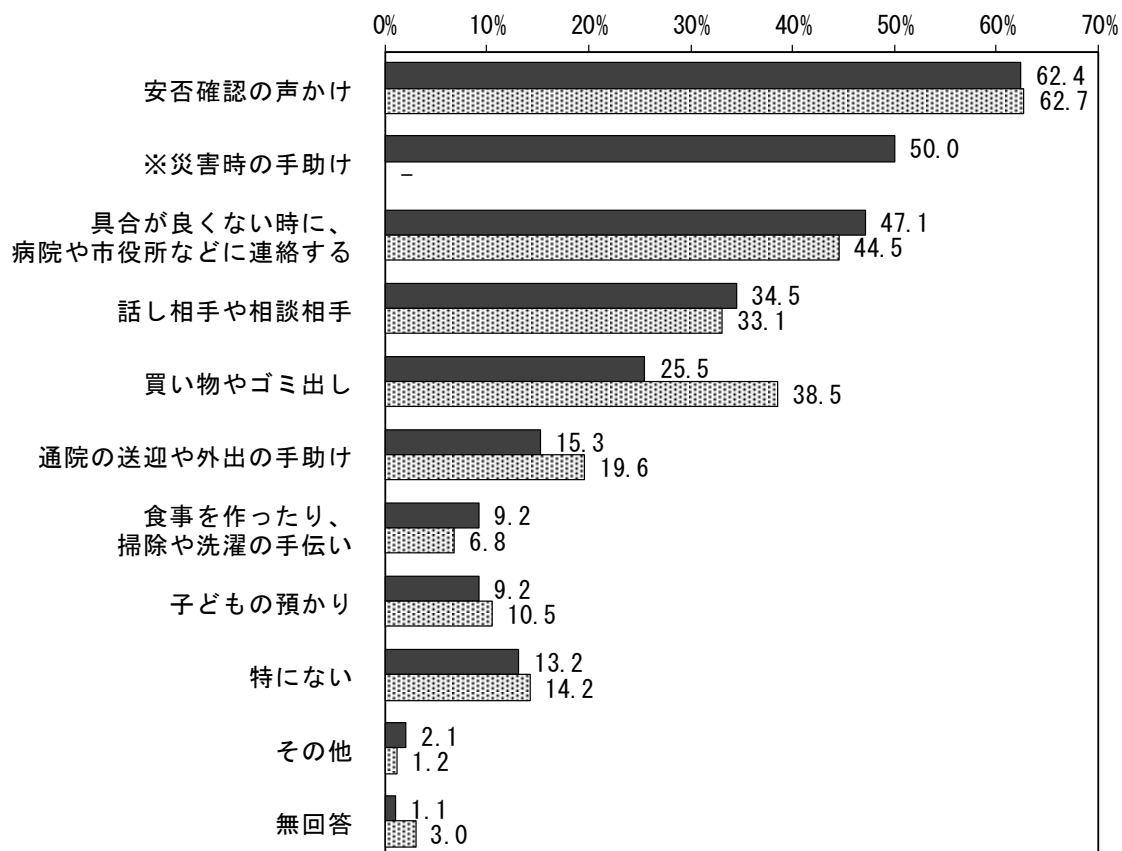
（単位：％）

	n	安否確認の声かけ	災害時の手助け	具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する	話し相手や相談相手	買い物やゴミ出し	通院の送迎や外出の手助け	食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い	子どもの預かり	特にない	その他	無回答	
全体	380	62.4	50.0	47.1	34.5	25.5	15.3	9.2	9.2	13.2	2.1	1.1	
年齢	20～39歳	53	62.3	64.2	45.3	47.2	22.6	11.3	5.7	15.1	7.5	1.9	0.0
	40～54歳	83	51.8	43.4	45.8	28.9	22.9	6.0	8.4	7.2	16.9	3.6	0.0
	55～64歳	59	72.9	59.3	61.0	35.6	28.8	27.1	16.9	10.2	5.1	1.7	0.0
	65～74歳	81	67.9	58.0	50.6	35.8	35.8	23.5	7.4	11.1	13.6	1.2	1.2
	75歳以上	81	61.7	38.3	39.5	32.1	21.0	13.6	7.4	6.2	14.8	2.5	3.7
居住地区	小作台・栄町	68	58.8	33.8	39.7	25.0	14.7	13.2	2.9	5.9	13.2	4.4	1.5
	川崎・玉川・羽・羽東	47	72.3	61.7	51.1	38.3	34.0	21.3	4.3	6.4	12.8	4.3	0.0
	神明台	52	53.8	44.2	46.2	32.7	26.9	19.2	15.4	15.4	19.2	1.9	0.0
	富士見平・双葉町	50	70.0	56.0	46.0	38.0	32.0	12.0	8.0	14.0	12.0	0.0	2.0
	羽加美・羽西・羽中	73	61.6	58.9	47.9	39.7	28.8	20.5	13.7	8.2	8.2	1.4	2.7
	五ノ神・緑ヶ丘	67	65.7	55.2	56.7	37.3	25.4	10.4	10.4	9.0	9.0	1.5	0.0

年齢で見ると、55～64歳で「安否確認の声かけ」（72.9%）と「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」（61.0%）と「通院の送迎や外出の手助け」（27.1%）が全体を大きく上回っています。

居住地区で見ると、「災害時の手助け」は川崎・玉川・羽・羽東（61.7%）が全体（50.0%）を11.7ポイント上回っています。

図表 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

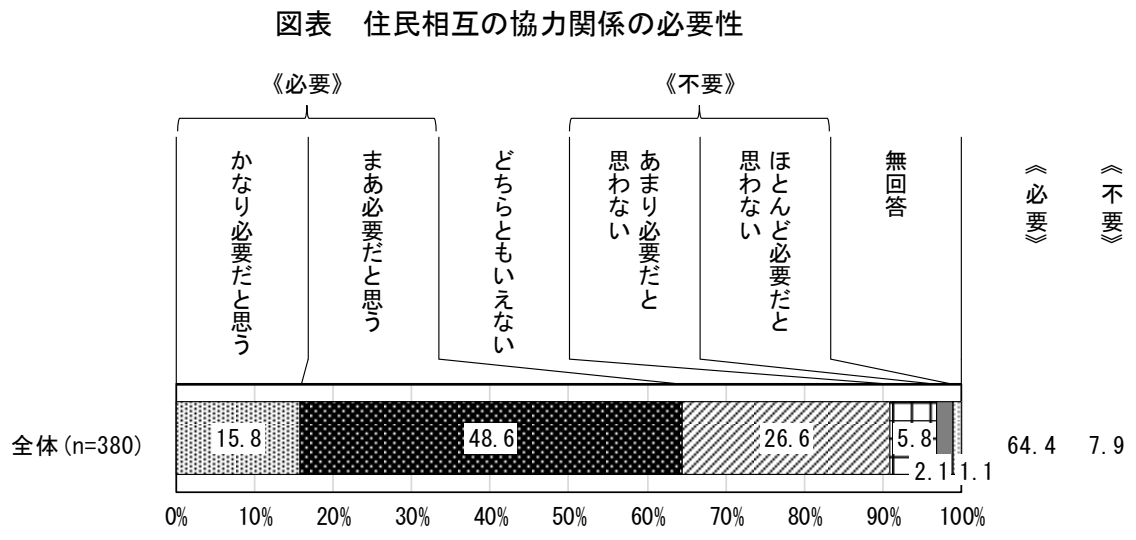
■ 令和4年度 (n=380)

▨ 平成28年度 (n=429)

日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることについて時系列で見ると、「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(47.1%)と「話し相手や相談相手」(34.5%)と「食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い」(9.2%)は平成28年度から割合が高くなっています。一方で、「買い物やゴミ出し」(25.5%)が平成28年度(38.5%)から13.0ポイント低くなっています。

(10) 住民相互の協力関係の必要性

問9 あなたは、地域での生活で生じる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(〇はひとつ)



住民相互の協力関係の必要性について聞いたところ、「かなり必要だと思う」と「まあ必要だと思う」を合わせた《必要》が64.4%となっています。一方、「あまり必要だと思わない」と「ほとんど必要だと思わない」を合わせた《不要》が7.9%となっています。

図表 住民相互の協力関係の必要性（属性別）

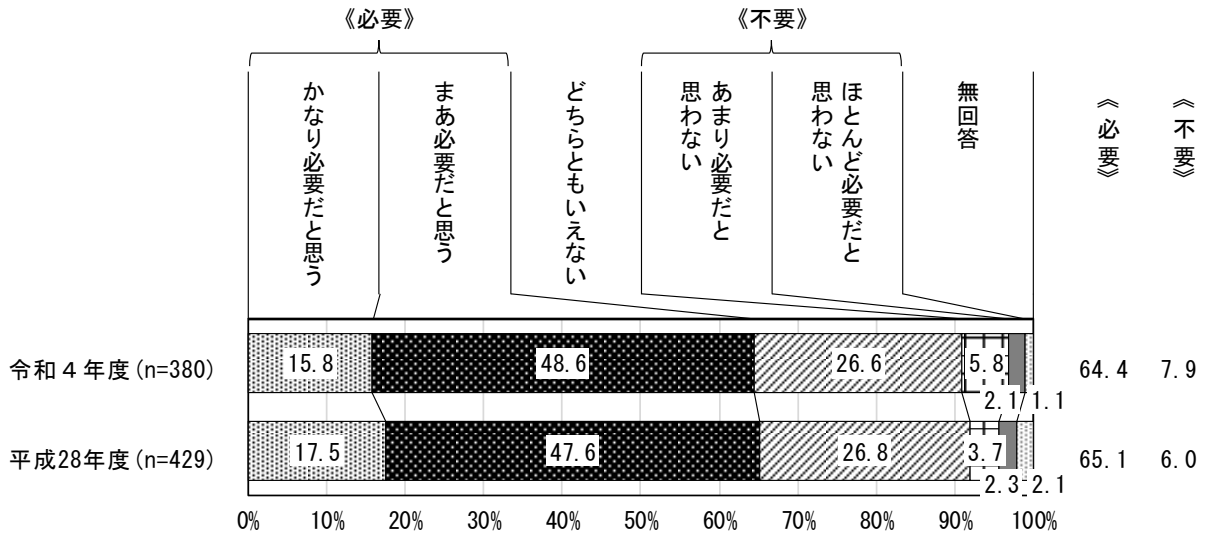
（単位：％）

		n	かなり必要だと思う	まあ必要だと思う	どちらともいえない	あまり必要だと思わない	ほとんど必要だと思わない	無回答	《必要》	《不要》
全体		380	15.8	48.6	26.6	5.8	2.1	1.1	64.4	7.9
年齢	20～39歳	53	15.1	47.1	26.4	5.7	5.7	0.0	62.2	11.4
	40～54歳	83	7.2	53.1	32.5	6.0	1.2	0.0	60.3	7.2
	55～64歳	59	18.6	44.1	25.4	10.2	1.7	0.0	62.7	11.9
	65～74歳	81	16.0	55.6	22.2	3.7	2.5	0.0	71.6	6.2
	75歳以上	81	22.2	43.3	24.7	4.9	1.2	3.7	65.5	6.1
居住地区	小作台・栄町	68	5.9	55.8	29.4	5.9	1.5	1.5	61.7	7.4
	川崎・玉川・羽・羽東	47	10.6	61.8	25.5	2.1	0.0	0.0	72.4	2.1
	神明台	52	17.3	38.5	34.6	5.8	3.8	0.0	55.8	9.6
	富士見平・双葉町	50	22.0	46.0	16.0	8.0	4.0	4.0	68.0	12.0
	羽加美・羽西・羽中	73	21.9	43.8	24.7	8.2	1.4	0.0	65.7	9.6
	五ノ神・緑ヶ丘	67	16.4	50.7	25.4	4.5	3.0	0.0	67.1	7.5

年齢で見ると、割合に大きな差は見られません。

居住地区で見ると、「まあ必要だと思う」は川崎・玉川・羽・羽東（61.8％）が全体（48.6％）を13.2ポイント上回っています。

図表 住民相互の協力関係の必要性（時系列）

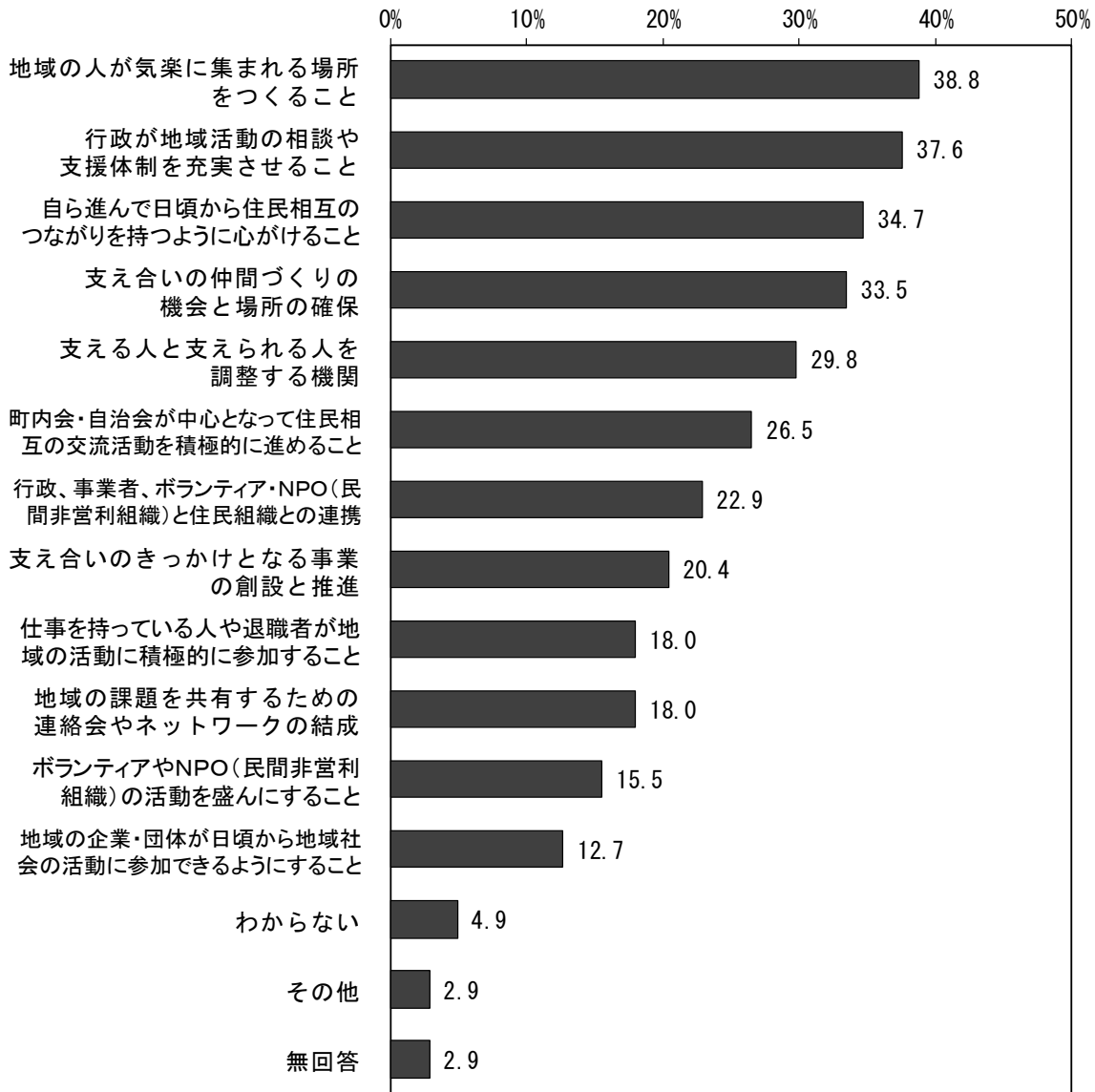


住民相互の協力関係の必要性について時系列で見ると、《不要》（7.9%）が平成28年度（6.0%）から1.9ポイント高くなっています。

(11) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと

問9-1 問9で「1. かなり必要だと思う」「2. まあ必要だと思う」に○をつけた方に伺います。
 どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 住民相互の協力関係で必要だと思うこと



■全体 (n=245)

住民相互の協力関係で必要だと思うことについて聞いたところ、「地域の人が気楽に集まれる場所をつくること」が38.8%と最も高く、「行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること」が37.6%、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりを持つように心がけること」が34.7%、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」が33.5%と3割を超えて続いています。

図表 住民相互の協力関係で必要だと思うこと（属性別）

（単位：％）

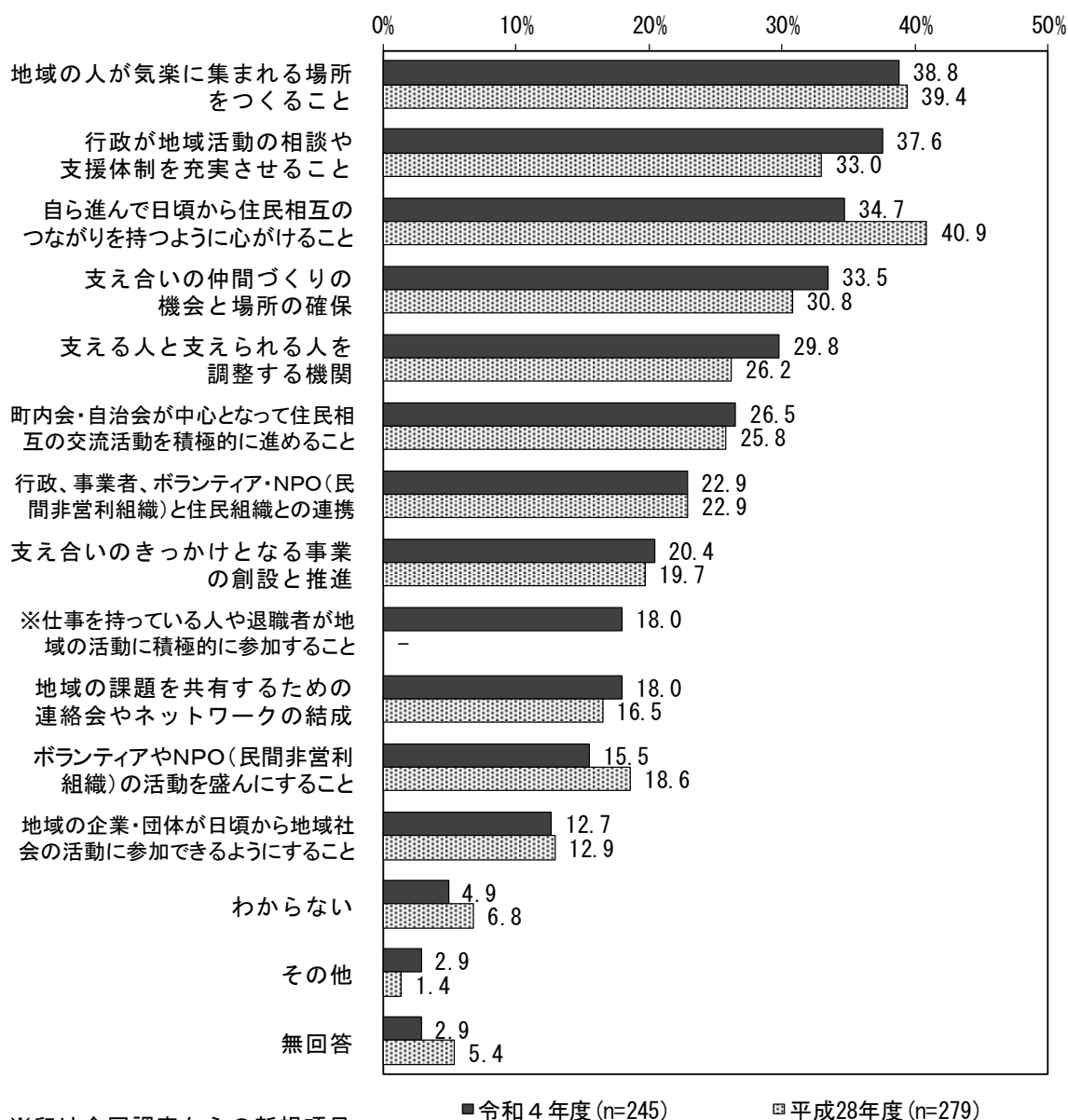
	n	地域の人が気楽に集まれる場所をつくること	行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること	持つよう心がけること	住民相互のつながりを	自ら進んで日頃から	機会と場所の確保	支え合いの仲間づくりの	調整する機会	進めること	町内会・自治会が中心となつて	住民相互の交流活動を積極的に	町内会・自治会との連携	行政、事業者、ボランティアと	事業の創設と推進	支え合いのきっかけとなる	積極的に参加すること	退職者が地域の活動に	仕事を携わっている人や	連絡会やネットワークの結成	地域の課題を共有するため	活動（民間非営利組織）の	ボランティアやNPO	地域社会の活動に参加できる	地域の企業・団体が日頃から
全体	245	38.8	37.6	34.7	33.5	29.8	26.5	22.9	20.4	18.0	18.0	15.5	12.7												
年齢	20～39歳	33	51.5	18.2	36.4	48.5	27.3	18.2	27.3	18.2	6.1	24.2	12.1	9.1											
	40～54歳	50	22.0	32.0	34.0	32.0	34.0	14.0	34.0	20.0	16.0	26.0	16.0	20.0											
	55～64歳	37	35.1	40.5	32.4	37.8	43.2	18.9	18.9	21.6	35.1	18.9	8.1												
	65～74歳	58	37.9	39.7	34.5	24.1	29.3	31.0	15.5	15.5	19.0	17.2	10.3	15.5											
	75歳以上	53	49.1	49.1	39.6	37.7	24.5	43.4	20.8	28.3	15.1	11.3	18.9	9.4											
居住地区	小作台・栄町	42	38.1	33.3	31.0	28.6	35.7	28.6	23.8	21.4	16.7	11.9	11.9	7.1											
	川崎・玉川・羽・羽東	34	32.4	41.2	26.5	23.5	23.5	26.5	11.8	14.7	17.6	20.6	8.8	8.8											
	神明台	29	34.5	44.8	34.5	44.8	37.9	20.7	31.0	27.6	31.0	31.0	24.1	24.1											
	富士見平・双葉町	34	41.2	41.2	38.2	44.1	35.3	17.6	26.5	26.5	14.7	20.6	20.6	17.6											
	羽加美・羽西・羽中	48	47.9	39.6	43.8	37.5	27.1	33.3	27.1	18.8	18.8	10.4	14.6	16.7											
	五ノ神・緑ヶ丘	45	35.6	31.1	33.3	31.1	26.7	26.7	20.0	17.8	15.6	22.2	15.6	6.7											

	n	わからない	その他	無回答	
全体	245	4.9	2.9	2.9	
年齢	20～39歳	33	3.0	6.1	0.0
	40～54歳	50	6.0	2.0	4.0
	55～64歳	37	8.1	2.7	2.7
	65～74歳	58	3.4	0.0	5.2
	75歳以上	53	3.8	3.8	1.9
居住地区	小作台・栄町	42	2.4	4.8	7.1
	川崎・玉川・羽・羽東	34	5.9	8.8	0.0
	神明台	29	0.0	0.0	3.4
	富士見平・双葉町	34	5.9	0.0	2.9
	羽加美・羽西・羽中	48	6.3	0.0	2.1
	五ノ神・緑ヶ丘	45	6.7	0.0	2.2

年齢で見ると、「地域の人が気楽に集まれる場所をつくること」は20～39歳（51.5%）と75歳以上（49.1%）が全体（38.8%）を大きく上回っています。

居住地区で見ると、神明台で「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」などの4項目が全体を大きく上回っています。

図表 住民相互の協力関係で必要だと思うこと（時系列）

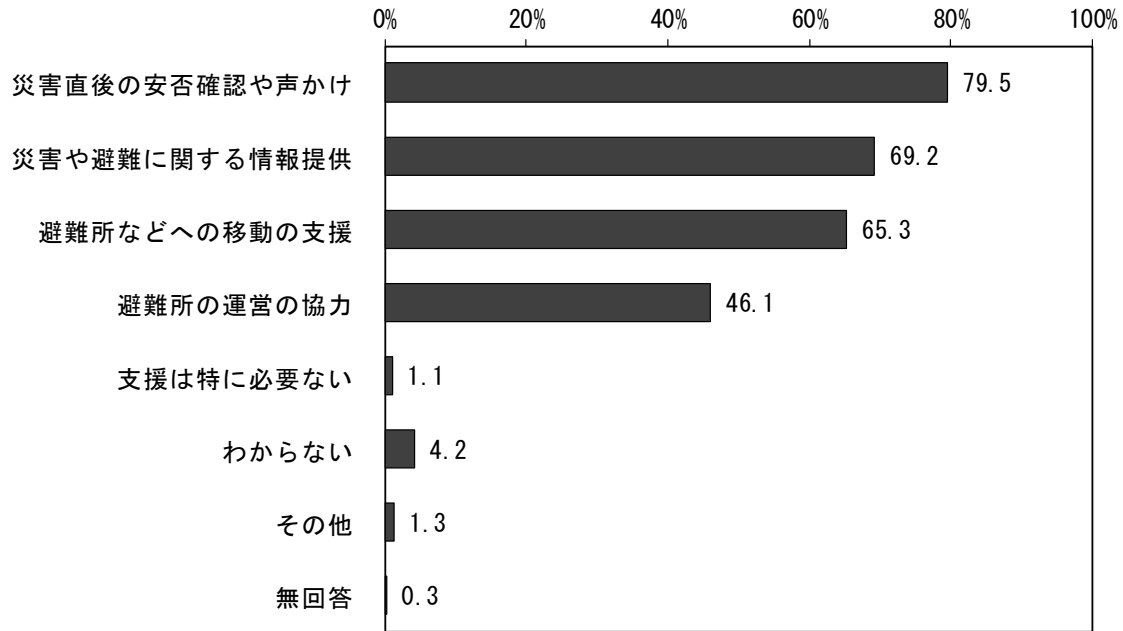


住民相互の協力関係で必要だと思うことについて時系列で見ると、「行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること」(37.6%)が平成28年度(33.0%)から4.6ポイント高くなっています。一方で、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりを持つように心がけること」(34.7%)が平成28年度(40.9%)から6.2ポイント低くなっています。

(12) 災害時における住民間の相互支援

問 10 あなたは、災害がおこった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 災害時における住民間の相互支援



■全体 (n=380)

災害時における住民間の相互支援について聞いたところ、「災害直後の安否確認や声かけ」が79.5%と7割を超えて最も高くなっています。また、「災害や避難に関する情報提供」が69.2%、「避難所などへの移動の支援」が65.3%と6割を超えています。

図表 災害時における住民間の相互支援（属性別）

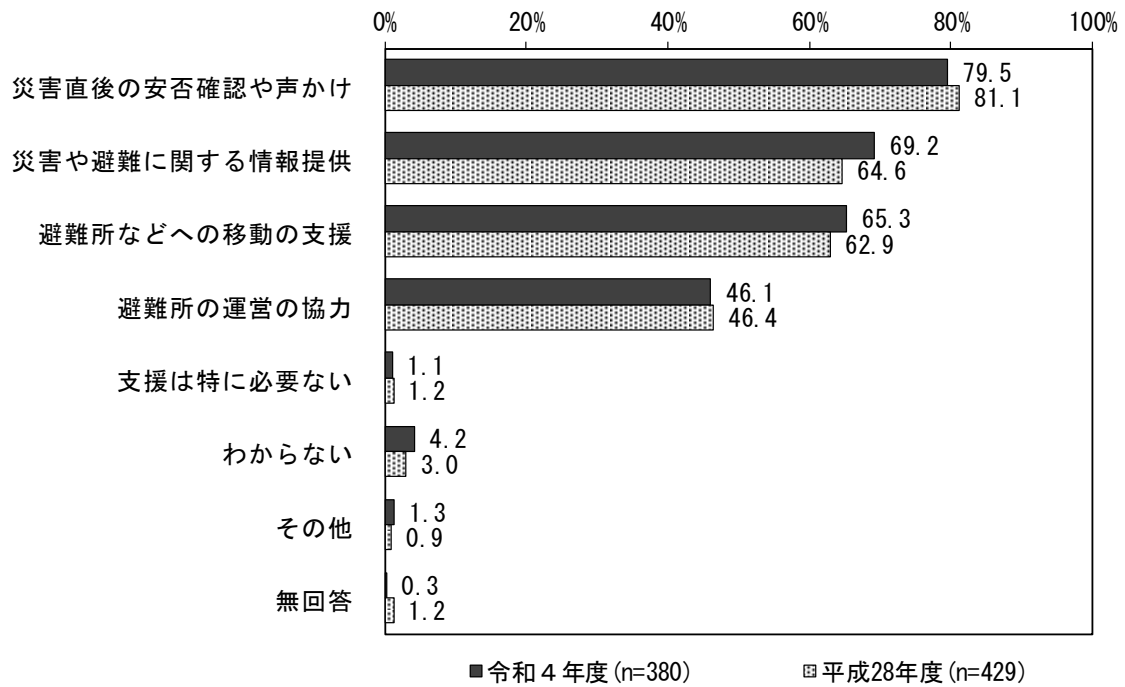
（単位：％）

		n	災害直後の安否確認や声かけ	災害や避難に関する情報提供	避難所などへの移動の支援	避難所の運営の協力	支援は特に必要ない	わからない	その他	無回答
全体		380	79.5	69.2	65.3	46.1	1.1	4.2	1.3	0.3
年齢	20～39歳	53	77.4	67.9	62.3	52.8	1.9	3.8	0.0	0.0
	40～54歳	83	79.5	71.1	59.0	51.8	1.2	3.6	1.2	0.0
	55～64歳	59	74.6	74.6	72.9	55.9	0.0	5.1	1.7	0.0
	65～74歳	81	85.2	75.3	66.7	45.7	2.5	0.0	0.0	0.0
	75歳以上	81	82.7	61.7	75.3	35.8	0.0	2.5	3.7	1.2
居住地区	小作台・栄町	68	69.1	57.4	57.4	35.3	1.5	7.4	2.9	1.5
	川崎・玉川・羽・羽東	47	87.2	74.5	63.8	51.1	0.0	0.0	2.1	0.0
	神明台	52	76.9	69.2	59.6	40.4	1.9	7.7	0.0	0.0
	富士見平・双葉町	50	82.0	72.0	82.0	54.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	羽加美・羽西・羽中	73	82.2	69.9	74.0	54.8	0.0	2.7	1.4	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	85.1	79.1	65.7	49.3	3.0	0.0	0.0	0.0

年齢で見ると、「避難所の運営の協力」は75歳以上（35.8％）が全体（46.1％）を10.3ポイント下回っています。

居住地区で見ると、小作台・栄町で「災害直後の安否確認や声かけ」（69.1％）と「災害や避難に関する情報提供」（57.4％）と「避難所の運営の協力」（35.3％）が全体を大きく下回っています。

図表 災害時における住民間の相互支援（時系列）

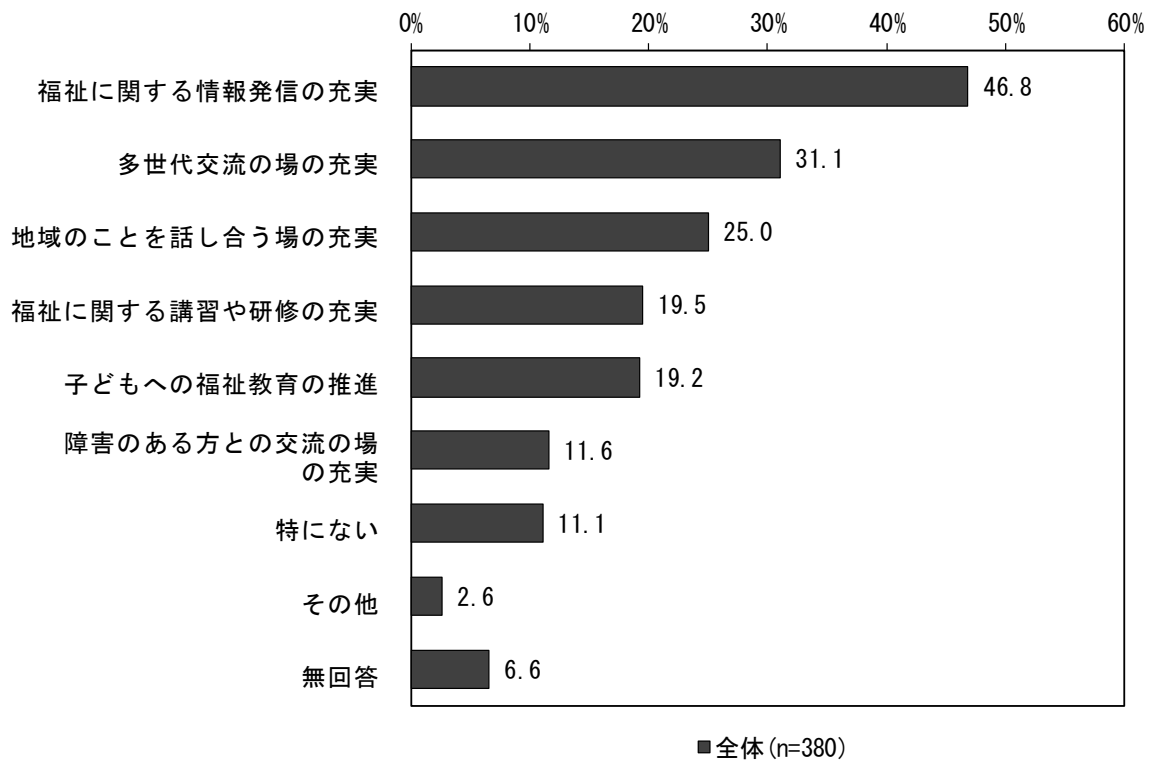


災害時における住民間の相互支援について時系列で見ると、「災害や避難に関する情報提供」(69.2%) が平成 28 年度 (64.6%) から 4.6 ポイント高くなっています。

(13) 助け合い・支え合いの意識を育むために必要だと思う取組み

問 11 あなたは、地域における助け合い・支え合いの意識を育むために、どのような取組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図表 助け合い・支え合いの意識を育むために必要だと思う取組み



助け合い・支え合いの意識を育むために必要だと思う取組みについて聞いたところ、「福祉に関する情報発信の充実」が46.8%と4割を超えて最も高くなっています。これに、「多世代交流の場の充実」が31.1%と3割を超えています。

図表 助け合い・支え合いの意識を育むために必要だと思う取組み（属性別）

（単位：％）

	n	福祉に関する情報発信の充実	多世代交流の場の充実	地域のことを話し合う場の充実	福祉に関する講習や研修の充実	子どもへの福祉教育の推進	障害のある方との交流の場の充実	特にない	その他	無回答	
全体	380	46.8	31.1	25.0	19.5	19.2	11.6	11.1	2.6	6.6	
年齢	20～39歳	53	43.4	32.1	20.8	18.9	39.6	11.3	13.2	3.8	3.8
	40～54歳	83	33.7	33.7	16.9	13.3	26.5	8.4	13.3	8.4	6.0
	55～64歳	59	49.2	37.3	16.9	23.7	15.3	11.9	8.5	0.0	3.4
	65～74歳	81	56.8	28.4	28.4	22.2	14.8	14.8	11.1	0.0	6.2
	75歳以上	81	51.9	28.4	34.6	21.0	8.6	13.6	7.4	0.0	12.3
居住地区	小作台・栄町	68	41.2	35.3	19.1	19.1	19.1	10.3	16.2	2.9	7.4
	川崎・玉川・羽・羽東	47	57.4	31.9	19.1	27.7	29.8	10.6	4.3	2.1	4.3
	神明台	52	59.6	25.0	25.0	19.2	13.5	11.5	9.6	5.8	1.9
	富士見平・双葉町	50	40.0	32.0	24.0	14.0	24.0	14.0	10.0	0.0	10.0
	羽加美・羽西・羽中	73	41.1	32.9	30.1	19.2	21.9	15.1	8.2	2.7	6.8
	五ノ神・緑ヶ丘	67	47.8	31.3	23.9	17.9	13.4	10.4	13.4	3.0	9.0

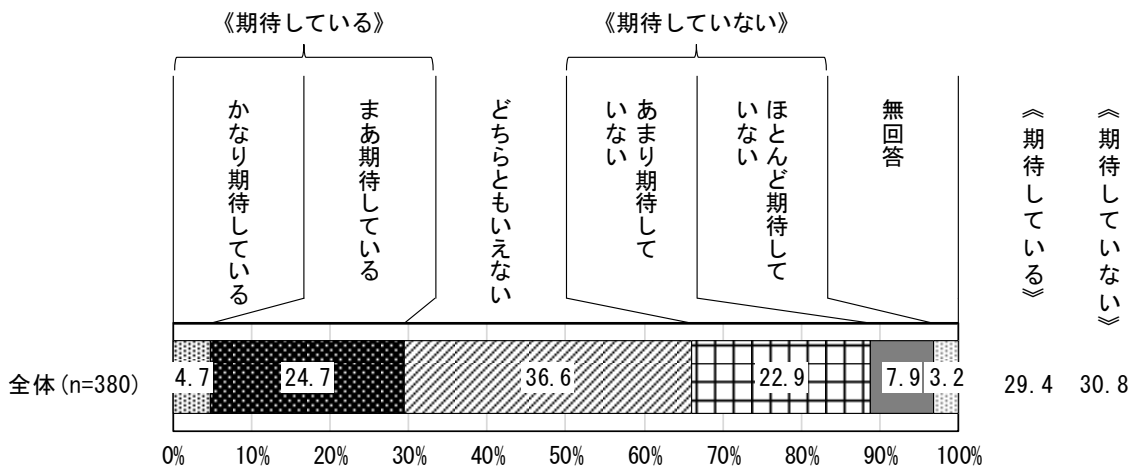
年齢で見ると、「子どもへの福祉教育の推進」は20～39歳（39.6％）が全体（19.2％）を20.4ポイント上回っています。

居住地区で見ると、「福祉に関する情報発信の充実」は川崎・玉川・羽・羽東（57.4％）と神明台（59.6％）で全体（46.8％）を大きく上回っています。

(14) 地域でのボランティアやNPO活動への期待度

問 12 あなたは、ボランティアやNPO（民間非営利組織）といった住民同士による、地域における助け合い・支え合い活動にどの程度期待していますか。（〇はひとつ）

図表 地域でのボランティアやNPO活動への期待度



地域でのボランティアやNPO活動への期待度について聞いたところ、「かなり期待している」と「まあ期待している」を合わせた《期待している》が29.4%となっています。一方、「あまり期待していない」と「ほとんど期待していない」を合わせた《期待していない》が30.8%となっています。

《期待していない》が《期待している》の割合を上回っています。

図表 地域でのボランティアやNPO活動への期待度（属性別）

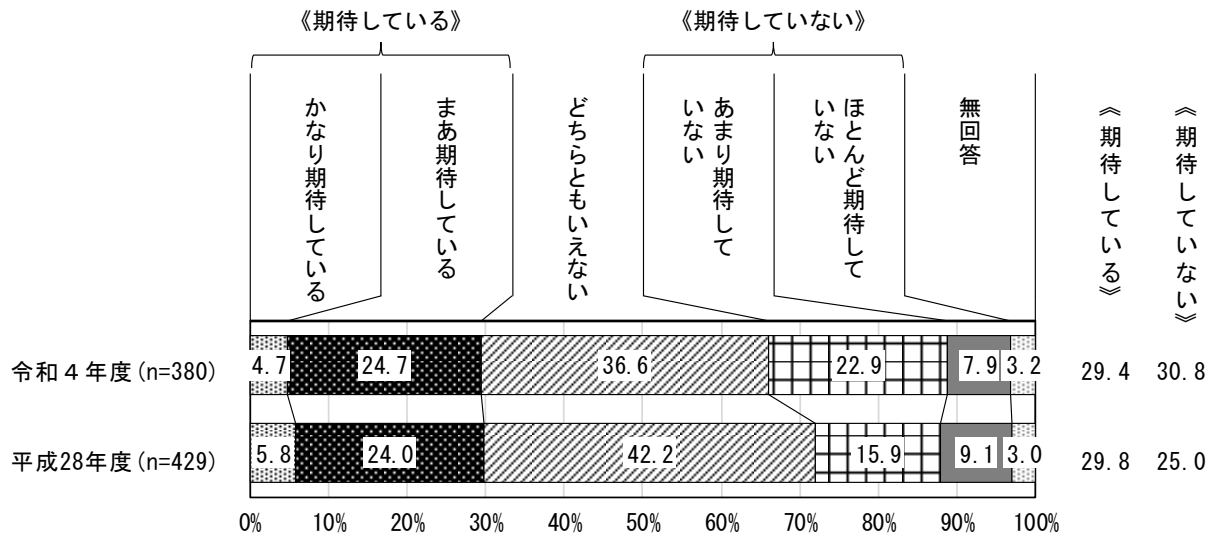
（単位：％）

	n	かなり期待している	まあ期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	ほとんど期待していない	無回答	《期待している》	《期待していない》	
全体	380	4.7	24.7	36.6	22.9	7.9	3.2	29.4	30.8	
年齢	20～39歳	53	0.0	18.9	33.9	34.0	13.2	0.0	18.9	47.2
	40～54歳	83	3.6	19.3	41.0	21.7	12.0	2.4	22.9	33.7
	55～64歳	59	3.4	20.3	50.9	18.6	5.1	1.7	23.7	23.7
	65～74歳	81	4.9	38.4	29.6	22.2	3.7	1.2	43.3	25.9
	75歳以上	81	9.9	23.5	32.0	23.5	6.2	4.9	33.4	29.7
居住地区	小作台・栄町	68	7.4	26.5	32.3	25.0	5.9	2.9	33.9	30.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	6.4	25.5	25.5	34.1	8.5	0.0	31.9	42.6
	神明台	52	3.8	25.0	40.5	17.3	9.6	3.8	28.8	26.9
	富士見平・双葉町	50	4.0	22.0	36.0	26.0	12.0	0.0	26.0	38.0
	羽加美・羽西・羽中	73	6.8	24.7	38.4	20.5	8.2	1.4	31.5	28.7
	五ノ神・緑ヶ丘	67	0.0	25.4	47.7	19.4	1.5	6.0	25.4	20.9

年齢で見ると、《期待していない》は20～39歳（47.2%）が全体（30.8%）を16.4ポイント上回っています。一方で、《期待している》は65～74歳（43.3%）が全体（29.4%）を13.9ポイント上回っています。

居住地区で見ると、《期待していない》は川崎・玉川・羽・羽東（42.6%）が全体（30.8%）を11.8ポイント上回っています。

図表 地域でのボランティアやNPO活動への期待度（時系列）



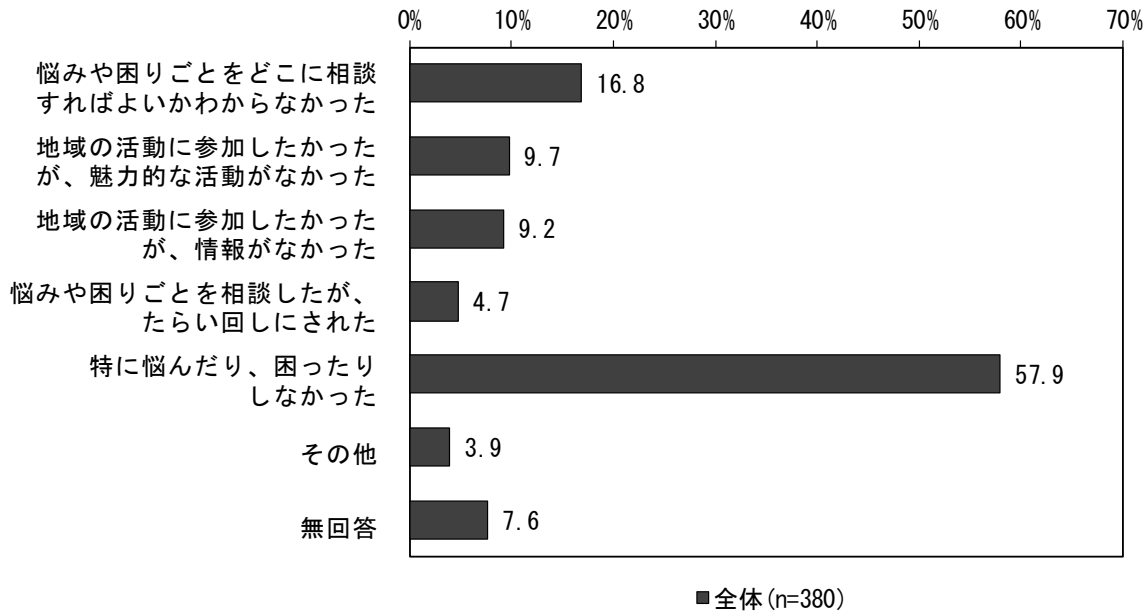
地域でのボランティアやNPO活動への期待度について時系列で見ると、《期待していない》(30.8%)が平成28年度(25.0%)から5.8ポイント高くなっています。

平成28年度は《期待している》が《期待していない》を上回っていましたが、令和4年度では逆転しました。

(15) 地域で生活する中で困ったこと

問 13 あなたは、地域で生活する中で、次のようなことで悩んだり、困ったりしたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

図表 地域で生活する中で困ったこと



地域で生活する中で困ったことについて聞いたところ、「悩みや困りごとをどこに相談すればよいかわからなかった」が 16.8%と 1 割を超えています。一方、「特に悩んだり、困ったりしなかった」が 57.9%と 5 割を超えて最も高くなっています。

図表 地域で生活する中で困ったこと（属性別）

（単位：％）

		n	悩みや困りごとをどこに相談すればよいかわからなかった	魅力的な活動に参加しなかったが、	地域の活動に参加したが、情報がなかった	地域の活動に参加したが、情報がなかった	悩みや困りごとを相談したが、たらい回しにされた	特に悩んだり、困ったりしなかった	その他	無回答
全体		380	16.8	9.7	9.2	4.7	57.9	3.9	7.6	
年齢	20～39歳	53	15.1	15.1	5.7	5.7	64.2	1.9	1.9	
	40～54歳	83	19.3	3.6	8.4	7.2	51.8	7.2	8.4	
	55～64歳	59	11.9	5.1	6.8	5.1	69.5	8.5	3.4	
	65～74歳	81	19.8	11.1	11.1	1.2	63.0	0.0	6.2	
	75歳以上	81	14.8	16.0	14.8	3.7	50.6	1.2	12.3	
居住地区	小作台・栄町	68	13.2	11.8	8.8	4.4	58.8	1.5	8.8	
	川崎・玉川・羽・羽東	47	23.4	12.8	12.8	4.3	55.3	4.3	4.3	
	神明台	52	21.2	9.6	11.5	5.8	59.6	3.8	5.8	
	富士見平・双葉町	50	18.0	8.0	8.0	2.0	62.0	0.0	8.0	
	羽加美・羽西・羽中	73	19.2	12.3	6.8	4.1	56.2	4.1	5.5	
	五ノ神・緑ヶ丘	67	10.4	4.5	10.4	4.5	61.2	7.5	9.0	

年齢で見ると、「特に悩んだり、困ったりしなかった」は 55～64 歳（69.5%）が全体（57.9%）を 11.6 ポイント上回っています。

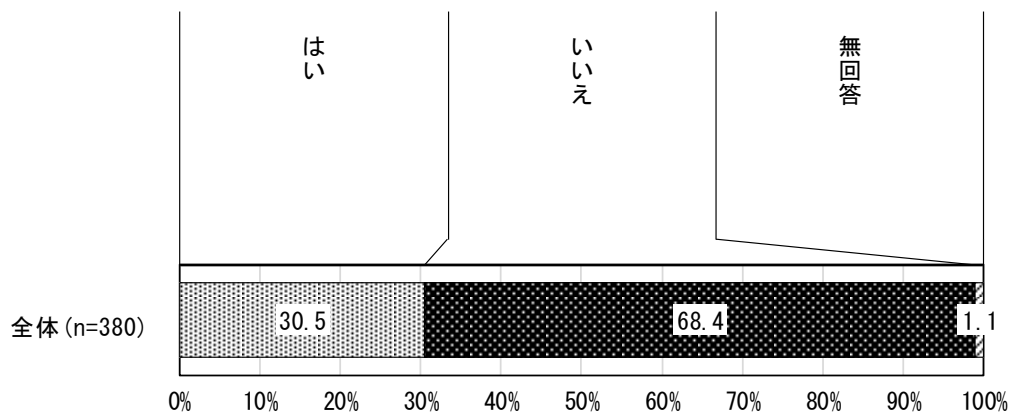
居住地区で見ると、割合に大きな差は見られません。

2. 地域活動への参加について

(16) 地域活動への参加の有無

問 14 あなたは、地域の活動に参加していますか。(○はひとつ)

図表 地域活動への参加の有無



地域活動への参加の有無について聞いたところ、「いいえ」が 68.4%、「はい」が 30.5%となっています。

図表 地域活動への参加の有無（属性別）

（単位：％）

		n	はい	いいえ	無回答
全体		380	30.5	68.4	1.1
年齢	20～39歳	53	17.0	83.0	0.0
	40～54歳	83	27.7	71.1	1.2
	55～64歳	59	27.1	72.9	0.0
	65～74歳	81	29.6	70.4	0.0
	75歳以上	81	43.2	53.1	3.7
居住年数	5年未満	23	13.0	87.0	0.0
	5～9年	25	24.0	76.0	0.0
	10～19年	56	32.1	66.1	1.8
	20～29年	59	25.4	74.6	0.0
	30～39年	60	20.0	80.0	0.0
	40年以上	119	43.7	53.8	2.5
居住地区	小作台・栄町	68	25.0	73.5	1.5
	川崎・玉川・羽・羽東	47	38.3	61.7	0.0
	神明台	52	30.8	69.2	0.0
	富士見平・双葉町	50	20.0	80.0	0.0
	羽加美・羽西・羽中	73	32.9	65.7	1.4
	五ノ神・緑ヶ丘	67	32.8	64.2	3.0
住居形態	持ち家（一戸建て）	240	35.8	62.5	1.7
	持ち家 （マンションなどの集合住宅）	52	19.2	80.8	0.0
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	6	33.3	66.7	0.0
	民間の賃貸住宅 （マンションなどの集合住宅）	40	7.5	92.5	0.0
	公営住宅	16	50.0	50.0	0.0
	社宅（会社が借り上げている アパート等含む）	2	0.0	100.0	0.0
	学生寮	1	100.0	0.0	0.0
	その他	6	0.0	100.0	0.0

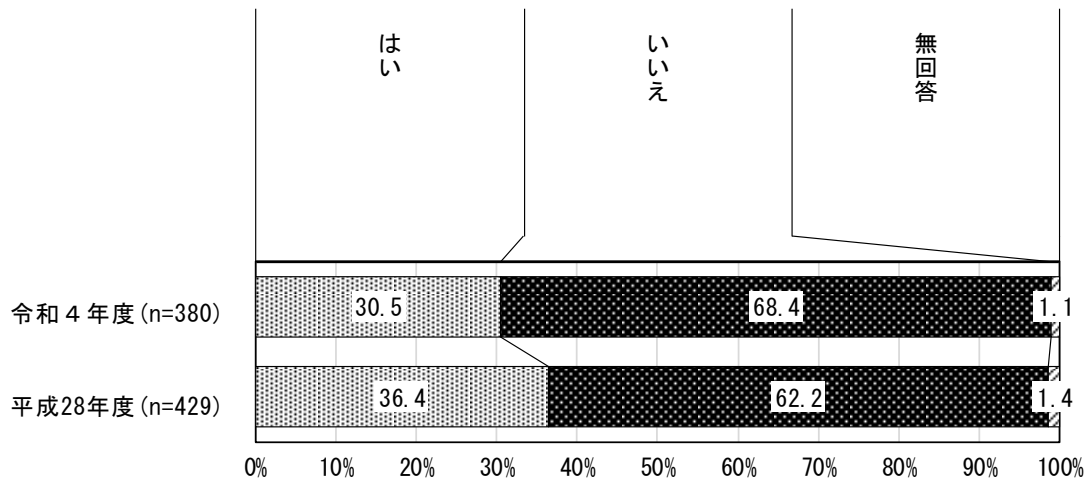
年齢で見ると、「はい」は75歳以上（43.2%）が全体（30.5%）を12.7ポイント上回り、「いいえ」は20～39歳（83.0%）が全体（68.4%）を14.6ポイント上回っています。

居住年数で見ると、「いいえ」は5年未満（87.0%）と30～39年（80.0%）が全体（68.4%）を大きく上回っています。

居住地区で見ると、「いいえ」は富士見平・双葉町（80.0%）が全体（68.4%）を11.6ポイント上回っています。

住居形態で見ると、「いいえ」は持ち家（マンションなどの集合住宅）（80.8%）と民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）（92.5%）が全体（68.4%）を大きく上回っています。

図表 地域活動への参加の有無（時系列）



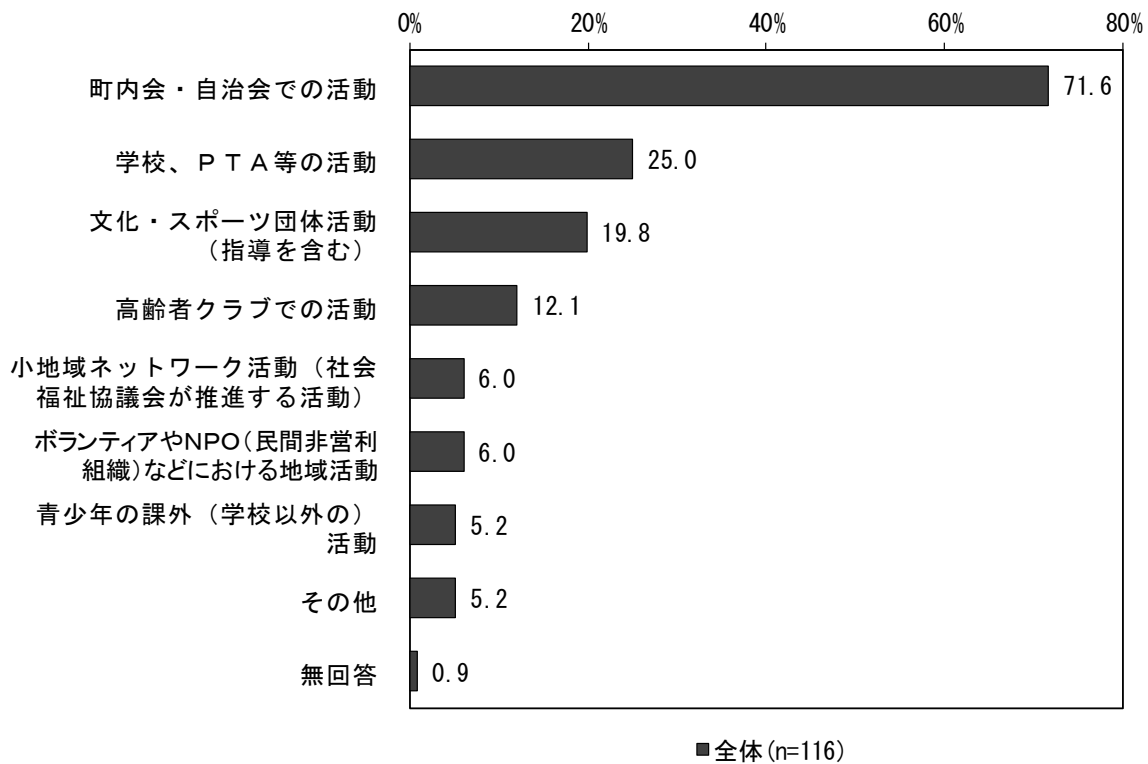
地域活動への参加の有無について時系列で見ると、「いいえ」(68.4%)が平成28年度(62.2%)から6.2ポイント高くなっています。

(17) 参加している地域活動

問 14-1 問 14 で「1. はい」に○をつけた方に伺います。

あなたが、地域で参加している活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 参加している地域活動



参加している地域活動について聞いたところ、「町内会・自治会での活動」が71.6%と7割を超えて最も高くなっています。これに、「学校、PTA等の活動」が25.0%と2割を超えています。

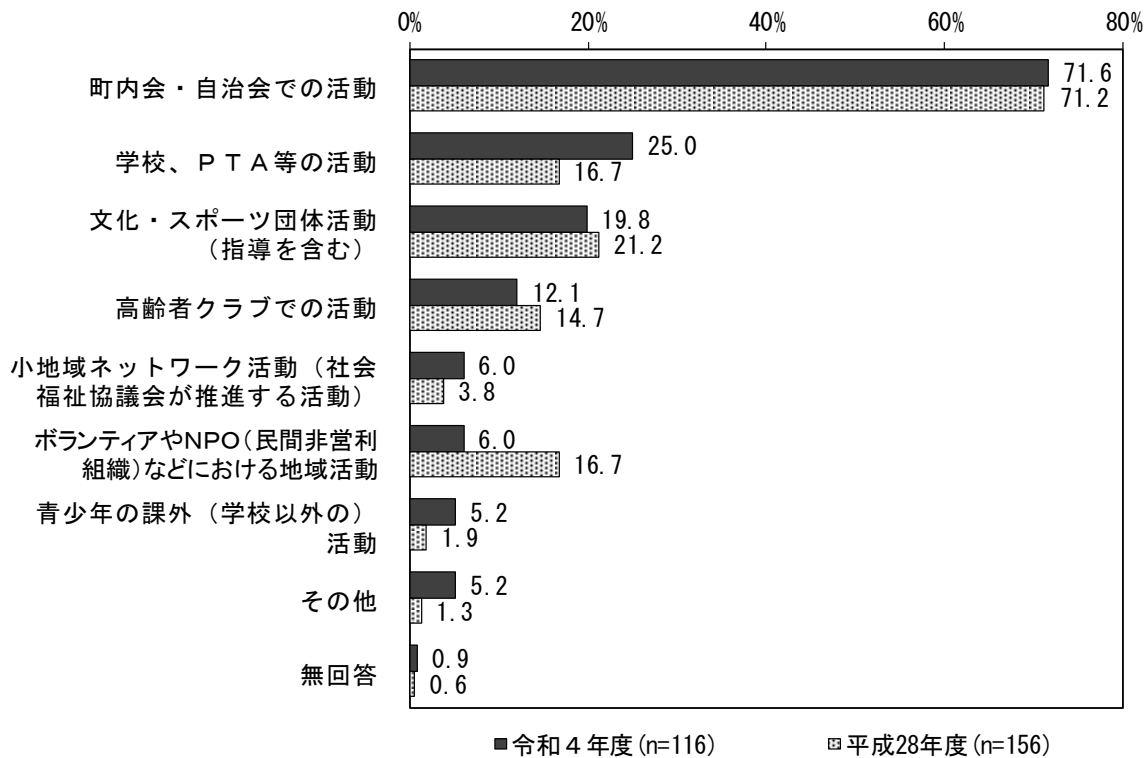
図表 参加している地域活動（属性別）

（単位：％）

	n	町内会・自治会での活動	学校、PTA等の活動	文化・スポーツ団体活動（指導を含む）	高齢者クラブでの活動	小地域ネットワーク活動（社会福祉協議会が推進する活動）	ボランティアやNPO（民間非営利組織）などにおける地域活動	青少年の課外（学校以外の）活動	その他	無回答	
全体	116	71.6	25.0	19.8	12.1	6.0	6.0	5.2	5.2	0.9	
年齢	20～39歳	9	55.6	66.7	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0
	40～54歳	23	52.2	60.9	17.4	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	55～64歳	16	87.5	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0
	65～74歳	24	91.7	4.2	20.8	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0
	75歳以上	35	68.6	8.6	25.7	31.4	8.6	14.3	2.9	8.6	2.9

年齢で見ると、「高齢者クラブでの活動」は75歳以上（31.4%）が全体（12.1%）を19.3ポイント上回っています。

図表 参加している地域活動（時系列）

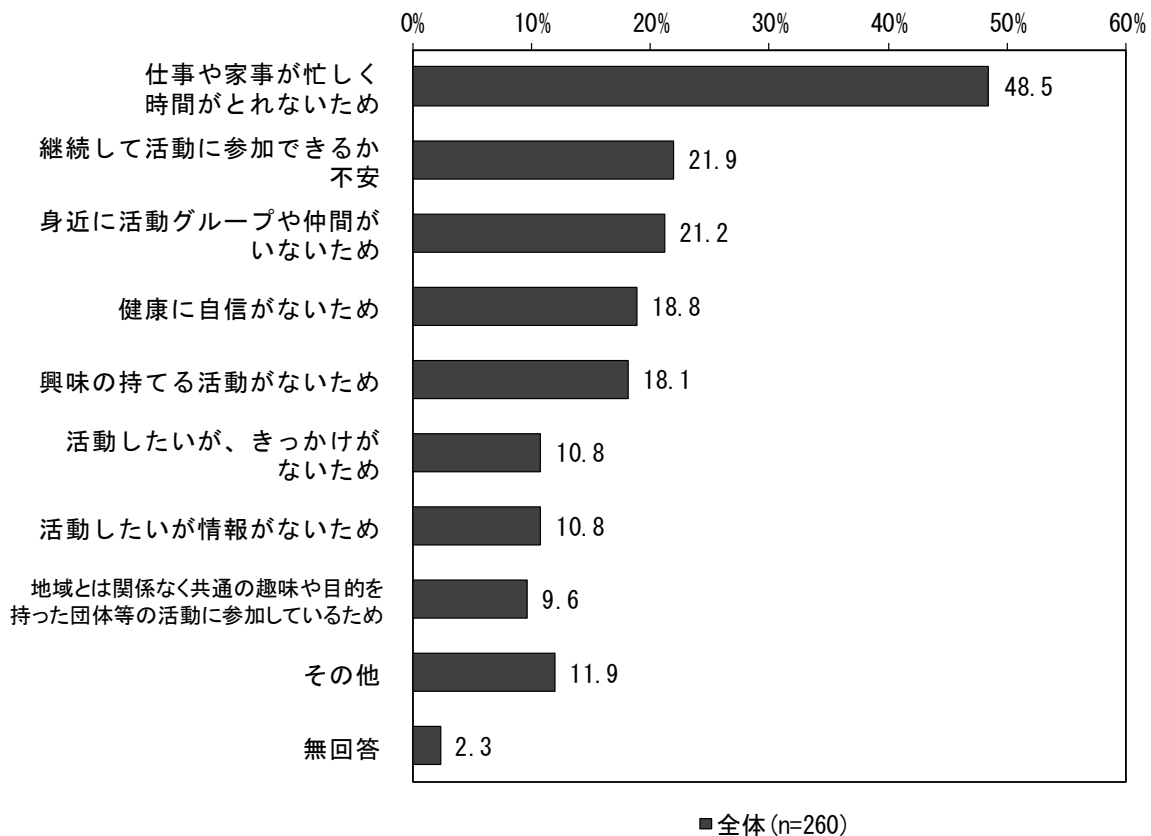


参加している地域活動について時系列で見ると、「学校、PTA等の活動」(25.0%)が平成28年度(16.7%)から8.3ポイント高くなっています。一方で、「ボランティアやNPO（民間非営利組織）などにおける地域活動」(6.0%)が平成28年度(16.7%)から10.7ポイント低くなっています。

(18) 活動に参加しない理由

問 14-2 問 14 で「2. いいえ」に○をつけた方に伺います。
地域の活動へ参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 活動に参加しない理由



活動に参加しない理由について聞いたところ、「仕事や家事が忙しく時間がとれないため」が48.5%と4割を超えて最も高くなっています。これに、「継続して活動に参加できるか不安」が21.9%、「身近に活動グループや仲間がないため」が21.2%と2割を超えています。

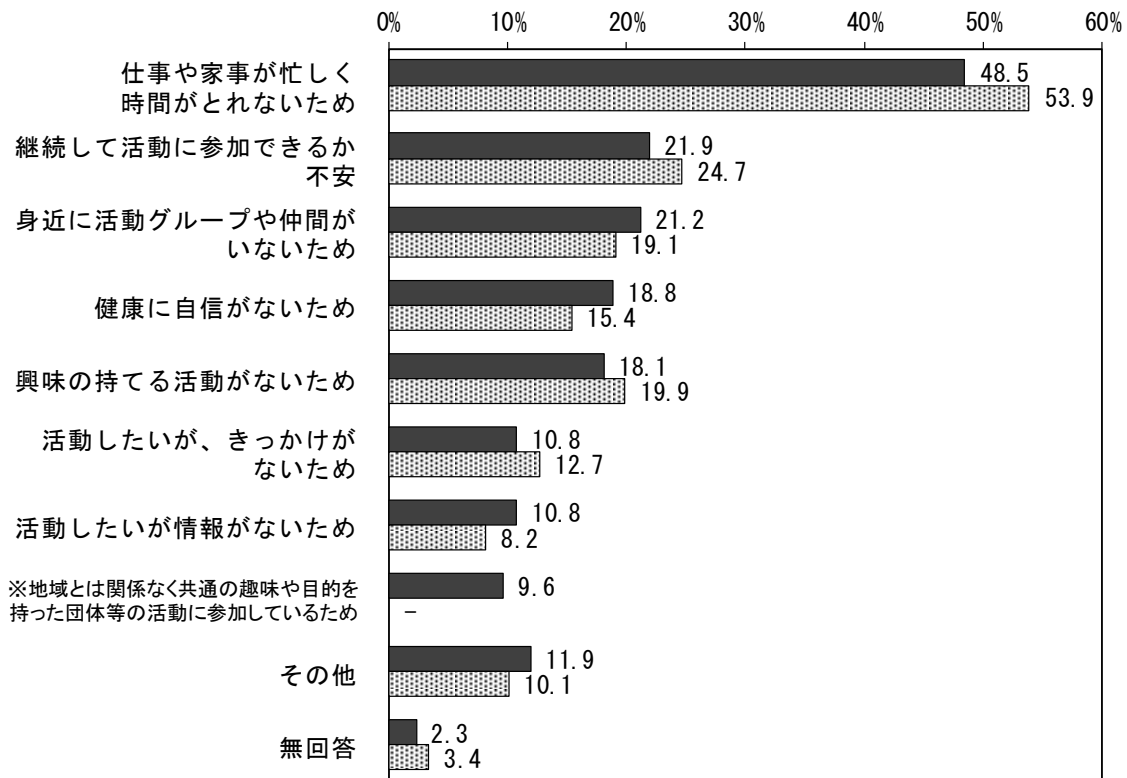
図表 活動に参加しない理由（属性別）

（単位：％）

		n	仕事や家事が忙しく時間がとれないため	継続して活動に参加できるか不安	身近に活動グループや仲間がないため	健康に自信がないため	興味の持てる活動がないため	活動したいが、きっかけがないため	活動したいが情報が無いため	地域とは関係なく共通の趣味や目的を持った団体等の活動に参加しているため	その他	無回答
全体		260	48.5	21.9	21.2	18.8	18.1	10.8	10.8	9.6	11.9	2.3
年齢	20～39歳	44	77.3	25.0	29.5	4.5	27.3	11.4	13.6	4.5	11.4	0.0
	40～54歳	59	71.2	22.0	16.9	11.9	15.3	5.1	10.2	6.8	10.2	1.7
	55～64歳	43	48.8	18.6	14.0	9.3	18.6	11.6	9.3	9.3	20.9	0.0
	65～74歳	57	35.1	28.1	28.1	26.3	19.3	14.0	12.3	8.8	8.8	1.8
	75歳以上	43	9.3	18.6	14.0	37.2	16.3	16.3	11.6	23.3	9.3	9.3

年齢で見ると、「地域とは関係なく共通の趣味や目的を持った団体等の活動に参加しているため」は75歳以上（23.3％）が全体（9.6％）を13.7ポイント上回っています。

図表 活動に参加しない理由（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

■ 令和4年度 (n=260)

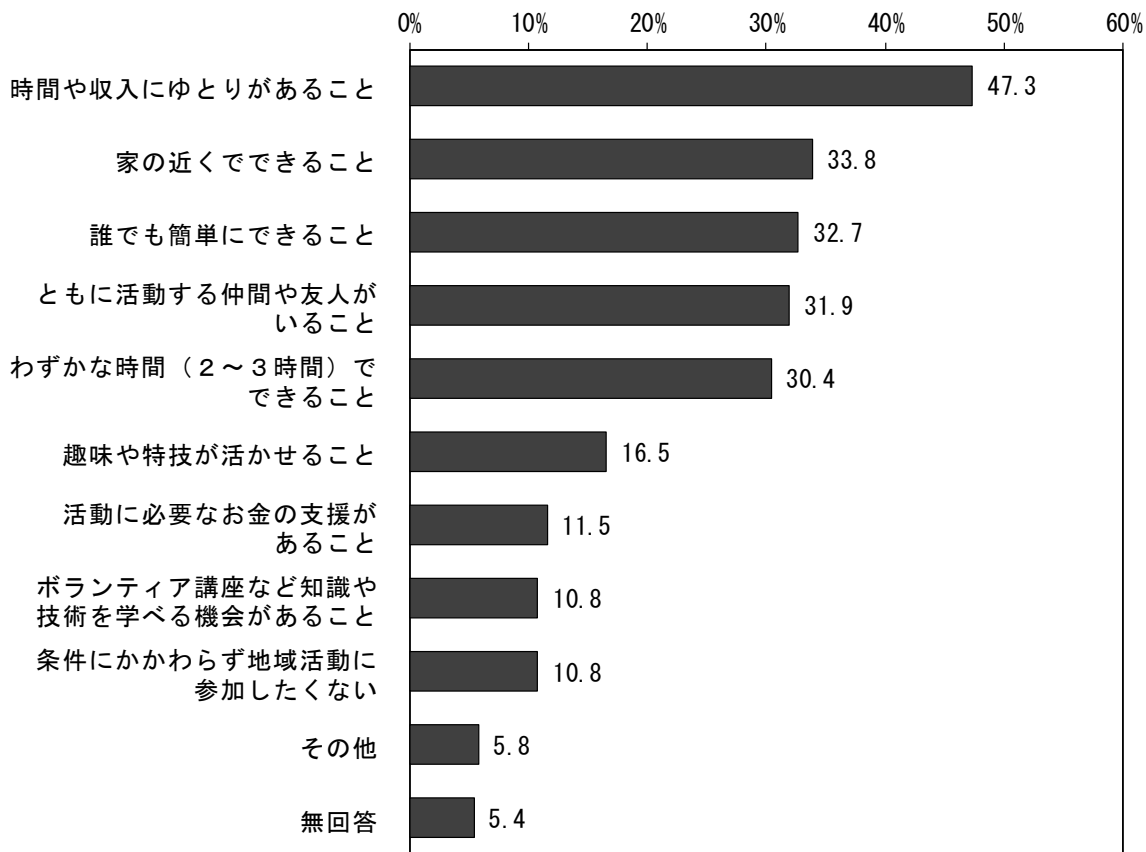
▨ 平成28年度 (n=267)

活動に参加しない理由について時系列で見ると、「身近に活動グループや仲間がないため」(21.2%)と「健康に自信がないため」(18.8%)と「活動したいが情報がないため」(10.8%)の割合が平成28年度から高くなっています。一方で、「仕事や家事が忙しく時間がとれないため」(48.5%)が平成28年度(53.9%)から5.4ポイント低くなっています。

(19) 地域活動への参加条件

問 14-3 問 14 で「2. いいえ」に○をつけた方に伺います。
 どのような条件が整えば、地域の活動に参加しやすくなりますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 地域活動への参加条件



■全体 (n=260)

地域活動への参加条件について聞いたところ、「時間や収入にゆとりがあること」が 47.3%と 4割を超えて最も高くなっています。これに、「家の近くでできること」が 33.8%、「誰でも簡単にできること」が 32.7%、「ともに活動する仲間や友人がいること」が 31.9%、「わずかな時間（2～3時間）でできること」が 30.4%と 3割を超えて続いています。

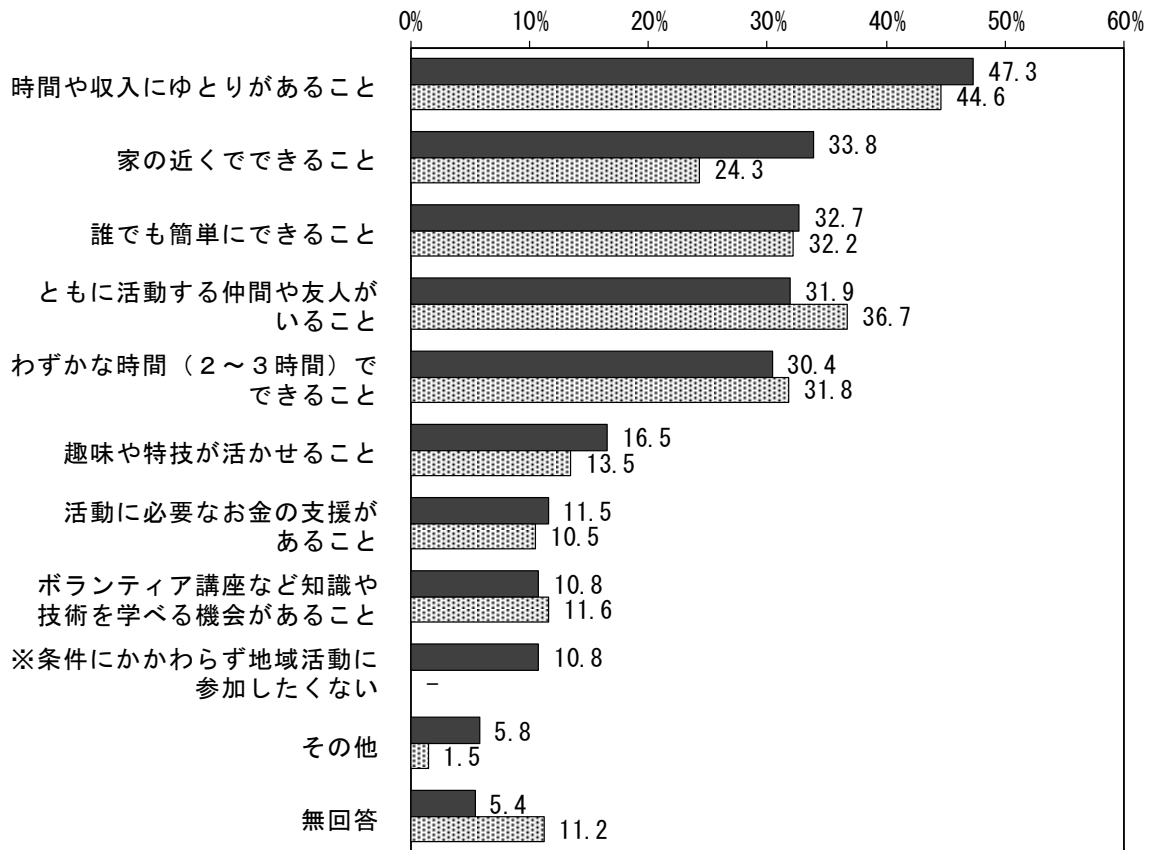
図表 地域活動への参加条件（属性別）

（単位：％）

	n	時間や収入にゆとりがあること	家の近くでできること	誰でも簡単にできること	ともに活動する仲間や友人がいること	わずかな時間（2～3時間）でできること	趣味や特技が活かせること	活動に必要なお金の支援があること	ボランティア講座など知識や技術を学べる機会があること	条件にかかわらず地域活動に参加したくない	その他	無回答	
全体	260	47.3	33.8	32.7	31.9	30.4	16.5	11.5	10.8	10.8	5.8	5.4	
年齢	20～39歳	44	84.1	43.2	47.7	40.9	43.2	18.2	20.5	18.2	6.8	2.3	0.0
	40～54歳	59	61.0	37.3	28.8	33.9	30.5	15.3	10.2	8.5	10.2	3.4	1.7
	55～64歳	43	48.8	32.6	37.2	20.9	37.2	23.3	7.0	18.6	7.0	4.7	2.3
	65～74歳	57	36.8	36.8	29.8	35.1	28.1	8.8	12.3	3.5	15.8	5.3	5.3
	75歳以上	43	11.6	18.6	23.3	32.6	18.6	23.3	4.7	11.6	11.6	9.3	16.3

年齢で見ると、20～39歳で「時間や収入にゆとりがあること」（84.1％）と「誰でも簡単にできること」（47.7％）と「わずかな時間（2～3時間）でできること」（43.2％）が全体を大きく上回っています。

図表 地域活動への参加条件（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

■ 令和4年度 (n=260)

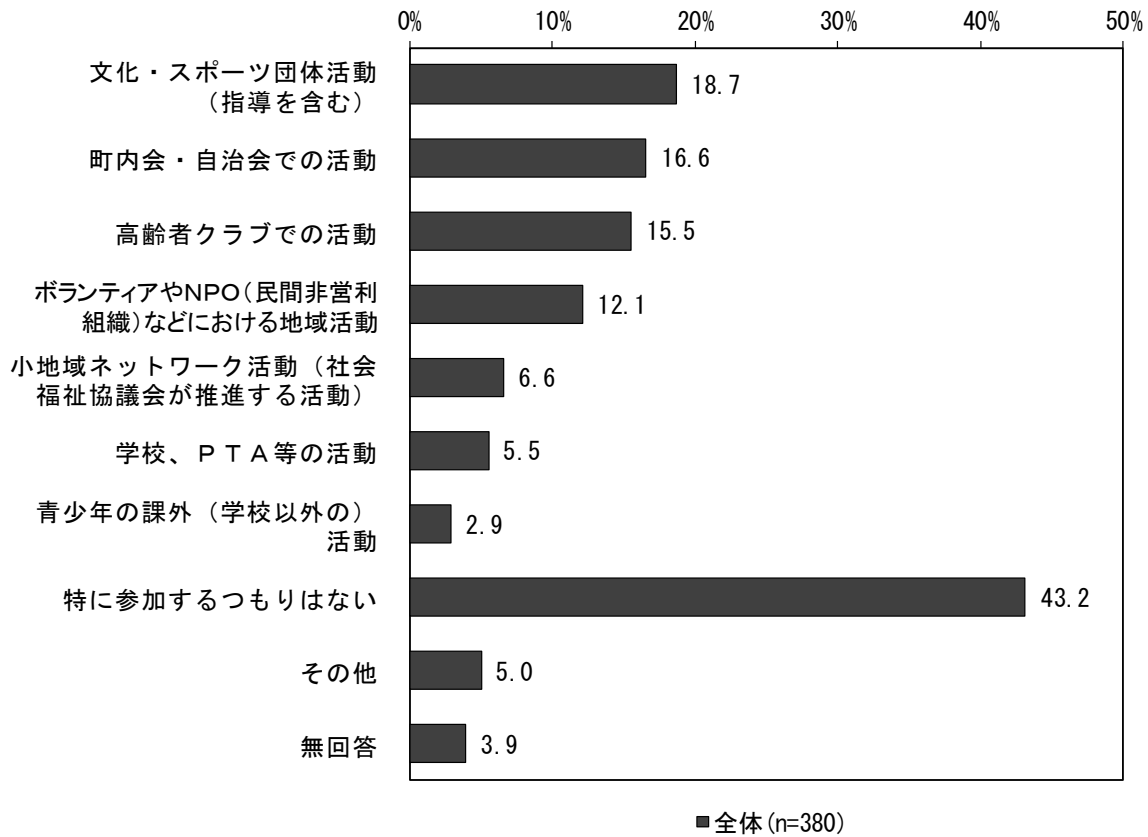
▨ 平成28年度 (n=267)

地域活動への参加条件について時系列で見ると、「家の近くでできること」(33.8%)が平成28年度(24.3%)から9.5ポイント高くなっています。一方で、「ともに活動する仲間や友人がいること」(31.9%)が平成28年度(36.7%)から4.8ポイント低くなっています。

(20) 今後参加したい地域活動

問 15 あなたが、今後参加したいと思う地域の活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 今後参加したい地域活動



今後参加したい地域活動について聞いたところ、「文化・スポーツ団体活動(指導を含む)」が18.7%、「町内会・自治会での活動」が16.6%、「高齢者クラブでの活動」が15.5%、「ボランティアやNPO(民間非営利組織)などにおける地域活動」が12.1%と1割を超えて続いています。一方で、「特に参加するつもりはない」が43.2%と4割を超えて最も高くなっています。

図表 今後参加したい地域活動（属性別）

（単位：％）

	n	文化・スポーツ団体活動（指導を含む）	町内会・自治会での活動	高齢者クラブでの活動	ボランティアやNPO（民間非営利組織）などにおける地域活動	小地域ネットワーク活動（社会福祉協議会が推進する活動）	学校、PTA等の活動	青少年の課外（学校以外の）活動	特に参加するつもりはない	その他	無回答	
全体	380	18.7	16.6	15.5	12.1	6.6	5.5	2.9	43.2	5.0	3.9	
年齢	20～39歳	53	24.5	18.9	3.8	13.2	1.9	22.6	13.2	35.8	3.8	1.9
	40～54歳	83	16.9	9.6	4.8	8.4	4.8	6.0	2.4	54.2	3.6	2.4
	55～64歳	59	23.7	22.0	13.6	15.3	6.8	1.7	0.0	40.7	11.9	0.0
	65～74歳	81	16.0	19.8	19.8	14.8	9.9	1.2	1.2	45.7	2.5	1.2
	75歳以上	81	19.8	16.0	33.3	11.1	8.6	1.2	1.2	34.6	6.2	7.4
居住地区	小作台・栄町	68	22.1	11.8	14.7	13.2	4.4	1.5	0.0	41.2	7.4	4.4
	川崎・玉川・羽・羽東	47	21.3	25.5	17.0	8.5	6.4	6.4	4.3	38.3	8.5	2.1
	神明台	52	19.2	17.3	23.1	11.5	5.8	1.9	1.9	38.5	3.8	5.8
	富士見平・双葉町	50	10.0	16.0	20.0	14.0	6.0	10.0	4.0	46.0	0.0	4.0
	羽加美・羽西・羽中	73	20.5	19.2	13.7	12.3	11.0	8.2	5.5	45.2	6.8	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	22.4	14.9	9.0	13.4	6.0	6.0	3.0	44.8	4.5	3.0

年齢で見ると、20～39歳で「学校、PTA等の活動」（22.6％）と「青少年の課外（学校以外の）活動」（13.2％）が全体を大きく上回っています。

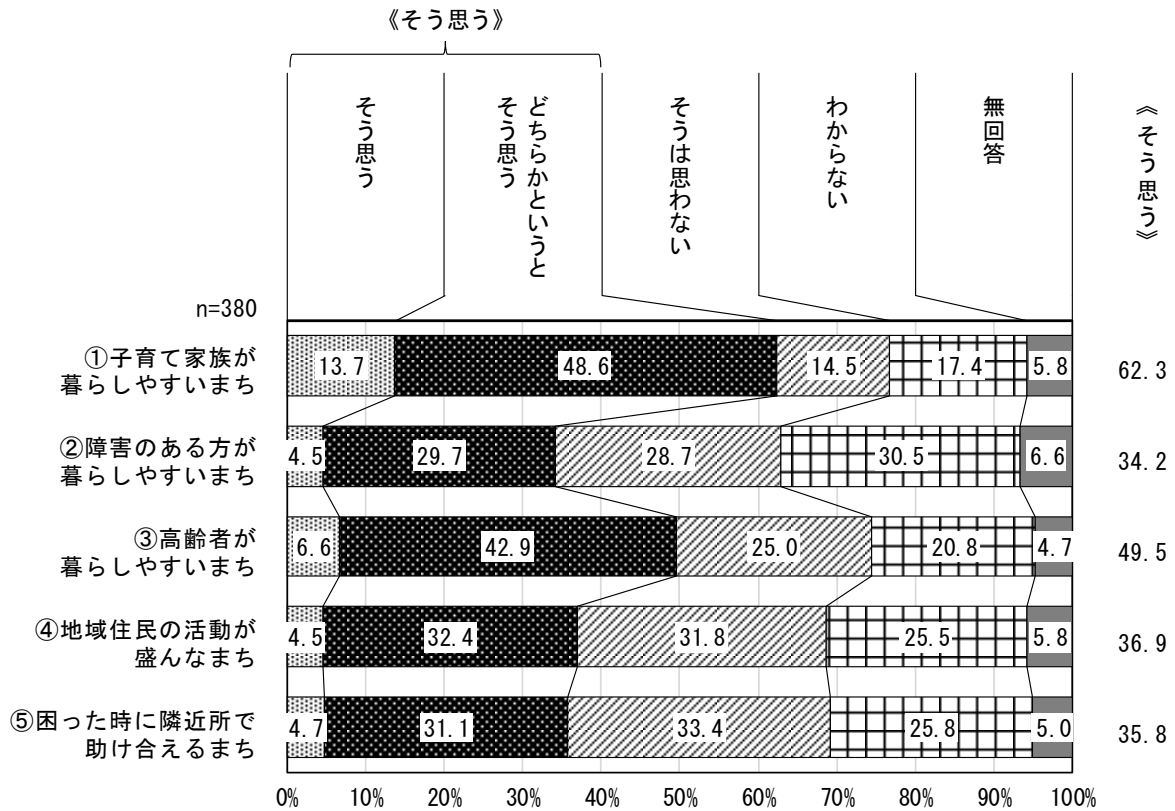
居住地区で見ると、割合に大きな差は見られません。

3. 市の福祉施策や制度・サービスについて

(21) 羽村市の地域福祉に対する印象

問 16 羽村市について、どのような印象をお持ちですか。(項目ごとに○はひとつ)

図表 羽村市の地域福祉に対する印象



羽村市の地域福祉に対する印象について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合計した《そう思う》は、【①子育て家族が暮らしやすいまち】が最も高く 62.3%となっています。一方、「そうは思わない」は、【⑤困った時に隣近所で助け合えるまち】が最も高く 33.4%となっています。

図表 羽村市の地域福祉に対する印象（《そう思う》の割合、属性別）

（単位：％）

		n	① 子育て家族が暮らしやすいまち	② 障害のある方が暮らしやすいまち	③ 高齢者が暮らしやすいまち	④ 地域住民の活動が盛んなまち	⑤ 困った時に隣近所で助け合えるまち
全体		380	62.3	34.2	49.5	36.9	35.8
性別	男性	155	65.1	34.1	51.6	36.8	38.7
	女性	208	63.0	35.6	50.5	37.4	33.7
年齢	20～39歳	53	81.1	43.4	62.2	39.7	49.0
	40～54歳	83	66.2	34.9	51.8	38.6	22.9
	55～64歳	59	61.0	28.8	45.8	32.2	25.4
	65～74歳	81	60.5	35.8	48.1	43.2	48.1
	75歳以上	81	59.3	35.8	53.1	32.1	37.1
居住年数	5年未満	23	65.3	30.4	47.9	21.7	30.4
	5～9年	25	60.0	28.0	40.0	32.0	40.0
	10～19年	56	75.0	41.1	64.2	44.6	26.8
	20～29年	59	62.7	40.7	50.9	42.4	35.6
	30～39年	60	65.0	33.3	45.0	33.3	31.6
	40年以上	119	66.4	37.0	55.4	40.4	43.7
居住地区	小作台・栄町	68	58.9	41.2	52.9	30.9	33.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	59.6	27.6	42.5	46.8	40.4
	神明台	52	53.9	30.8	44.2	32.7	26.9
	富士見平・双葉町	50	72.0	40.0	48.0	34.0	30.0
	羽加美・羽西・羽中	73	72.6	37.0	57.6	52.1	48.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	70.2	34.4	58.2	26.9	35.8

性別で見ると、割合に大きな差は見られません。

年齢で見ると、【⑤困った時に隣近所で助け合えるまち】は 20～39 歳（49.0％）と 65～74 歳（48.1％）で全体を大きく上回っています。

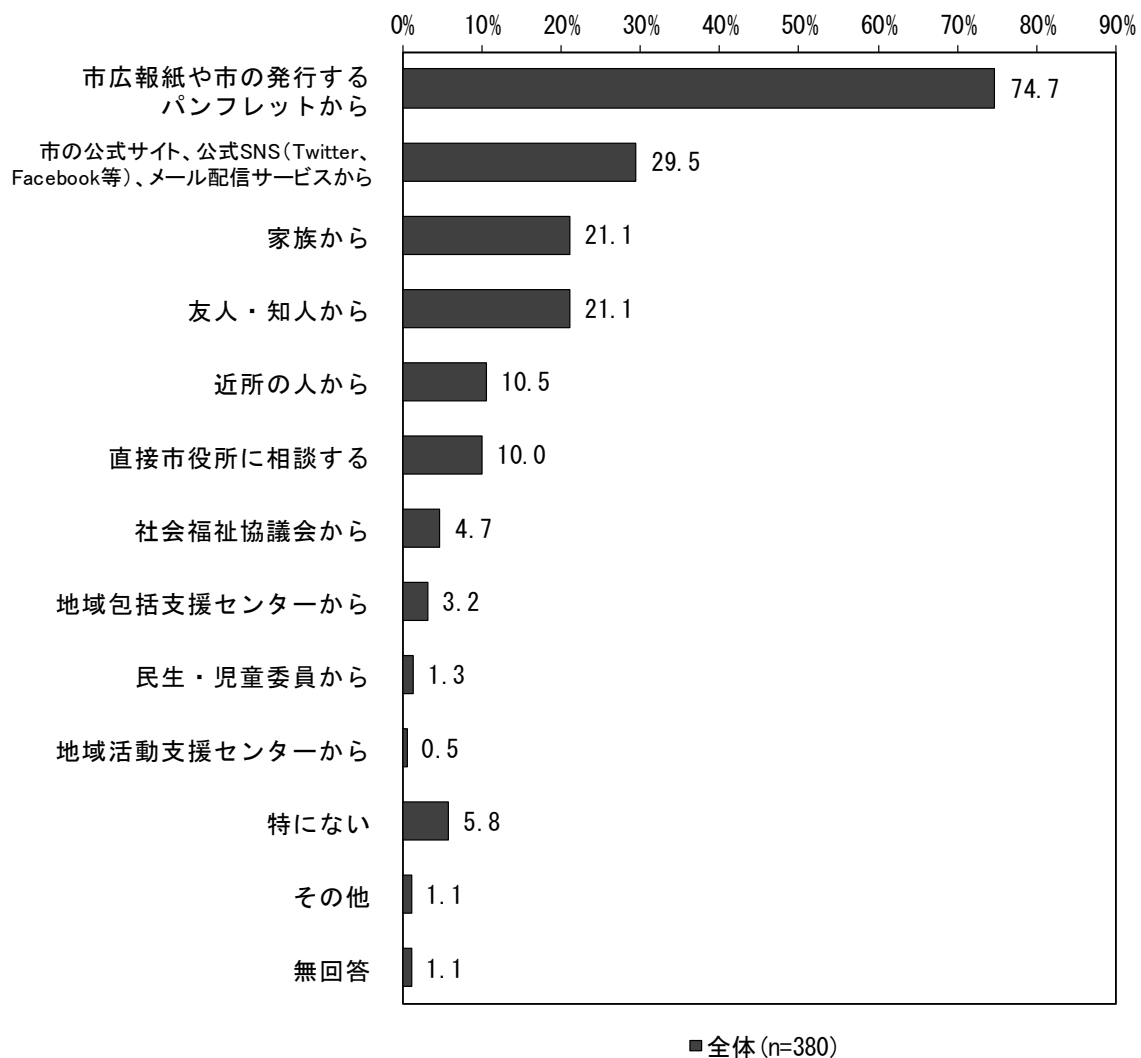
居住年数で見ると、10～19 年で【①子育て家族が暮らしやすいまち】（75.0％）と【③高齢者が暮らしやすいまち】（64.2％）が全体を大きく上回っています。

居住地区で見ると、羽加美・羽西・羽中で【①子育て家族が暮らしやすいまち】（72.6％）と【④地域住民の活動が盛んなまち】（52.1％）と【⑤困った時に隣近所で助け合えるまち】（48.0％）が全体を大きく上回っています。

(22) 行政や福祉サービスに関する情報入手先

問 17 あなたは、行政や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 行政や福祉サービスに関する情報入手先



行政や福祉サービスに関する情報入手先について聞いたところ、「市広報紙や市の発行するパンフレットから」が74.7%と7割を超えて最も高くなっています。これに、「市の公式サイト、公式SNS (Twitter、Facebook等)、メール配信サービスから」が29.5%、「家族から」と「友人・知人から」が21.1%と2割を超えて続いています。

図表 行政や福祉サービスに関する情報入手先（属性別）

（単位：％）

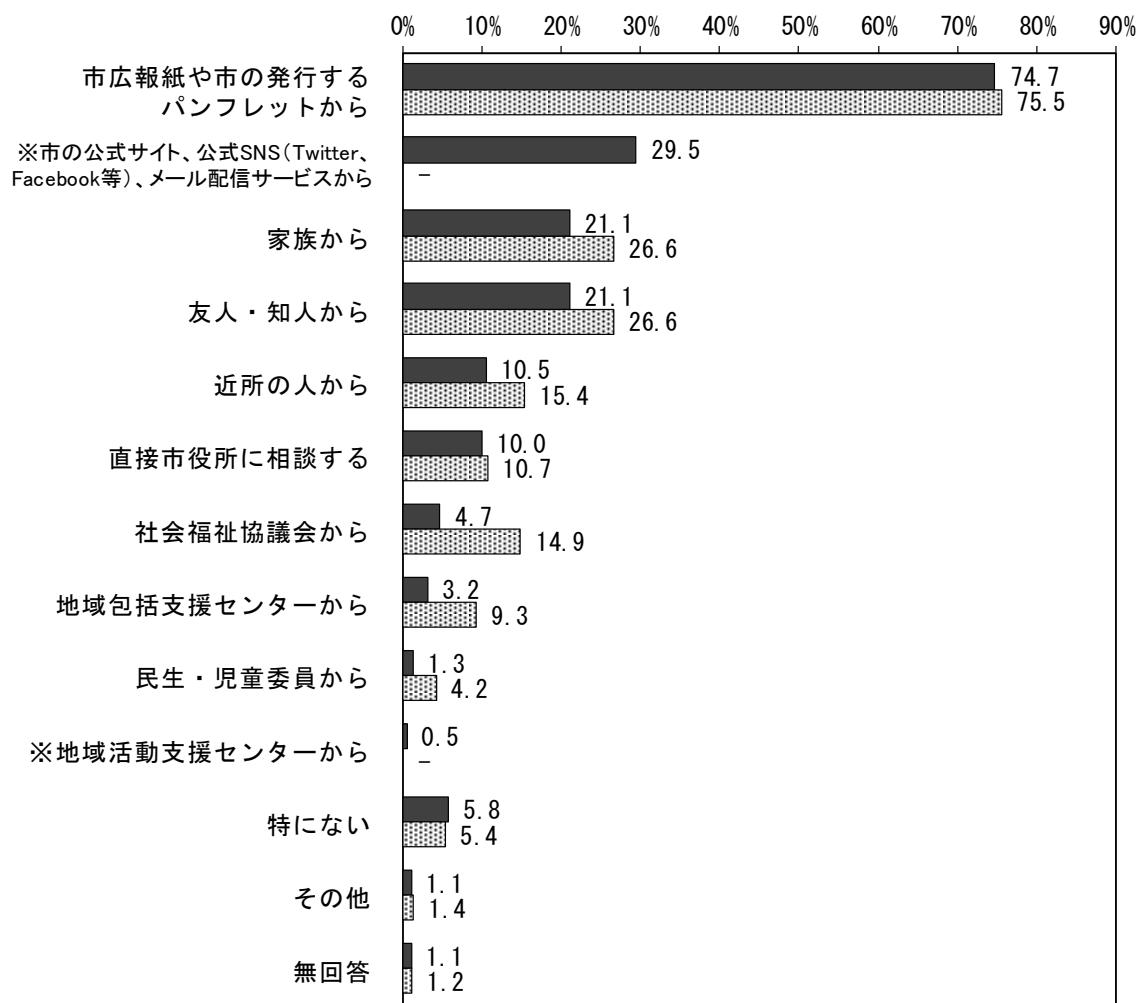
	n	市広報紙や市の発行するパンフレットから	市の公式サイト、公式SNS（Twitter、Facebook等）、メール配信サービスから	家族から	友人・知人から	近所の人から	直接市役所に相談する	社会福祉協議会から	地域包括支援センターから	民生・児童委員から	地域活動支援センターから	特にない	
全体	380	74.7	29.5	21.1	21.1	10.5	10.0	4.7	3.2	1.3	0.5	5.8	
年齢	20～39歳	53	58.5	37.7	37.7	13.2	7.5	7.5	0.0	0.0	1.9	0.0	13.2
	40～54歳	83	78.3	33.7	21.7	16.9	3.6	8.4	1.2	1.2	0.0	0.0	6.0
	55～64歳	59	74.6	35.6	15.3	22.0	6.8	13.6	1.7	6.8	1.7	1.7	5.1
	65～74歳	81	84.0	30.9	16.0	21.0	16.0	13.6	4.9	1.2	0.0	0.0	2.5
	75歳以上	81	79.0	14.8	22.2	33.3	17.3	7.4	11.1	3.7	3.7	1.2	3.7
居住地区	小作台・栄町	68	70.6	29.4	25.0	22.1	8.8	10.3	2.9	7.4	1.5	0.0	2.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	70.2	21.3	31.9	21.3	10.6	14.9	4.3	2.1	2.1	0.0	6.4
	神明台	52	75.0	32.7	19.2	32.7	11.5	13.5	5.8	0.0	3.8	0.0	5.8
	富士見平・双葉町	50	74.0	32.0	22.0	14.0	12.0	8.0	0.0	0.0	2.0	0.0	8.0
	羽加美・羽西・羽中	73	84.9	31.5	17.8	21.9	8.2	6.8	8.2	0.0	0.0	1.4	1.4
	五ノ神・緑ヶ丘	67	77.6	31.3	17.9	17.9	13.4	9.0	4.5	4.5	0.0	1.5	10.4

	n	その他	無回答	
全体	380	1.1	1.1	
年齢	20～39歳	53	0.0	0.0
	40～54歳	83	1.2	0.0
	55～64歳	59	0.0	0.0
	65～74歳	81	1.2	0.0
	75歳以上	81	1.2	3.7
居住地区	小作台・栄町	68	0.0	0.0
	川崎・玉川・羽・羽東	47	2.1	0.0
	神明台	52	0.0	0.0
	富士見平・双葉町	50	2.0	4.0
	羽加美・羽西・羽中	73	1.4	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	0.0	1.5

年齢で見ると、「家族から」は20～39歳（37.7%）が全体（21.1%）を16.6ポイント上回り、「友人・知人から」は75歳以上（33.3%）が全体（21.1%）を12.2ポイント上回っています。

居住地区で見ると、「友人・知人から」は神明台（32.7%）が全体（21.1%）を11.6ポイント上回っています。

図表 行政や福祉サービスに関する情報入手先（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

■ 令和4年度 (n=380)

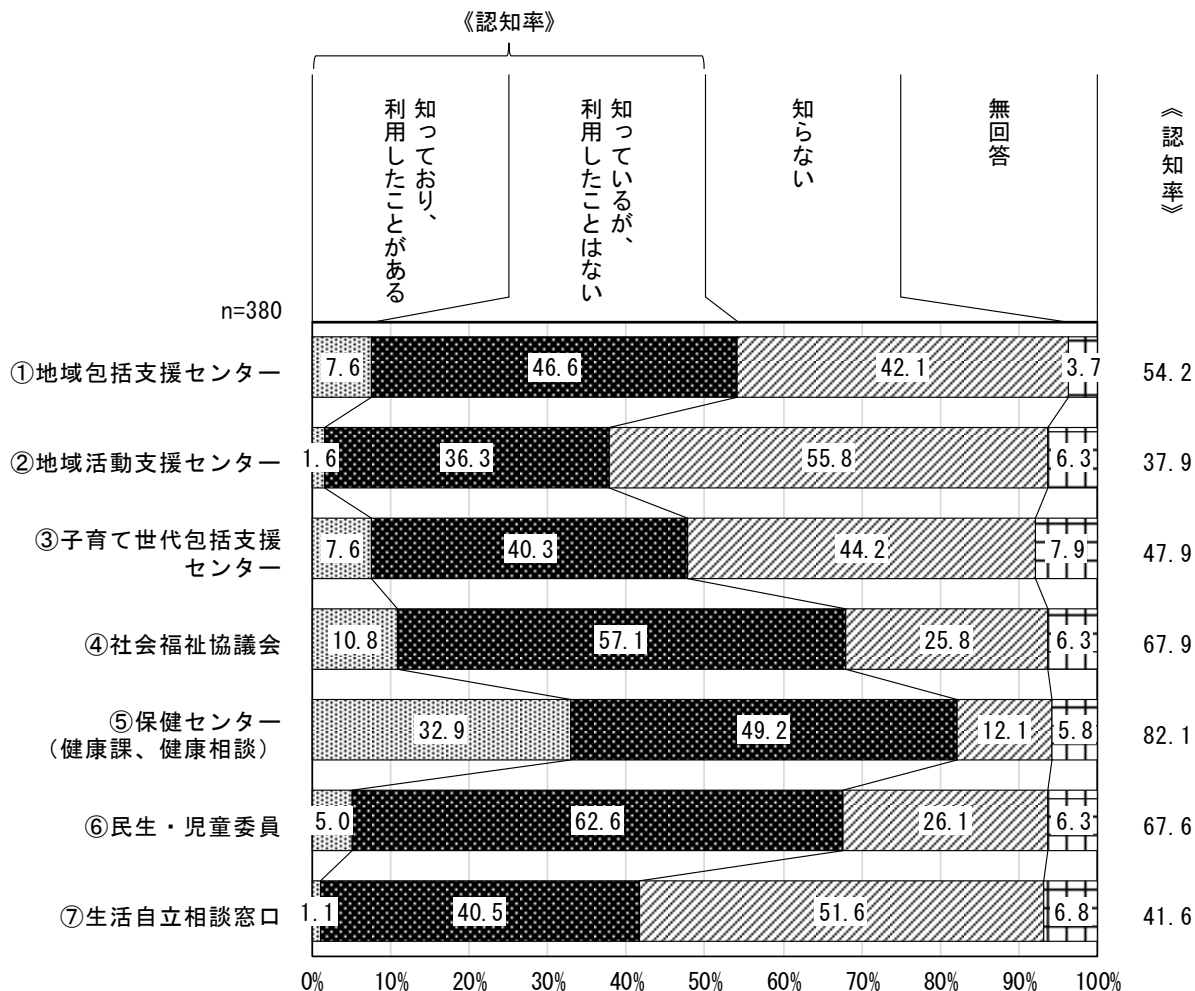
▨ 平成28年度 (n=429)

行政や福祉サービスに関する情報入手先について時系列で見ると、「特にない」以外の項目で平成28年度から割合が低くなっています。

(23) 相談窓口や相談機関の認知・利用状況

問 18 あなたは、羽村市の福祉や保健に関わる次のような相談窓口や相談機関をご存じですか。(項目ごとに○はひとつ)

図表 相談窓口や相談機関の認知・利用状況



相談窓口や相談機関の認知・利用状況について聞いたところ、「知っており、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合計した《認知率》は、【⑤保健センター(健康課、健康相談)】が最も高く 82.1%となっています。一方、「知らない」は、【②地域活動支援センター】が最も高く 55.8%、【⑦生活自立相談窓口】が 51.6%と 5割を超えて続いています。

「知らない」が《認知率》を上回っている項目は、【②地域活動支援センター】と【⑦生活自立相談窓口】の2項目となっています。

図表 相談窓口や相談機関の認知・利用状況（≪認知率≫の割合、属性別）

（単位：％）

		n	① 地域包括支援センター	② 地域活動支援センター	③ 子育て世代包括支援センター （母子保健・相談係、子ども家庭支援センター、ひとり親・女性生活相談）	④ 社会福祉協議会	⑤ 保健センター（健康課、健康相談）	⑥ 民生・児童委員	⑦ 生活自立相談窓口
全体		380	54.2	37.9	47.9	67.9	82.1	67.6	41.6
年齢	20～39歳	53	39.6	32.1	58.4	47.2	75.5	52.8	45.3
	40～54歳	83	51.8	32.5	56.6	67.5	86.7	61.4	33.7
	55～64歳	59	52.6	28.8	45.8	71.2	88.1	81.4	39.0
	65～74歳	81	51.9	40.7	48.1	79.0	85.2	76.5	54.3
	75歳以上	81	72.9	50.6	37.0	74.1	80.3	70.4	42.0
居住年数	5年未満	23	56.5	30.4	60.9	47.8	65.2	52.2	30.4
	5～9年	25	52.0	48.0	64.0	64.0	88.0	64.0	52.0
	10～19年	56	46.4	28.6	64.3	66.1	83.9	73.2	46.4
	20～29年	59	54.2	35.6	49.2	55.9	83.1	52.5	33.9
	30～39年	60	51.7	33.4	41.7	78.3	91.6	70.0	41.7
	40年以上	119	63.0	47.9	43.7	79.0	83.2	78.2	46.2
居住地区	小作台・栄町	68	55.9	41.1	45.5	69.1	79.4	66.1	45.6
	川崎・玉川・羽・羽東	47	53.2	40.4	57.5	78.8	93.6	78.8	46.8
	神明台	52	48.1	32.7	44.2	63.5	78.9	65.4	44.2
	富士見平・双葉町	50	56.0	34.0	50.0	66.0	74.0	64.0	42.0
	羽加美・羽西・羽中	73	57.5	43.9	46.5	68.5	87.6	68.5	37.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	56.7	32.8	50.8	68.6	85.1	68.6	37.3

年齢で見ると、【④社会福祉協議会】は20～39歳（47.2%）が全体（67.9%）を20.7ポイント下回っています。

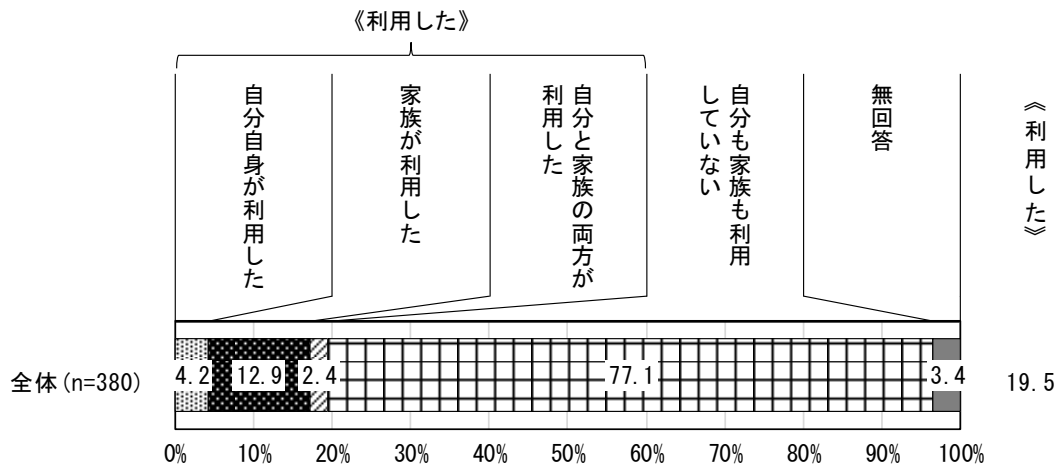
居住年数で見ると、【④社会福祉協議会】は5年未満（47.8%）が全体（67.9%）を20.1ポイント下回っています。

居住地区で見ると、川崎・玉川・羽・羽東で【④社会福祉協議会】（78.8%）と【⑤保健センター（健康課、健康相談）】（93.6%）と【⑥民生・児童委員】（78.8%）が全体を大きく上回っています。

(24) サービスの利用者

問 19 あなたを含め、家族の中で最近 1 年間に、高齢者や障害者、子育て支援などに関する福祉サービスを利用した人がいますか。(○はひとつ)

図表 サービスの利用者



サービスの利用者について聞いたところ、「自分自身が利用した」と「家族が利用した」と「自分と家族の両方が利用した」を合計した《利用した》が 19.5%となっています。一方で、「自分も家族も利用していない」は 77.1%となっています。

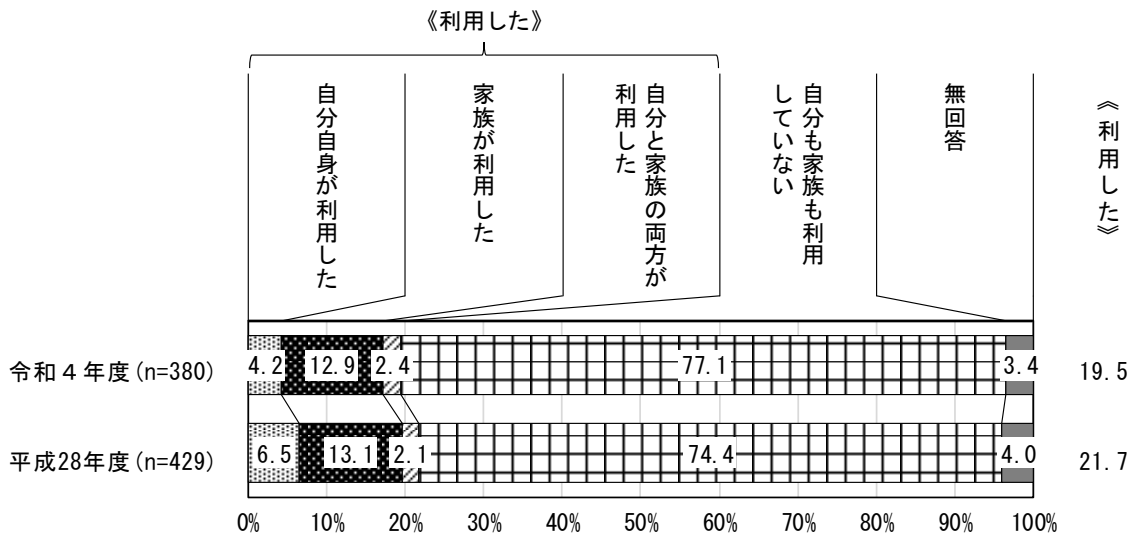
図表 サービスの利用者（属性別）

(単位：%)

	n	自分自身が利用した	家族が利用した	自分と家族の両方が利用した	自分も家族も利用していない	無回答	《利用した》	
全体	380	4.2	12.9	2.4	77.1	3.4	19.5	
年齢	20～39歳	53	9.4	11.3	3.8	75.5	0.0	24.5
	40～54歳	83	2.4	9.6	3.6	84.4	0.0	15.6
	55～64歳	59	0.0	27.1	1.7	71.2	0.0	28.8
	65～74歳	81	0.0	11.1	0.0	86.4	2.5	11.1
	75歳以上	81	9.9	9.9	1.2	70.4	8.6	21.0

年齢で見ると、「家族が利用した」は 55～64 歳 (27.1%) が全体 (12.9%) を 14.2 ポイント上回っています。

図表 サービスの利用者（時系列）

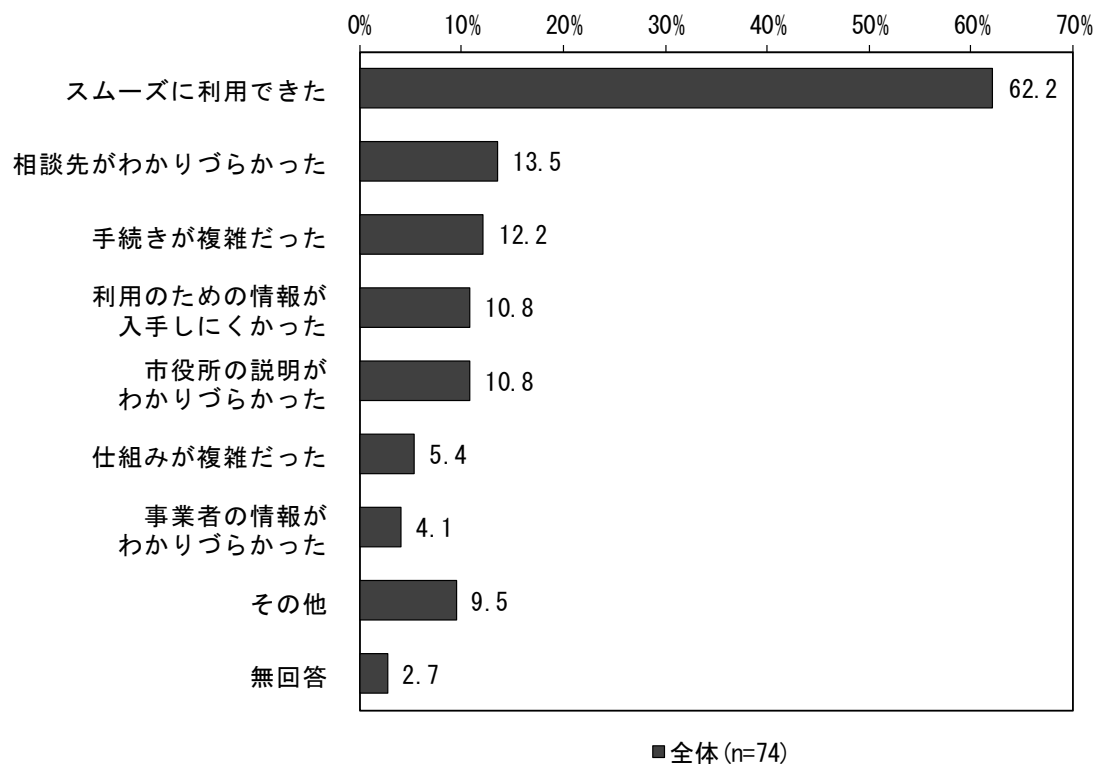


サービスの利用者について時系列で見ると、《利用した》（19.5%）が平成28年度（21.7%）から2.2ポイント低くなっています。

(25) サービスをスムーズに利用開始できたか

問 19-1 問 19 で「1. 自分自身が利用した」「2. 家族が利用した」「3. 自分と家族の両方が利用した」に○をつけた方に伺います。
福祉サービスの利用にあたって、スムーズに利用開始することができましたか。(あてはまるものすべてに○)

図表 サービスをスムーズに利用開始できたか



サービスをスムーズに利用開始できたかについて聞いたところ、「スムーズに利用できた」が 62.2%と 6 割を超えて最も高くなっています。これに、「相談先がわかりづらかった」が 13.5%、「手続きが複雑だった」が 12.2%、「利用のための情報が入手しにくかった」と「市役所の説明がわかりづらかった」が 10.8%と 1 割を超えて続いています。

図表 サービスをスムーズに利用開始できたか（属性別）

（単位：％）

		n	スムーズに利用できた	相談先がわかりづらかった	手続きが複雑だった	利用のための情報が入手しにくかった	市役所の説明がわかりづらかった	仕組みが複雑だった	事業者の情報がわかりづらかった	その他	無回答
全体		74	62.2	13.5	12.2	10.8	10.8	5.4	4.1	9.5	2.7
年齢	20～39歳	13	84.6	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
	40～54歳	13	46.2	38.5	15.4	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0
	55～64歳	17	52.9	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	23.5	5.9
	65～74歳	9	66.7	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1
	75歳以上	17	70.6	17.6	11.8	17.6	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0

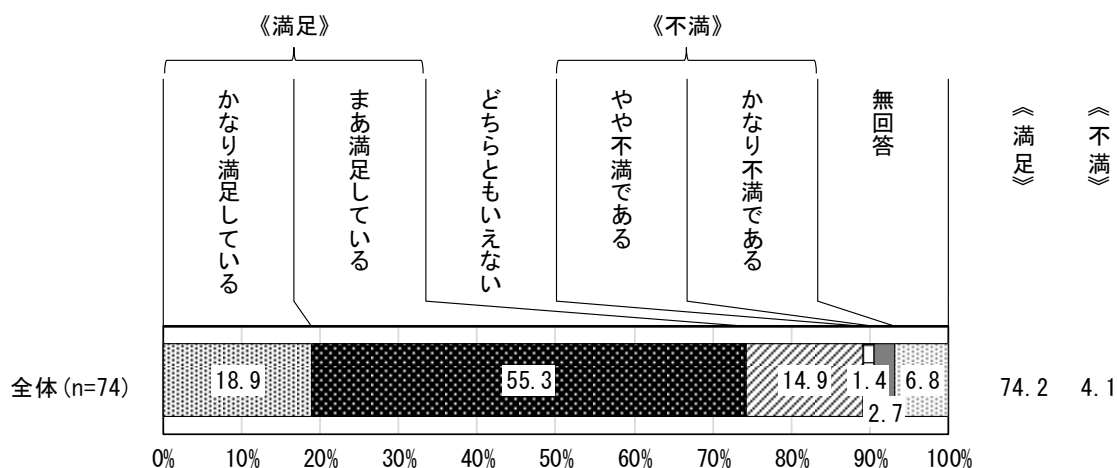
年齢で見ると、「スムーズに利用できた」は20～39歳（84.6％）が全体（62.2％）を22.4ポイント上回っています。

※n（回答者数）が少ないことに留意する必要があります。

(26) 利用したサービスの満足度

問 19-2 問 19 で「1. 自分自身が利用した」「2. 家族が利用した」「3. 自分と家族の両方が利用した」に○をつけた方に伺います。
 利用した福祉サービスに満足していますか。(○はひとつ)

図表 利用したサービスの満足度



利用したサービスの満足度について聞いたところ、「かなり満足している」と「まあ満足している」を合わせた《満足》が 74.2%となっています。一方、「やや不満である」と「かなり不満である」を合わせた《不満》が 4.1%となっています。

図表 利用したサービスの満足度（属性別）

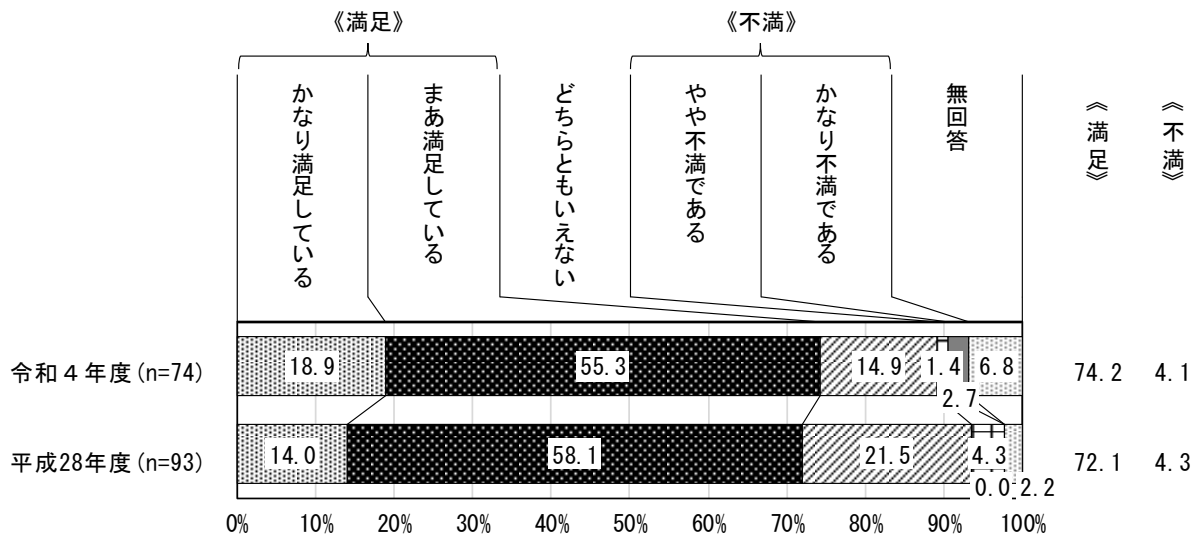
(単位：%)

	n	満足度					無回答	《満足》	《不満》	
		かなり満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	かなり不満である				
全体	74	18.9	55.3	14.9	1.4	2.7	6.8	74.2	4.1	
年齢	20～39歳	13	23.1	53.8	23.1	0.0	0.0	0.0	76.9	0.0
	40～54歳	13	7.7	69.2	15.4	0.0	7.7	0.0	76.9	7.7
	55～64歳	17	23.5	52.9	11.8	5.9	5.9	0.0	76.4	11.8
	65～74歳	9	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	75歳以上	17	11.8	47.1	17.6	0.0	0.0	23.5	58.9	0.0

年齢で見ると、《満足》は 75 歳以上 (58.9%) が全体 (74.2%) を 15.3 ポイント下回っています。

※ n (回答者数) が少ないことに留意する必要があります。

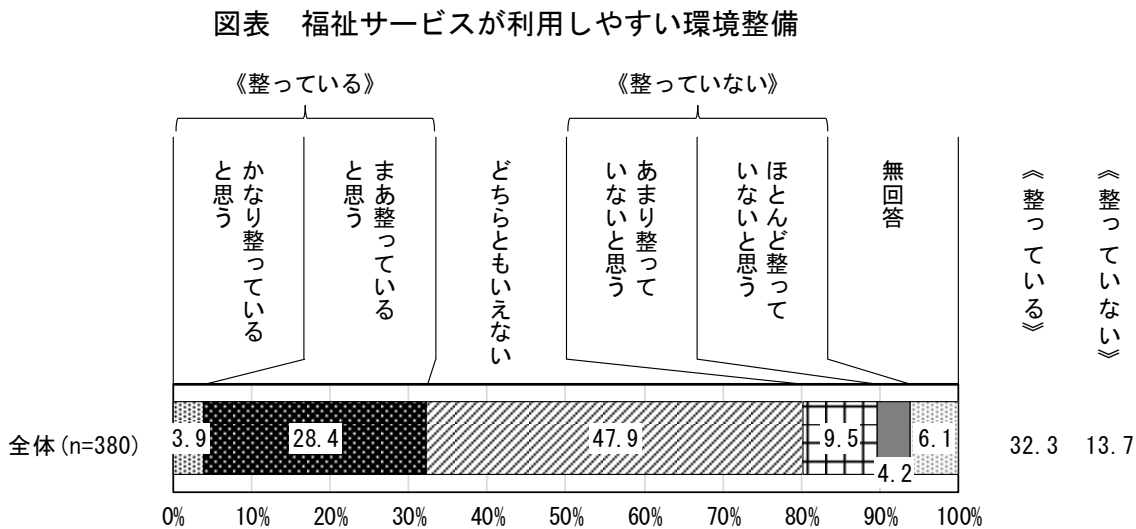
図表 利用したサービスの満足度（時系列）



利用したサービスの満足度について時系列で見ると、《満足》（74.2%）が平成28年度（72.1%）から2.1ポイント高くなっています。

(27) 福祉サービスが利用しやすい環境整備

問 20 あなたは、羽村市には福祉サービスが利用しやすい環境が整っていると思いますか。
 (〇はひとつ)



福祉サービスが利用しやすい環境整備について聞いたところ、「かなり整っていると思う」と「まあ整っていると思う」を合わせた《整っている》が 32.3%となっています。一方、「あまり整っていないと思う」と「ほとんど整っていないと思う」を合わせた《整っていない》が 13.7%となっています。

図表 福祉サービスが利用しやすい環境整備（属性別）

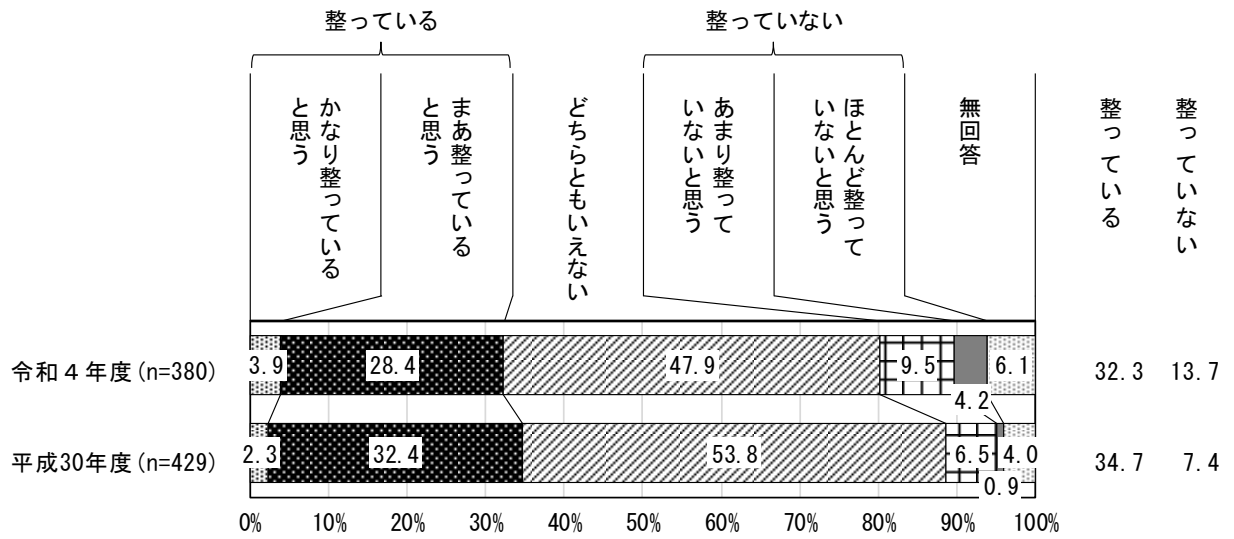
（単位：％）

	n	かなり整っていると思う	まあ整っていると思う	どちらともいえない	あまり整っていないと思う	ほとんど整っていないと思う	無回答	《整っている》	《整っていない》	
全体	380	3.9	28.4	47.9	9.5	4.2	6.1	32.3	13.7	
年齢	20～39歳	53	5.7	32.1	50.9	7.5	3.8	0.0	37.8	11.3
	40～54歳	83	0.0	20.5	59.1	12.0	8.4	0.0	20.5	20.4
	55～64歳	59	5.1	35.6	47.4	6.8	3.4	1.7	40.7	10.2
	65～74歳	81	4.9	30.9	46.9	9.9	2.5	4.9	35.8	12.4
	75歳以上	81	3.7	29.6	39.6	8.6	2.5	16.0	33.3	11.1
居住年数	5年未満	23	4.3	30.4	65.3	0.0	0.0	0.0	34.7	0.0
	5～9年	25	4.0	16.0	64.0	12.0	0.0	4.0	20.0	12.0
	10～19年	56	1.8	33.9	50.0	8.9	5.4	0.0	35.7	14.3
	20～29年	59	0.0	25.4	61.0	6.8	5.1	1.7	25.4	11.9
	30～39年	60	5.0	31.7	43.4	13.3	3.3	3.3	36.7	16.6
	40年以上	119	5.0	31.9	39.7	9.2	5.0	9.2	36.9	14.2

年齢で見ると、《整っている》は40～54歳（20.5％）が全体（32.3％）を11.8ポイント下回っています。

居住年数で見ると、《整っている》は5～9年（20.0％）が全体（32.3％）を12.3ポイント下回っています。

図表 福祉サービスが利用しやすい環境整備（時系列）

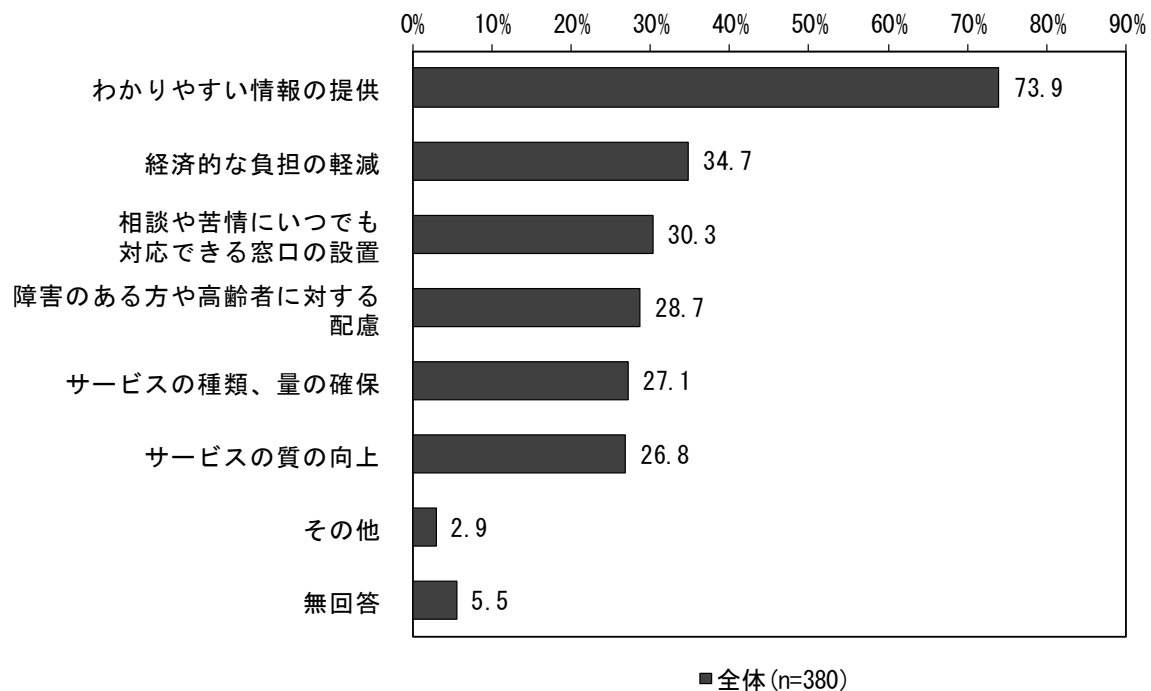


福祉サービスが利用しやすい環境整備について時系列で見ると、《整っていない》（13.7%）が平成28年度（7.4%）から6.3ポイント高くなっています。

(28) 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと

問 21 福祉サービスを利用しやすい環境を整備するため、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと



利用しやすい環境を整備するために充実すべきことについて聞いたところ、「わかりやすい情報の提供」が73.9%と7割を超えて最も高くなっています。これに、「経済的な負担の軽減」が34.7%、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」が30.3%と3割を超えて続いています。

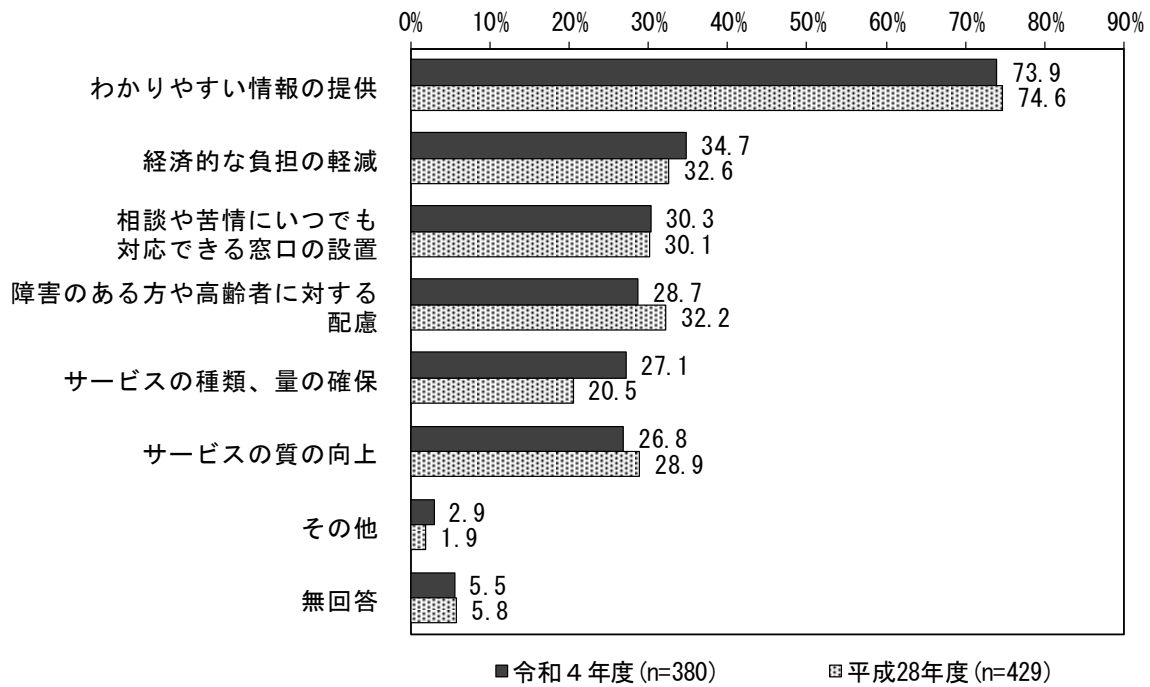
図表 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと（属性別）

（単位：％）

		n	わかりやすい情報の提供	経済的な負担の軽減	相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置	障害のある方や高齢者に対する配慮	サービスの種類、量の確保	サービスの質の向上	その他	無回答
全体		380	73.9	34.7	30.3	28.7	27.1	26.8	2.9	5.5
年齢	20～39歳	53	86.8	47.2	18.9	32.1	41.5	30.2	3.8	0.0
	40～54歳	83	77.1	38.6	25.3	21.7	32.5	26.5	4.8	1.2
	55～64歳	59	76.3	40.7	30.5	40.7	20.3	32.2	3.4	1.7
	65～74歳	81	75.3	33.3	37.0	30.9	24.7	25.9	1.2	3.7
	75歳以上	81	66.7	22.2	35.8	24.7	24.7	23.5	2.5	14.8

年齢で見ると、20～39歳で「わかりやすい情報の提供」(86.8%)と「経済的な負担の軽減」(47.2%)と「サービスの種類、量の確保」(41.5%)が全体を大きく上回っています。

図表 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと（時系列）

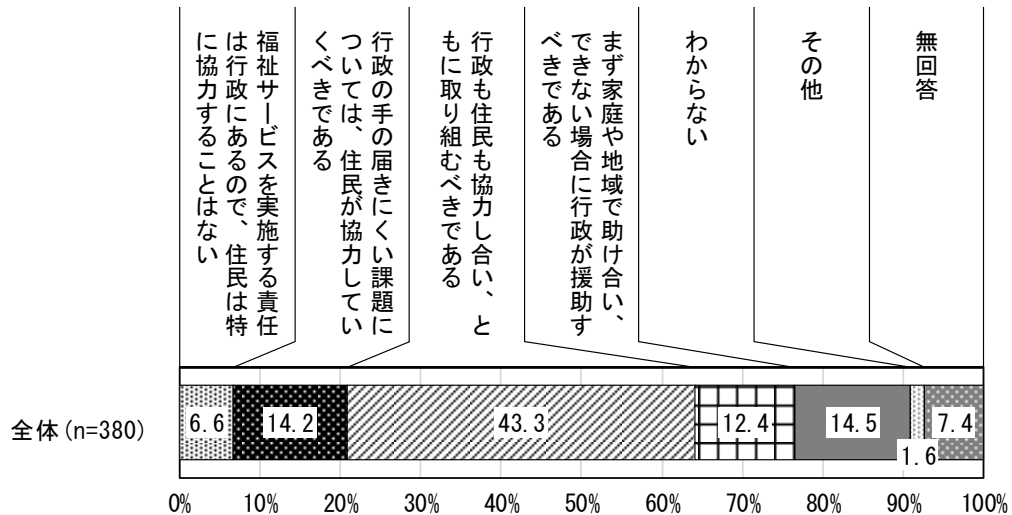


利用しやすい環境を整備するために充実すべきことについて時系列で見ると、「サービスの種類、量の確保」（27.1%）が平成28年度（20.5%）から6.6ポイント高くなっています。

(29) 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係

問 22 福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇はひとつ)

図表 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係



福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係について聞いたところ、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」が43.3%と最も高く、「行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである」が14.2%、「まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである」が12.4%、「福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない」が6.6%となっています。

図表 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係（属性別）

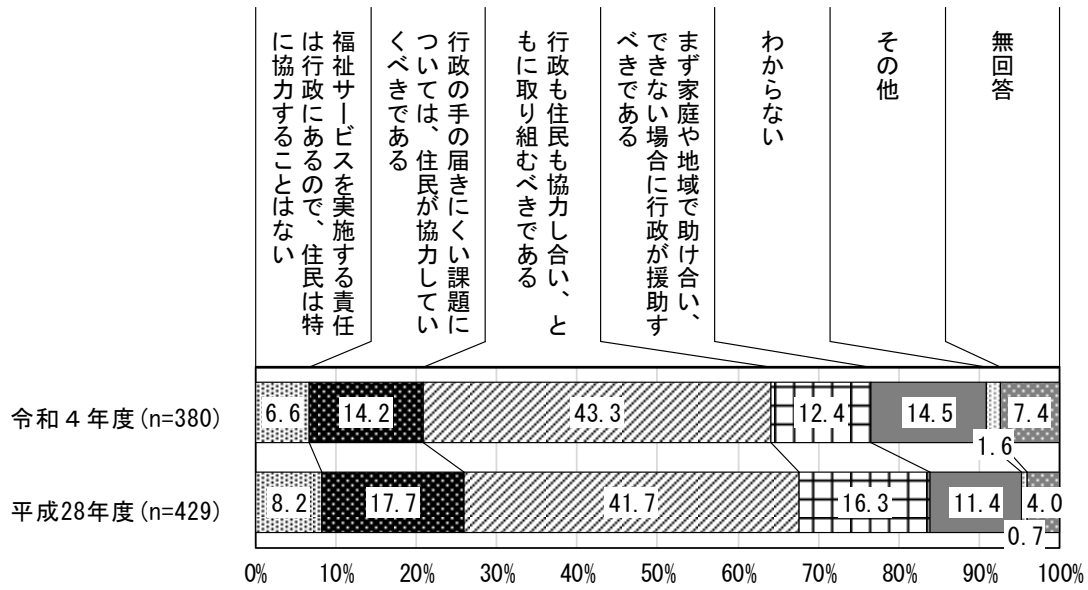
（単位：％）

		n	福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない	行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである	行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである	まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである	わからない	その他	無回答
全体		380	6.6	14.2	43.3	12.4	14.5	1.6	7.4
年齢	20～39歳	53	5.7	20.8	49.0	9.4	7.5	3.8	3.8
	40～54歳	83	15.7	18.1	38.5	6.0	15.7	2.4	3.6
	55～64歳	59	8.5	18.6	42.4	10.2	16.9	0.0	3.4
	65～74歳	81	1.2	7.4	59.4	14.8	16.0	0.0	1.2
	75歳以上	81	2.5	12.3	35.8	17.3	13.6	0.0	18.5
居住地区	小作台・栄町	68	10.3	14.7	41.2	14.7	8.8	1.5	8.8
	川崎・玉川・羽・羽東	47	8.5	8.5	55.3	12.8	8.5	2.1	4.3
	神明台	52	7.7	15.4	34.6	13.5	25.0	0.0	3.8
	富士見平・双葉町	50	6.0	20.0	40.0	8.0	18.0	0.0	8.0
	羽加美・羽西・羽中	73	4.1	12.3	50.7	12.3	13.7	1.4	5.5
	五ノ神・緑ヶ丘	67	4.5	17.9	44.7	9.0	13.4	1.5	9.0

年齢で見ると、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」は 65～74 歳（59.4%）が全体（43.3%）を 16.1 ポイント上回っています。

居住地区で見ると、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」は川崎・玉川・羽・羽東（55.3%）が全体（43.3%）を 12.0 ポイント上回っています。

図表 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係（時系列）

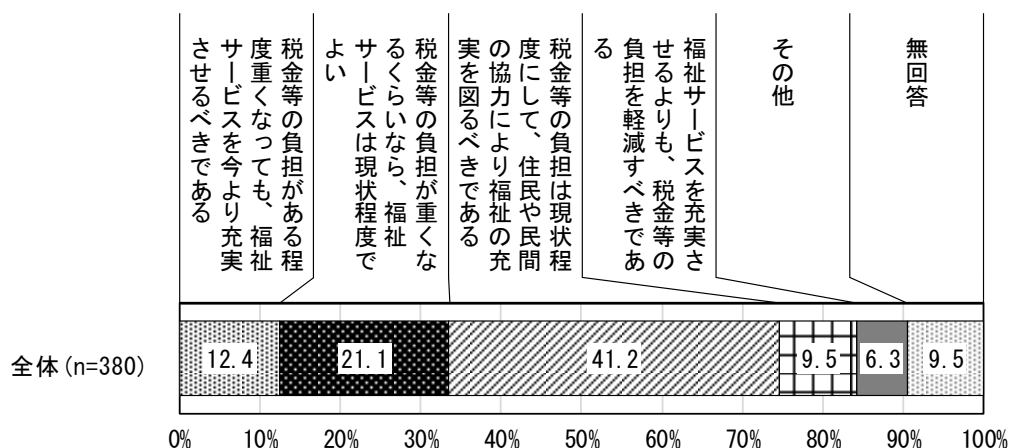


福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係について時系列で見ると、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」（43.3%）が平成28年度（41.7%）から1.6ポイント高くなっています。一方で、「福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない」と「行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである」と「まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである」は平成28年度から低くなっています。

(30) 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係

問 23 福祉サービスの充実と税金等の負担について、どのように考えますか。(〇はひとつ)

図表 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係



福祉サービスの充実と税金等の負担の関係について聞いたところ、「税金等の負担は現状程度にして、住民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が41.2%と最も高く、「税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい」が21.1%、「税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今より充実させるべきである」が12.4%、「福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである」が9.5%となっています。

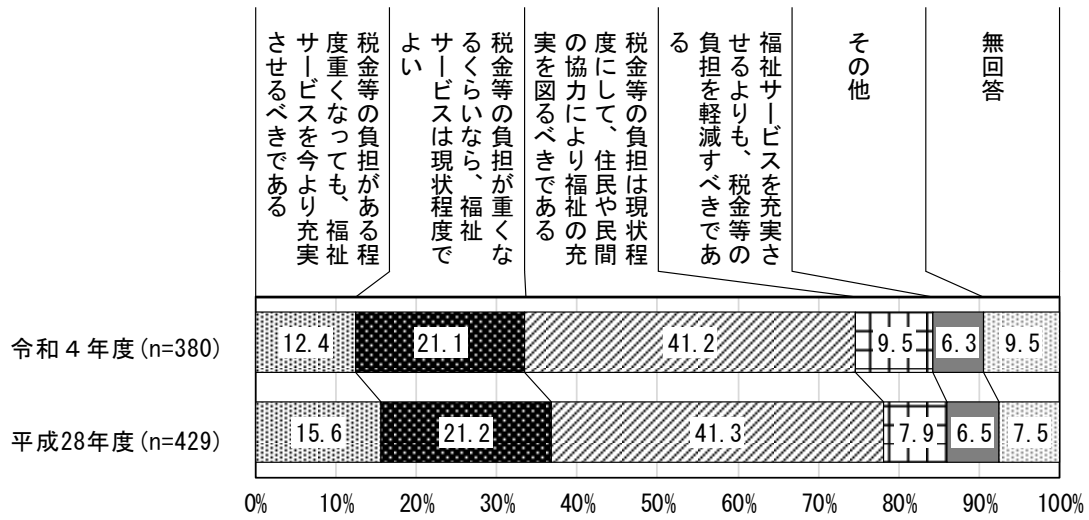
図表 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係（属性別）

（単位：％）

	n	税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスの充実を今より充実させるべきである	税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい	税金等の負担は現状程度にして、住民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである	税金等の負担を軽減すべきである	福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである	その他	無回答
全体	380	12.4	21.1	41.2	9.5	6.3	9.5	
年齢	20～39歳	53	5.7	33.9	28.3	17.0	11.3	3.8
	40～54歳	83	19.3	25.3	35.0	10.8	7.2	2.4
	55～64歳	59	15.3	18.6	49.1	8.5	6.8	1.7
	65～74歳	81	12.3	14.8	54.3	6.2	6.2	6.2
	75歳以上	81	11.1	17.3	39.5	4.9	3.7	23.5

年齢で見ると、「税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい」は20～39歳（33.9％）が全体（21.1％）を12.8ポイント上回り、「税金等の負担は現状程度にして、住民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」は65～74歳（54.3％）が全体（41.2％）を13.1ポイント上回っています。

図表 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係（時系列）

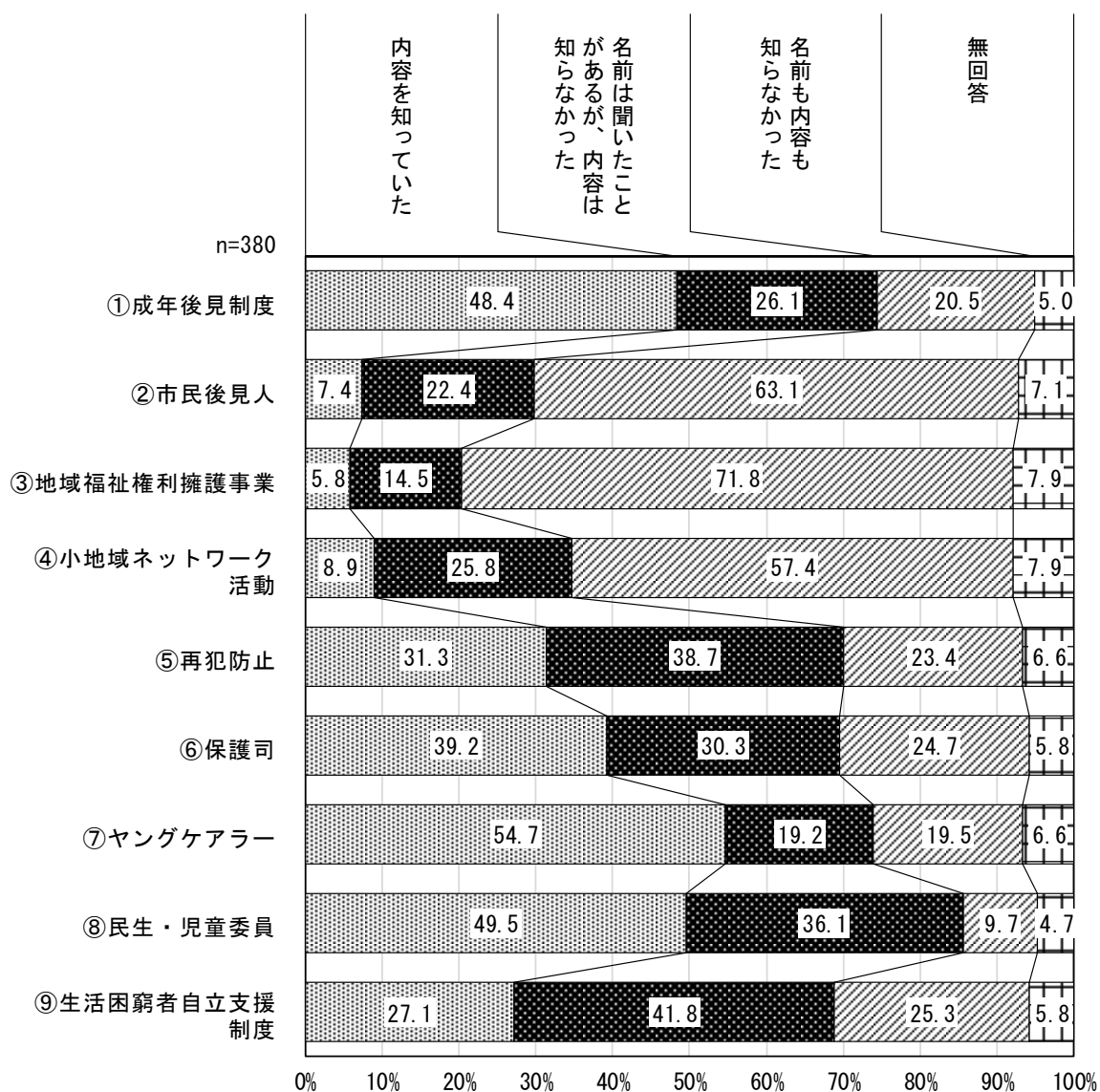


福祉サービスの充実と税金等の負担の関係について時系列で見ると、「福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである」(9.5%)が平成28年度(7.9%)から1.6ポイント高くなっています。一方で、「税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今より充実させるべきである」(12.4%)が平成28年度(15.6%)から3.2ポイント低くなっています。

(31) 用語の認知度

問 24 あなたは、次の用語を知っていますか。(項目ごとに○はひとつ)

図表 用語の認知度



用語の認知度について聞いたところ、「内容を知らなかった」は、【⑦ヤングケアラー】が54.7%と5割を超えて最も高くなっています。一方で、「名前も内容も知らなかった」は【③地域福祉権利擁護事業】が71.8%と7割を超えて最も高くなっています。

「名前も内容も知らなかった」が「内容を知らなかった」を上回っている項目は、【②市民後見人】と【④小地域ネットワーク活動】の3項目となっています。

図表 用語の認知度（「内容を知っていた」の割合、属性別）

（単位：％）

	n	① 成年後見制度	② 市民後見人	③ 地域福祉権利擁護事業	④ 小地域ネットワーク活動	⑤ 再犯防止	⑥ 保護司	⑦ ヤングケアラー	⑧ 民生・児童委員	⑨ 生活困窮者自立支援制度	
全体	74	48.4	7.4	5.8	8.9	31.3	39.2	54.7	49.5	27.1	
年齢	20～39歳	13	47.2	5.7	3.8	3.8	45.3	28.3	62.3	35.9	34.0
	40～54歳	13	59.0	7.2	6.0	7.2	42.2	44.6	67.4	48.2	28.9
	55～64歳	17	54.2	0.0	0.0	6.8	27.1	49.1	64.4	55.9	20.3
	65～74歳	9	47.0	11.1	8.6	12.3	23.5	38.3	46.9	59.3	32.1
	75歳以上	17	42.0	11.1	7.4	12.3	25.9	42.0	45.7	53.1	23.5

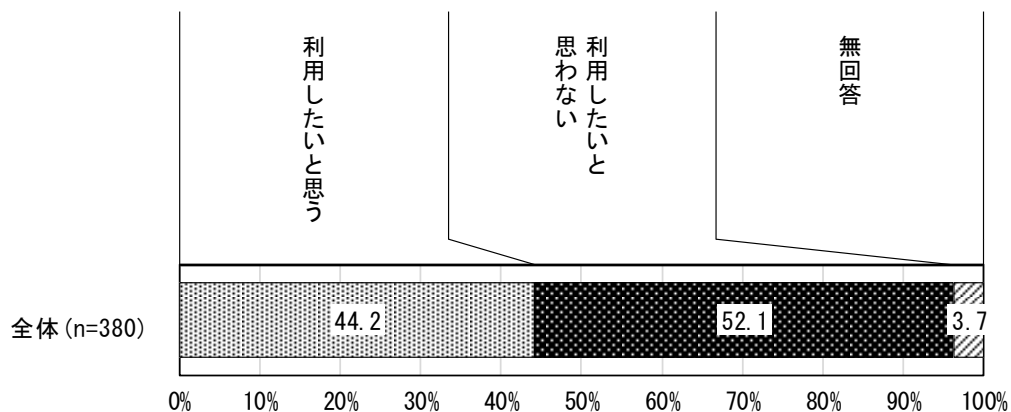
年齢で見ると、40～54歳で【①成年後見制度】（59.0％）と【⑤再犯防止】（42.2％）と【⑦ヤングケアラー】（67.4％）が全体を大きく上回っています。

※ n（回答者数）が少ないことに留意する必要があります。

(32) 成年後見制度を利用したいか

問 25 あなたは、金銭管理や財産管理、福祉サービスの利用や医療機関への入院の手続き等を自身で行うのが難しくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

図表 成年後見制度を利用したいか



成年後見制度を利用したいかについて聞いたところ、「利用したいと思わない」が 52.1%、「利用したいと思う」が 44.2%となっています。

図表 成年後見制度を利用したいか (属性別)

(単位：%)

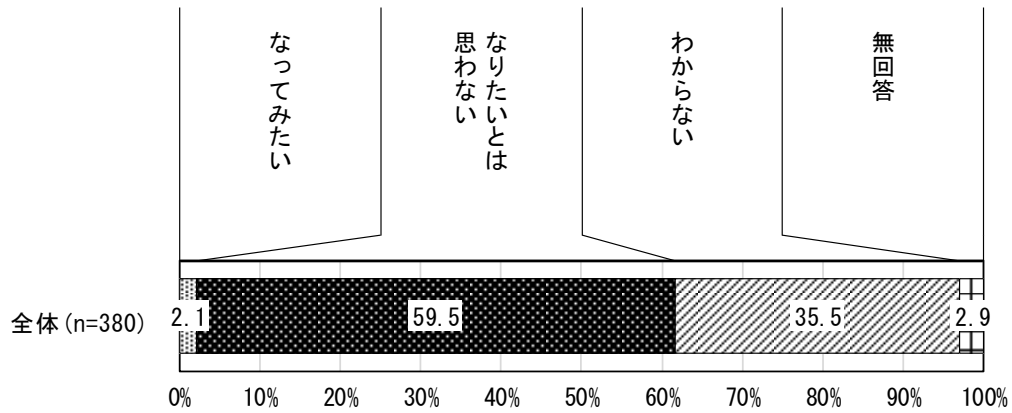
		n	利用したいと思う	利用したいと思わない	無回答
全体		380	44.2	52.1	3.7
年齢	20～39歳	53	58.5	39.6	1.9
	40～54歳	83	44.6	54.2	1.2
	55～64歳	59	54.2	45.8	0.0
	65～74歳	81	44.4	51.9	3.7
	75歳以上	81	32.1	61.7	6.2

年齢で見ると、「利用したいと思う」が「利用したいと思わない」を上回っているのは 20～39 歳と 55～64 歳となっています。

(33) 市民後見人になってみたいか

問 26 あなたは、市民後見人になってみたいと思いますか。(○はひとつ)

図表 市民後見人になってみたいか



市民後見人になってみたいかについて聞いたところ、「なりたいとは思わない」が 59.5%、「なってみたい」が 2.1%となっています。

図表 市民後見人になってみたいか（属性別）

(単位：%)

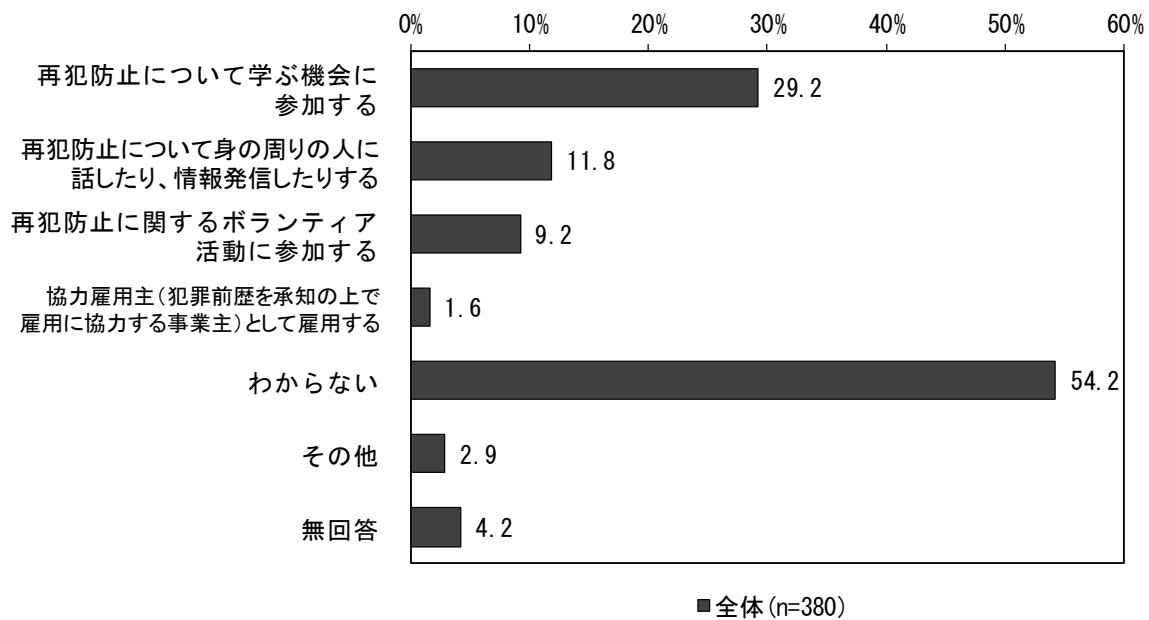
	n	な っ て み た い	な り た い と は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	380	2.1	59.5	35.5	2.9	
年齢	20～39歳	53	3.8	60.4	35.8	0.0
	40～54歳	83	1.2	61.5	37.3	0.0
	55～64歳	59	5.1	62.7	30.5	1.7
	65～74歳	81	1.2	59.3	37.0	2.5
	75歳以上	81	1.2	58.0	34.6	6.2

年齢で見ると、割合に大きな差は見られません。「なってみたい」は 55～64 歳が 5.1%と最も高くなっています。

(34) 再犯防止の推進に向けて協力できること

問 27 再犯防止を進めるために、あなたが協力できると思うことを選びください。(あてはまるものすべてに○)

図表 再犯防止の推進に向けて協力できること



再犯防止の推進に向けて協力できることについて聞いたところ、「再犯防止について学ぶ機会に参加する」が29.2%と2割を超えています。これに、「再犯防止について身の周りの人に話したり、情報発信したりする」が11.8%と1割を超えています。

図表 再犯防止の推進に向けて協力できること（属性別）

（単位：％）

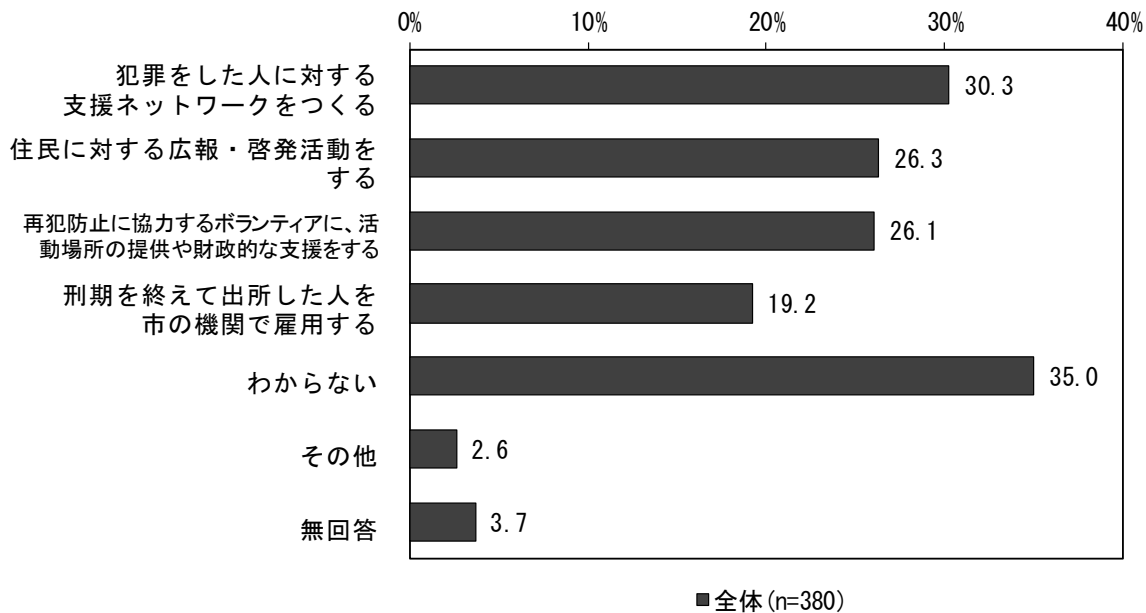
		n	再犯防止について学ぶ機会に参加する	再犯防止について身の周りの人に話したり、情報発信したりする	再犯防止に関するボランティア活動に参加する	協力雇用主（犯罪前歴を承知の上で雇用し協力する事業主）として雇用する	わからない	その他	無回答
全体		380	29.2	11.8	9.2	1.6	54.2	2.9	4.2
年齢	20～39歳	53	39.6	15.1	13.2	1.9	34.0	3.8	0.0
	40～54歳	83	36.1	12.0	7.2	3.6	48.2	6.0	1.2
	55～64歳	59	25.4	6.8	11.9	0.0	64.4	3.4	0.0
	65～74歳	81	23.5	14.8	4.9	0.0	60.5	2.5	4.9
	75歳以上	81	25.9	11.1	13.6	2.5	59.3	0.0	8.6

年齢で見ると、「再犯防止について学ぶ機会に参加する」は20～39歳（39.6％）が全体（29.2％）を10.4ポイント上回っています。

(35) 再犯防止の推進に向けて市がすべきこと

問 28 再犯防止を進めるために、市がすべきだと思うことをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

図表 再犯防止の推進に向けて市がすべきこと



再犯防止の推進に向けて市がすべきことについて聞いたところ、「犯罪をした人に対する支援ネットワークをつくる」が 30.3%と 3割を超えています。これに、「住民に対する広報・啓発活動をする」が 26.3%、「再犯防止に協力するボランティアに、活動場所の提供や財政的な支援をする」が 26.1%と 2割を超えています。

図表 再犯防止の推進に向けて市がすべきこと（属性別）

（単位：％）

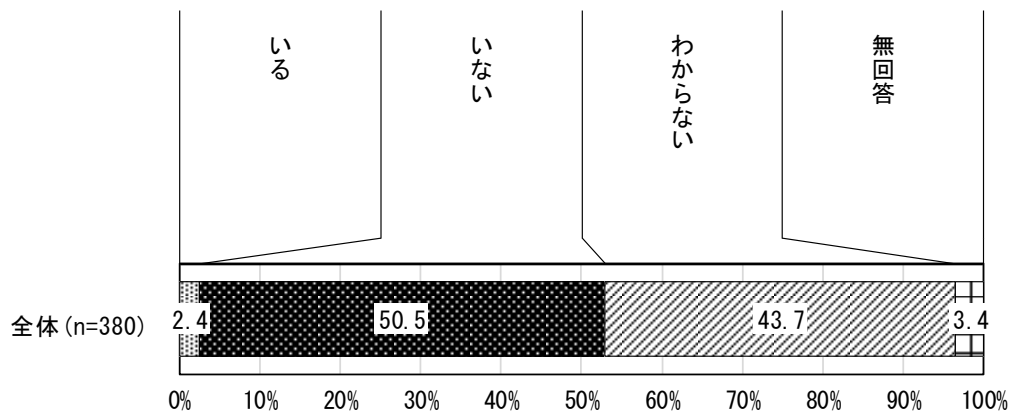
		n	犯罪をした人に対する支援ネットワークをつくる	住民に対する広報・啓発活動をする	再犯防止に協力するボランティアに、活動場所の提供や財政的な支援をする	刑期を終えて出所した人を市の機関で雇用する	わからない	その他	無回答
全体		380	30.3	26.3	26.1	19.2	35.0	2.6	3.7
年齢	20～39歳	53	41.5	39.6	30.2	32.1	17.0	3.8	0.0
	40～54歳	83	38.6	25.3	22.9	19.3	31.3	4.8	1.2
	55～64歳	59	39.0	35.6	27.1	20.3	23.7	5.1	0.0
	65～74歳	81	22.2	18.5	27.2	13.6	48.1	1.2	2.5
	75歳以上	81	21.0	22.2	29.6	19.8	40.7	0.0	8.6

年齢で見ると、20～39歳で「犯罪をした人に対する支援ネットワークをつくる」(41.5%)と「住民に対する広報・啓発活動をする」(39.6%)と「刑期を終えて出所した人を市の機関で雇用する」(32.1%)が全体を大きく上回っています。

(36) 身の回りにヤングケアラーと思われる子はいるか

問 29 あなたの身の回りに、ヤングケアラーと思われる子どもはいますか。(〇はひとつ)

図表 身の回りにヤングケアラーと思われる子はいるか



身の回りにヤングケアラーと思われる子はいるかについて聞いたところ、「いない」が50.5%、「いる」が2.4%となっています。

図表 身の回りにヤングケアラーと思われる子はいるか（属性別）

(単位：%)

	n	いる	いない	わからない	無回答	
全体	380	2.4	50.5	43.7	3.4	
年齢	20～39歳	53	1.9	66.0	32.1	0.0
	40～54歳	83	4.8	49.4	45.8	0.0
	55～64歳	59	0.0	64.4	35.6	0.0
	65～74歳	81	2.5	37.0	55.6	4.9
	75歳以上	81	2.5	43.2	46.9	7.4
居住地区	小作台・栄町	68	2.9	53.0	41.2	2.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	2.1	59.6	36.2	2.1
	神明台	52	3.8	52.0	42.3	1.9
	富士見平・双葉町	50	0.0	38.0	56.0	6.0
	羽加美・羽西・羽中	73	2.7	50.7	46.6	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	1.5	53.7	40.3	4.5

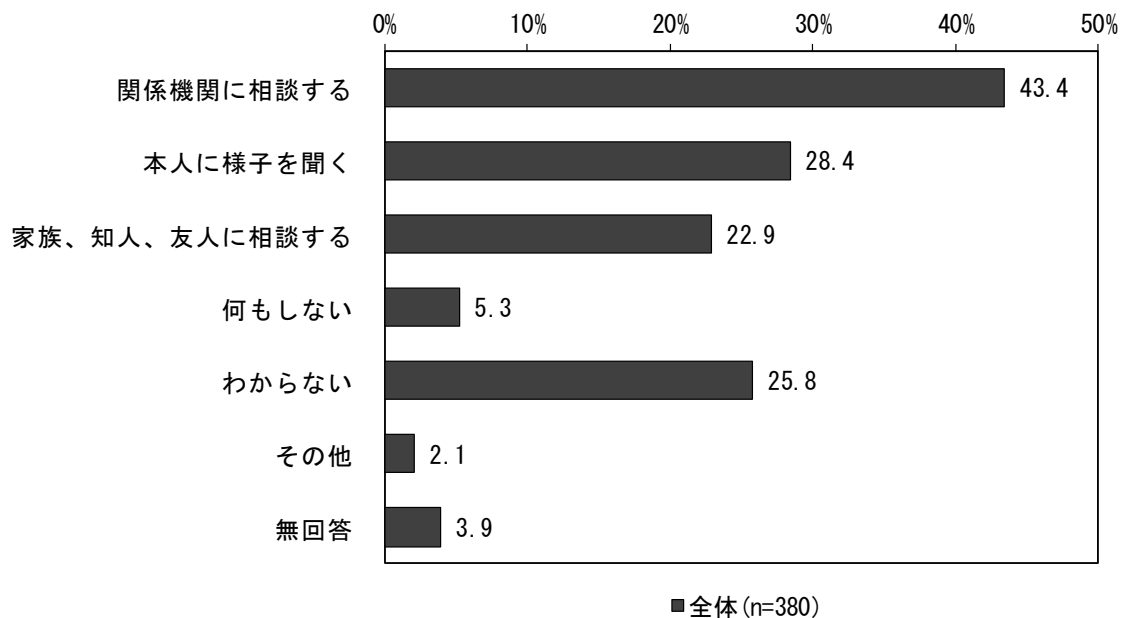
年齢で見ると、「いる」は55～64歳を除く年齢で回答が見られます。

居住地区で見ると、「いる」は富士見平・双葉町を除く地区で回答が見られます。

(37) ヤングケアラーを見かけたときの対応

問 30 もしも、身の回りでヤングケアラーと思われる子どもがいることを知った場合、あなたはどのような対応をとると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 ヤングケアラーを見かけたときの対応



ヤングケアラーを見かけたときの対応について聞いたところ、「関係機関に相談する」が43.4%と4割を超えています。また、「本人に様子を聞く」が28.4%、「家族、知人、友人に相談する」が22.9%と2割を超えています。

一方で、「何もしない」も5.3%とわずかに見られます。

図表 ヤングケアラーを見かけたときの対応（属性別）

（単位：％）

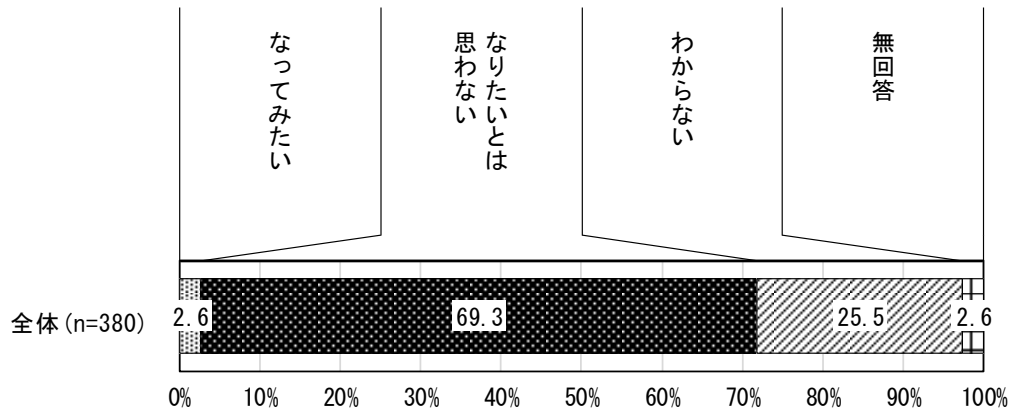
	n	関係機関に相談する	本人に様子を聞く	家族、知人、友人に相談する	何もしない	わからない	その他	無回答	
全体	380	43.4	28.4	22.9	5.3	25.8	2.1	3.9	
年齢	20～39歳	53	34.0	45.3	30.2	5.7	20.8	0.0	0.0
	40～54歳	83	38.6	30.1	27.7	7.2	25.3	3.6	0.0
	55～64歳	59	64.4	30.5	25.4	5.1	18.6	3.4	0.0
	65～74歳	81	42.0	21.0	19.8	2.5	34.6	0.0	3.7
	75歳以上	81	45.7	25.9	16.0	4.9	23.5	3.7	9.9

年齢で見ると、「本人に様子を聞く」は20～39歳（45.3％）が全体（28.4％）を16.9ポイント上回り、「関係機関に相談する」は55～64歳（64.4％）が全体（43.4％）を21.0ポイント上回っています。

(38) 民生・児童委員になってみたいか

問 31 あなたは、民生・児童委員になってみたいと思いますか。(○はひとつ)

図表 民生・児童委員になってみたいか



民生・児童委員になってみたいかについて聞いたところ、「なりたいとは思わない」が 69.3%、「なってみたい」が 2.6%となっています。

図表 民生・児童委員になってみたいか（属性別）

（単位：％）

		n	な っ て み た い	な り た い と は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		380	2.6	69.3	25.5	2.6
年 齢	20～39歳	53	5.7	73.5	20.8	0.0
	40～54歳	83	1.2	73.5	25.3	0.0
	55～64歳	59	5.1	64.4	30.5	0.0
	65～74歳	81	3.7	65.4	28.4	2.5
	75歳以上	81	0.0	69.1	24.7	6.2
居 住 地 区	小作台・栄町	68	0.0	69.2	27.9	2.9
	川崎・玉川・羽・羽東	47	0.0	63.9	34.0	2.1
	神明台	52	1.9	69.3	26.9	1.9
	富士見平・双葉町	50	6.0	62.0	32.0	0.0
	羽加美・羽西・羽中	73	4.1	74.0	21.9	0.0
	五ノ神・緑ヶ丘	67	4.5	73.1	17.9	4.5

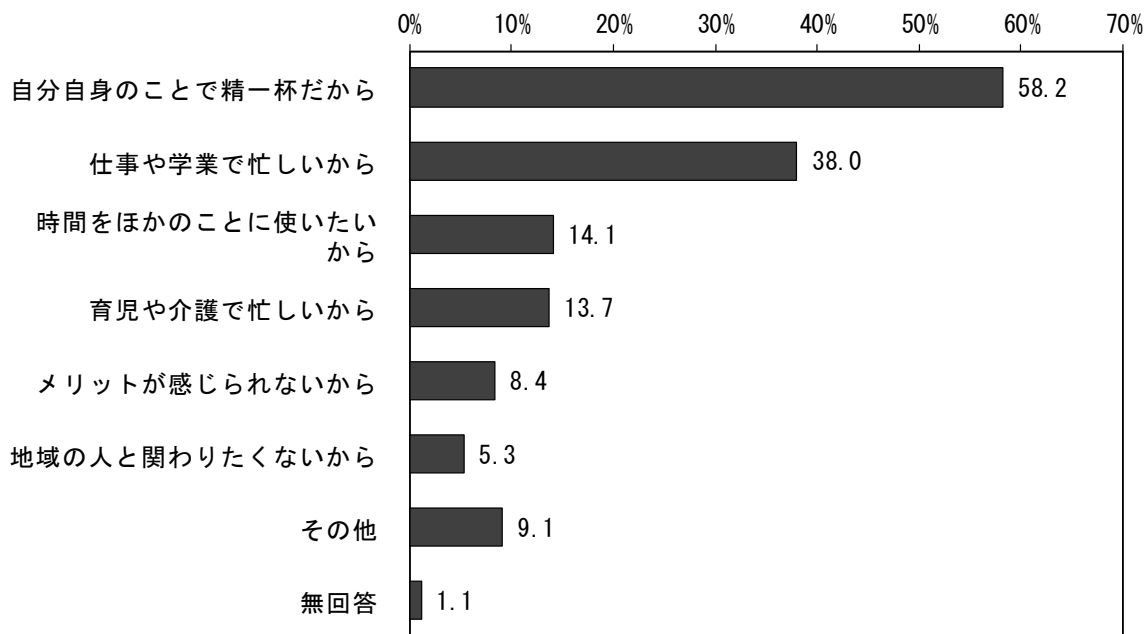
年齢で見ると、「なってみたい」は20～39歳が5.7%と最も高くなっています。一方で、75歳以上では回答が見られません。

居住地区で見ると、「なってみたい」は富士見平・双葉町が6.0%と最も高くなっています。一方で、小作台・栄町と川崎・玉川・羽・羽東では回答が見られません。

(39) 民生・児童委員になりたくない理由

問31-1 問31で「2. なりたいとは思わない」と答えた方に伺います。
そう答えた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 民生・児童委員になりたくない理由



■全体 (n=263)

民生・児童委員になりたくない理由について聞いたところ、「自分自身のことで精一杯だから」が58.2%と5割を超えて最も高くなっています。これに、「仕事や学業で忙しいから」が38.0%と3割を超えて続いています。

図表 民生・児童委員になりたくない理由（属性別）

（単位：％）

		n	自分自身のことで精一杯だから	仕事や学業で忙しいから	時間をほかのことに使いたいから	育児や介護で忙しいから	メリツトが感じられないから	地域の人と関わりたくないから	その他	無回答
全体		263	58.2	38.0	14.1	13.7	8.4	5.3	9.1	1.1
年齢	20～39歳	39	46.2	71.8	25.6	35.9	12.8	7.7	0.0	0.0
	40～54歳	61	39.3	75.4	11.5	21.3	6.6	3.3	3.3	1.6
	55～64歳	38	65.8	36.8	28.9	7.9	15.8	5.3	5.3	0.0
	65～74歳	53	66.0	11.3	7.5	3.8	3.8	5.7	13.2	3.8
	75歳以上	56	75.0	5.4	5.4	3.6	5.4	3.6	23.2	0.0
居住地区	小作台・栄町	47	68.1	34.0	14.9	10.6	8.5	4.3	10.6	0.0
	川崎・玉川・羽・羽東	30	66.7	23.3	20.0	6.7	0.0	3.3	10.0	0.0
	神明台	36	55.6	36.1	2.8	5.6	2.8	5.6	16.7	2.8
	富士見平・双葉町	31	45.2	45.2	9.7	12.9	3.2	3.2	6.5	3.2
	羽加美・羽西・羽中	54	48.1	50.0	13.0	22.2	13.0	3.7	11.1	1.9
	五ノ神・緑ヶ丘	49	63.3	40.8	24.5	18.4	14.3	8.2	4.1	0.0

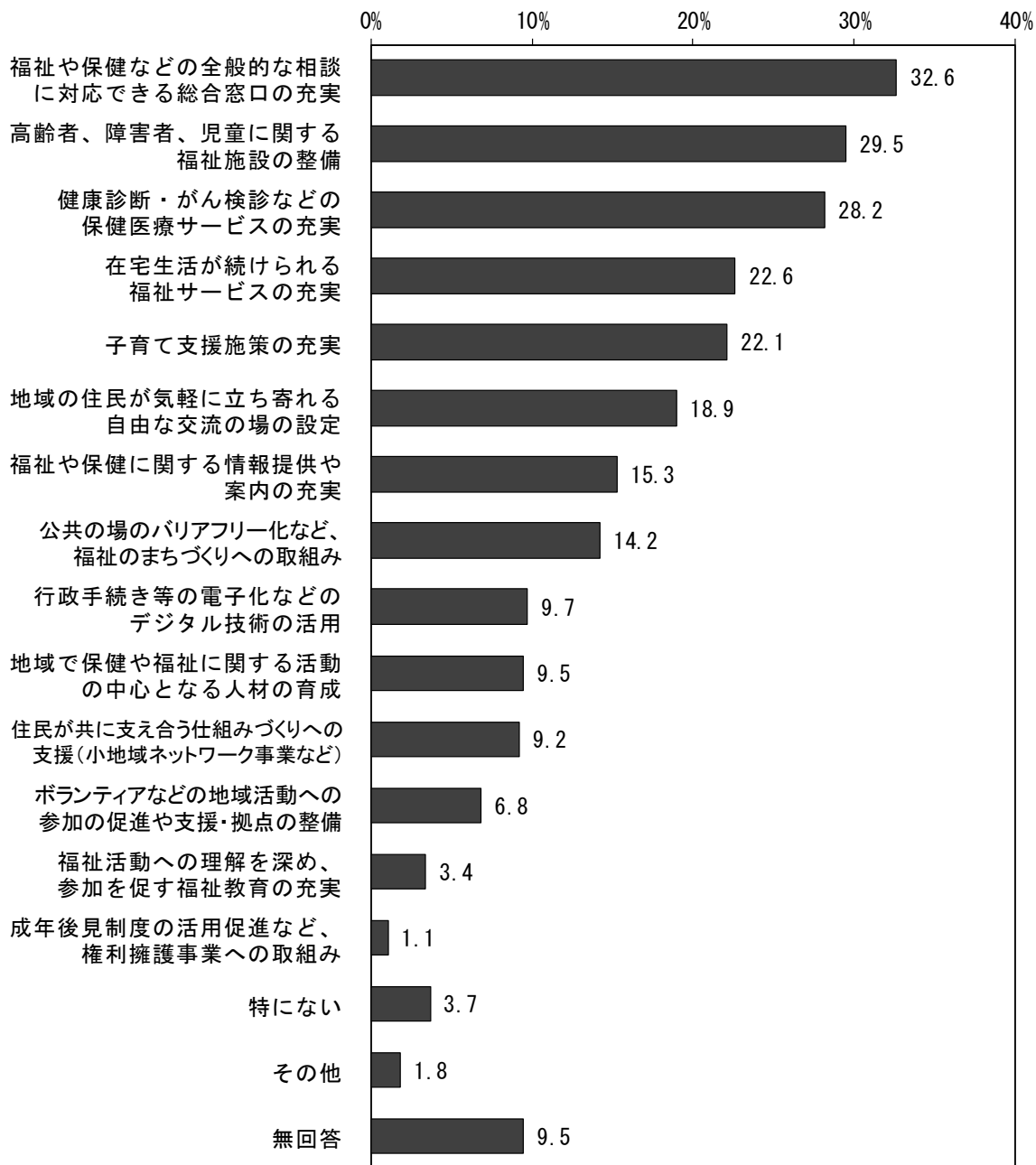
年齢で見ると、「仕事や学業で忙しいから」は20～39歳（71.8％）と40～54歳（75.4％）で全体（38.0％）を大きく上回っています。

居住地区で見ると、「仕事や学業で忙しいから」は川崎・玉川・羽・羽東（23.3％）が全体（38.0％）を14.7ポイント下回っています。

(40) 今後優先して取り組むべき施策

問 32 今後、羽村市が取り組むべき福祉施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

図表 今後優先して取り組むべき施策



■全体(n=380)

今後優先して取り組むべき施策について聞いたところ、「福祉や保健などの全般的な相談に対応できる総合窓口の充実」が32.6%と3割を超えて最も高くなっています。これに、「高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備」が29.5%、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」が28.2%、「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」が22.6%、「子育て支援施策の充実」が22.1%と2割を超えて続いています。

図表 今後優先して取り組むべき施策（属性別）

（単位：％）

	n	の充実	福祉や保健などの総合窓口	高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備	健康診断・がん検診などの充実	在宅生活が続けられる福祉サービスの充実	子育て支援施策の充実	立ち寄れる自由な交流の場の設定	地域の住民が気軽に情報提供や案内の充実	福祉や保健に関する	への取り組み	公共の場のバリアフリー化	活用	行政手続き等の電子化	人材の育成	関連する活動の中心となる	地域で保健や福祉に	ネットワーク支援（小地域）	住民が共に支え合う仕組み	支援・拠点の整備	ボランティアなどの地域		
全体	380	32.6	29.5	28.2	22.6	22.1	18.9	15.3	14.2	9.7	9.5	9.2	6.8										
年齢	20～39歳	53	32.1	28.3	34.0	9.4	66.0	17.0	5.7	15.1	22.6	7.5	11.3	5.7									
	40～54歳	83	30.1	24.1	34.9	13.3	31.3	9.6	14.5	13.3	20.5	14.5	4.8	6.0									
	55～64歳	59	49.2	32.2	33.9	25.4	10.2	10.2	18.6	18.6	6.8	3.4	8.5	5.1									
	65～74歳	81	35.8	34.6	27.2	35.8	14.8	17.3	17.3	17.3	2.5	14.8	11.1	8.6									
	75歳以上	81	28.4	37.0	22.2	29.6	4.9	39.5	21.0	9.9	2.5	7.4	13.6	7.4									
居住年数	5年未満	23	30.4	21.7	34.8	17.4	47.8	21.7	13.0	13.0	21.7	0.0	13.0	8.7									
	5～9年	25	40.0	28.0	20.0	12.0	44.0	16.0	16.0	12.0	24.0	20.0	16.0	0.0									
	10～19年	56	26.8	28.6	46.4	16.1	30.4	10.7	16.1	17.9	17.9	10.7	8.9	1.8									
	20～29年	59	33.9	37.3	39.0	18.6	20.3	15.3	8.5	15.3	6.8	8.5	8.5	5.1									
	30～39年	60	40.0	23.3	35.0	23.3	20.0	16.7	20.0	15.0	8.3	8.3	11.7	13.3									
	40年以上	119	37.0	37.0	18.5	34.5	13.4	27.7	17.6	14.3	4.2	11.8	8.4	8.4									
居住地区	小作台・栄町	68	27.9	30.9	27.9	20.6	11.8	17.6	11.8	16.2	14.7	14.7	13.2	10.3									
	川崎・玉川・羽・羽東	47	40.4	38.3	19.1	34.0	23.4	14.9	29.8	6.4	21.3	8.5	10.6	6.4									
	神明台	52	34.6	26.9	28.8	26.9	23.1	26.9	7.7	17.3	9.6	11.5	7.7	5.8									
	富士見平・双葉町	50	28.0	34.0	36.0	18.0	28.0	22.0	16.0	10.0	8.0	8.0	10.0	10.0									
	羽加美・羽西・羽中	73	42.5	34.2	31.5	16.4	26.0	21.9	19.2	16.4	4.1	12.3	8.2	4.1									
	五ノ神・緑ヶ丘	67	31.3	23.9	32.8	29.9	26.9	13.4	11.9	19.4	7.5	3.0	9.0	4.5									

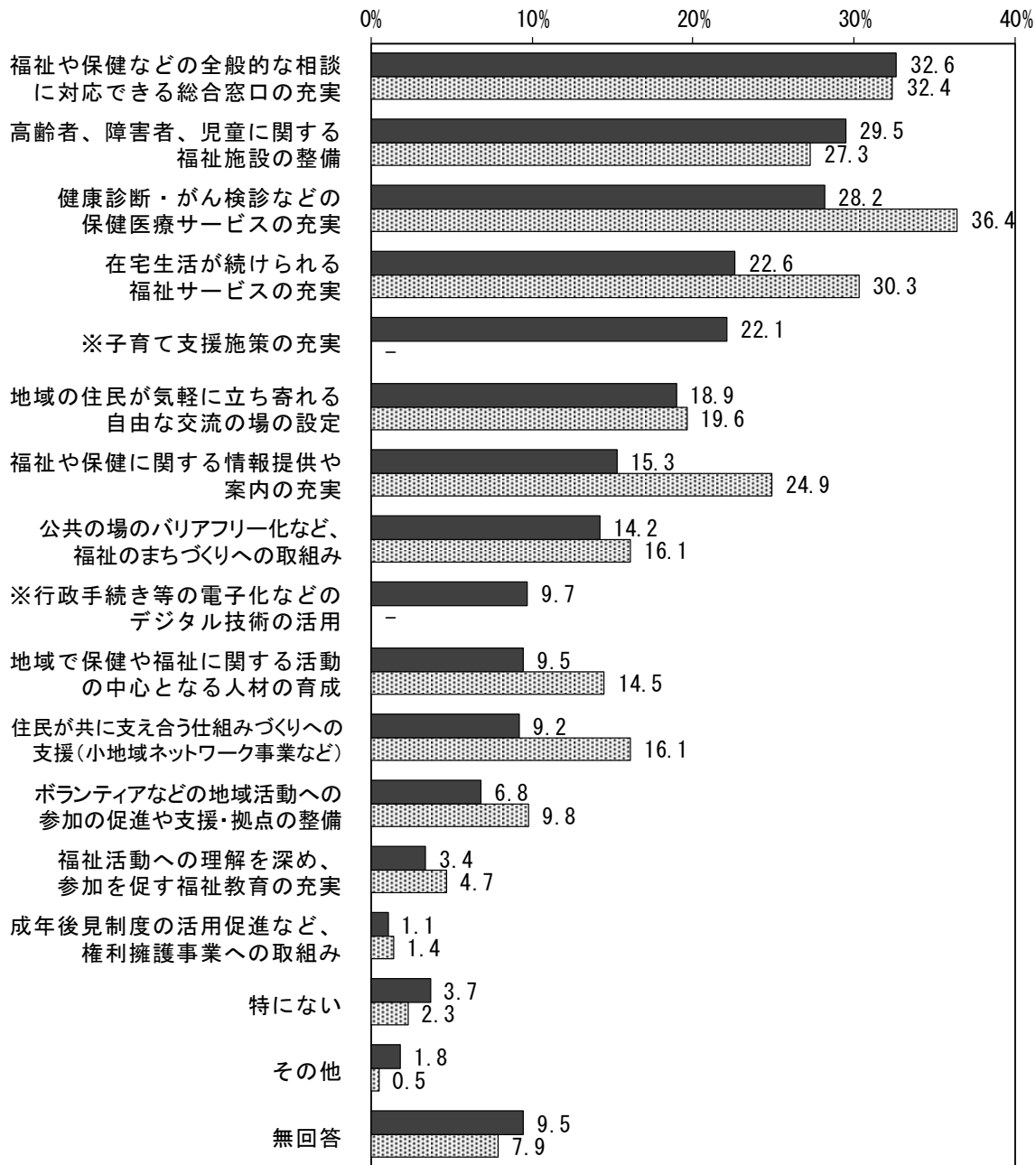
	n	福祉教育の充実	深め活動への理解を	福祉活動への取り組み	促進後見制度の活用	成年後見権の活用	特にな	その他	無回答
全体	380	3.4	1.1	3.7	1.8	9.5			
年齢	20～39歳	53	1.9	3.8	5.7	1.9	1.9		
	40～54歳	83	3.6	1.2	4.8	2.4	6.0		
	55～64歳	59	3.4	0.0	1.7	3.4	5.1		
	65～74歳	81	1.2	0.0	3.7	0.0	4.9		
	75歳以上	81	6.2	1.2	0.0	2.5	9.9		
居住年数	5年未満	23	0.0	4.3	0.0	0.0	8.7		
	5～9年	25	8.0	0.0	4.0	0.0	4.0		
	10～19年	56	1.8	1.8	5.4	0.0	3.6		
	20～29年	59	1.7	0.0	6.8	3.4	8.5		
	30～39年	60	1.7	1.7	3.3	3.3	5.0		
	40年以上	119	5.9	0.8	0.8	0.8	5.0		
居住地区	小作台・栄町	68	2.9	1.5	2.9	1.5	10.3		
	川崎・玉川・羽・羽東	47	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1		
	神明台	52	1.9	0.0	3.8	0.0	7.7		
	富士見平・双葉町	50	6.0	4.0	2.0	0.0	6.0		
	羽加美・羽西・羽中	73	5.5	0.0	5.5	2.7	4.1		
	五ノ神・緑ヶ丘	67	3.0	1.5	4.5	4.5	6.0		

年齢で見ると、「行政手続き等の電子化などのデジタル技術の活用」は20～39歳（22.6%）と40～54歳（20.5%）が全体（9.7%）を大きく上回っています。

居住年数で見ると、「子育て支援施策の充実」は5年未満（47.8%）と5～9年（44.0%）が全体（22.1%）を大きく上回っています。

居住地区で見ると、川崎・玉川・羽・羽東で「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」（34.0%）と「福祉や保健に関する情報提供や案内の充実」（29.8%）と「行政手続き等の電子化などのデジタル技術の活用」（21.3%）が全体を大きく上回っています。

図表 今後優先して取り組むべき施策（時系列）



※印は今回調査からの新規項目

■ 令和4年度 (n=380)

▨ 平成28年度 (n=429)

今後優先して取り組むべき施策について時系列で見ると、「福祉や保健などの全般的な相談に対応できる総合窓口の充実」(32.6%)と「高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備」(29.5%)の2項目で平成28年度から割合が高くなっています。一方で、「福祉や保健に関する情報提供や案内の充実」(15.3%)が平成28年度(24.9%)から9.6ポイント低くなっています。

(41) 自由回答

問 33 羽村市では、令和4年度にスタートした第六次羽村市長期総合計画において、「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」を将来像に掲げ、「生涯にわたり、だれもが、家庭、学校、職場、地域などで、自分らしい生き方ができるまちを目指す」こととし、さまざまな取組みを推進しています。こうしたまちの実現に向け、お気づきの点があれば、ご意見をご自由にお書きください。

図表 自由回答の分類結果

内容	件数
①高齢者・介護の分野	11
住居	2
その他	9
②障害者の分野	7
障害児	2
その他	5
③子ども・児童・家庭・子育て分野	22
子育て支援	11
教育	11
④防災・防犯分野	7
防災・災害対策	2
防犯・治安	5
⑤まちづくり	29
区画整理・開発事業	8
街灯	5
歩道・道路の整備	7
公共交通	3
自然・環境	2
その他	4
⑥その他	75
市政全体	14
町内会	12
財政	10
産業・労働	4
人口	3
医療	3
相談体制	2
情報周知	2
その他	25

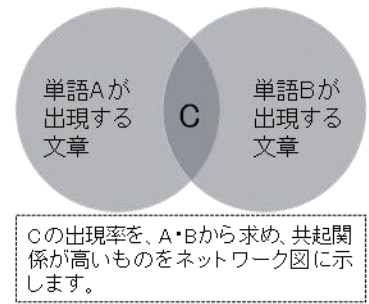
記入いただいた自由回答を6つのカテゴリーに分類しました。

「⑤まちづくり」が29件で最も多くなっています。その内訳として、「区画整理・開発事業」(8件)、「歩道・道路の整備」(7件)、「街灯」(5件)が多くあがっています。

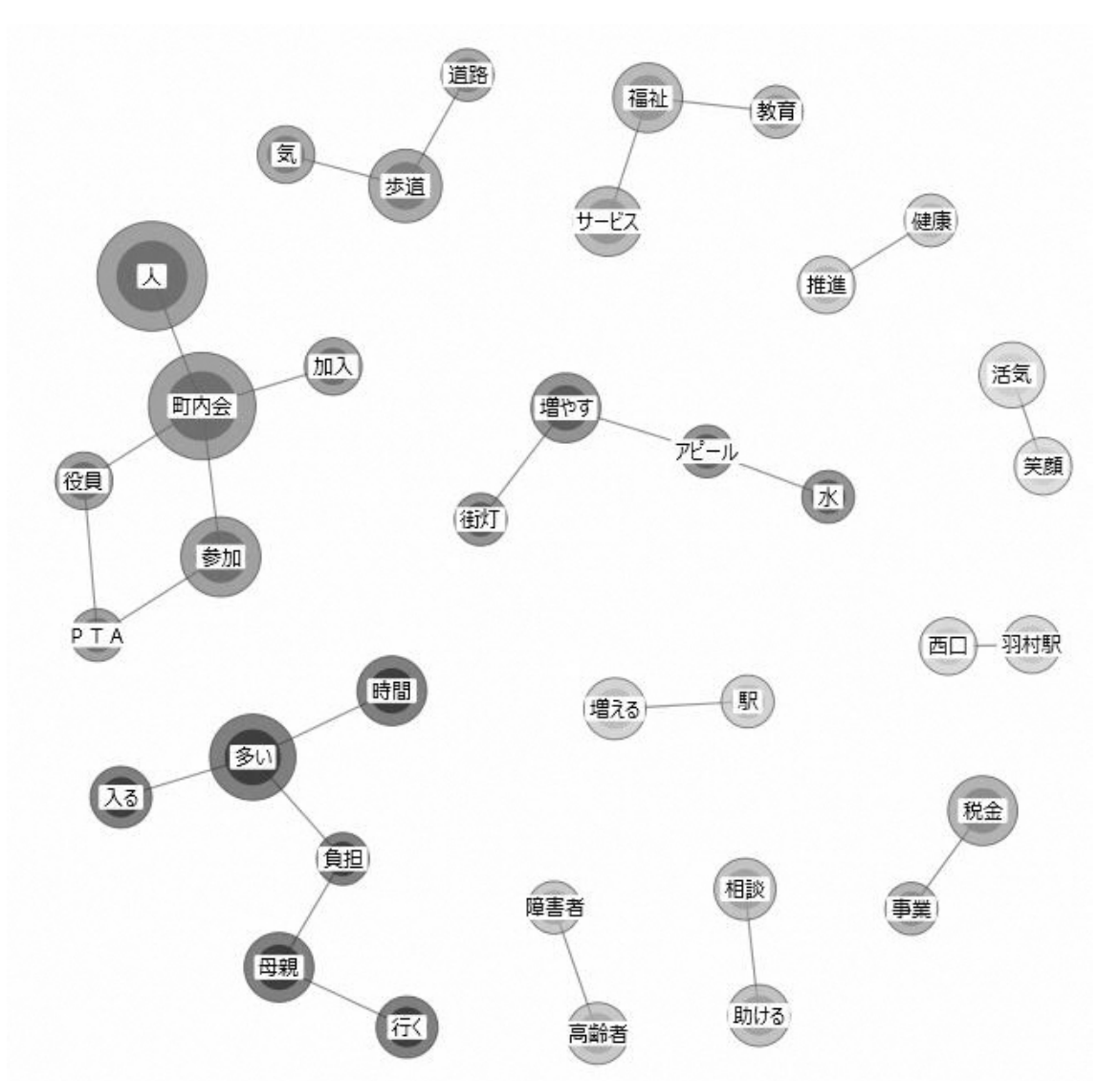
自由意見の中から、語と語の共起関係を把握し、膨大な文章の中からキーワードとなる語を探すため、テキストマイニングによる共起ネットワーク図を作成しました。

「図表 自由回答の共起ネットワーク」において、円の大きさは単語の出現頻度、円と円をつなぐ線は、同じ文章中出现することが多い単語同士であることを示しています。

町内会の加入や参加については、役員負担についてなどの意見が見られます。活気と笑顔については、今後どのように活気や笑顔を増やしていくのかという意見が見られます。道路や歩道を歩く際に、気になることや気を付けることがあるというような意見、街灯を増やしてほしいというような意見も見られました。



図表 自由回答の共起ネットワーク



羽村市地域福祉に関するアンケート調査

～調査ご協力のお願い～

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、羽村市では地域福祉推進のため各種の施策を実施しておりますが、令和5年度において、地域福祉を一体的・計画的に推進するための「第六次羽村市地域福祉計画」を策定する予定です。

策定にあたり、市民の皆様の地域福祉に関する生活実態やご要望などを把握するため、住民基本台帳から無作為に抽出された20歳以上の市民の方1,000人を対象として「羽村市地域福祉に関するアンケート調査」を実施することといたしました。（令和4年10月25日基準日）

なお、調査は無記名で行い、回答はすべて統計的に処理しますので、お答えいただいた方が特定されることはなく、ご迷惑をおかけすることはありません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

－ ご記入にあたってのお願い －

- 本調査票は、できるかぎり、あて名のご本人がお答えいただきますようお願いいたします。
また、ご本人がお答えになれない場合は、ご本人に代わってご家族がご本人のことをお答えください。
- 無記名方式ですので、お答えいただいた内容でご迷惑をおかけすることはありません。
ありのままのお考え、状況をお答えください。
- お答えは（○はひとつ）、（あてはまるものすべてに○）などの指示に従って、該当する項目の番号に○印をつけてください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に内容を具体的にご記入ください。
- 回答によって、答えなくてもよい質問があります。質問中の指示に従ってお進みください。
- 記入された調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

令和4年12月7日(水) までに投函してください。

- ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問合せは下記へお願いします。

羽村市福祉健康部社会福祉課庶務係 TEL 042-555-1111 内線477
FAX 042-555-7323

地域での暮らしについて

問1 あなたが現在お住まいの地域での暮らしやすさについて、どの程度満足していますか。
(項目ごとに○はひとつ)

	かなり満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	かなり不満である
①隣近所などのおつきあい	1	2	3	4	5
②町内会・自治会の活動	1	2	3	4	5
③地域でのボランティア活動	1	2	3	4	5
④地域の防犯体制	1	2	3	4	5
⑤地域の防災体制	1	2	3	4	5
⑥福祉・保健の相談体制	1	2	3	4	5
⑦病院など医療関係施設	1	2	3	4	5
⑧高齢者が安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5
⑨障害のある方が安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5
⑩子どもが安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5
⑪総合的な満足度	1	2	3	4	5

問2 地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 隣近所などのおつきあい	6. 福祉・保健の相談体制
2. 町内会・自治会の活動	7. 病院など医療関係施設
3. 地域でのボランティア活動	8. 高齢者が安心して暮らせる環境
4. 地域の防犯体制	9. 障害のある方が安心して暮らせる環境
5. 地域の防災体制	10. 子どもが安心して暮らせる環境

問3 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 自分の健康 | 6. 経済的な問題 |
| 2. 家族の健康 | 7. 老後・将来のこと |
| 3. 子育ての問題 | 8. 隣近所との関係 |
| 4. 介護の問題 | 9. 特にない |
| 5. 自分や家族の生活上（進学・就職・結婚
など）の問題 | 10. その他（ ） |

問3-1 問3で「6. 経済的な問題」に○をつけた方に伺います。

経済的な問題が生じている理由としてはどのようなものが考えられますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 求職中だが、仕事が決まらない |
| 2. 仕事をしているが、収入が十分でない |
| 3. 病気や障害で、仕事をするのが困難になった |
| 4. 債務があるため、返済が家計を圧迫している |
| 5. 仕事をしていない家族の生活費を負担している |
| 6. 家計管理が苦手であり、収支の管理が難しい |
| 7. その他（ ） |

問4 悩みや不安がある時には、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 8. 福祉サービス事業者（ケアマネジャー、利用施設等） |
| 2. 友人・知人 | 9. ボランティア |
| 3. 近所の人 | 10. 民間の電話相談 |
| 4. 職場の人 | 11. 相談できる人がいない・相談先がわからない |
| 5. 市の相談窓口 | 12. 誰にも相談したくない |
| 6. 社会福祉協議会の相談窓口 | 13. 特にない |
| 7. 民生・児童委員 | 14. その他（ ） |

問5 あなたは、日頃、隣近所とどのようなつきあい方をしていますか。(○はひとつ)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 困った時には相談したり、助け合ったりしている | 3. たまに立ち話をする程度 |
| 2. 一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度 | 4. 会えばあいさつをかわす程度 |
| | 5. つきあいがほとんどない |

問6 今後、隣近所とはどの程度のつきあい方を望んでいますか。(○はひとつ)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 困った時には相談したり、助け合ったりする | 3. たまに立ち話をする程度 |
| 2. 一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度 | 4. 会えばあいさつをかわす程度 |
| | 5. つきあいはほとんどしない |

問7 あなたが、高齢になったときや、病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人にどのようなことをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 7. 話し相手や相談相手 |
| 2. 災害時の手助け | 8. 具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する |
| 3. 買い物やゴミ出し | 9. 特にない |
| 4. 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い | 10. その他 () |
| 5. 通院の送迎や外出の手助け | |
| 6. 子どもの預かり | |

問8 あなたがお住まいの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、高齢、障害、子育てなどで困っているご家庭があった場合、あなたにできることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 7. 話し相手や相談相手 |
| 2. 災害時の手助け | 8. 具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する |
| 3. 買い物やゴミ出し | 9. 特にない |
| 4. 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い | 10. その他 () |
| 5. 通院の送迎や外出の手助け | |
| 6. 子どもの預かり | |

問9 あなたは、地域での生活で生じる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. かなり必要だと思う | 4. あまり必要だと思わない |
| 2. まあ必要だと思う | 5. ほとんど必要だと思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問9-1 問9で「1. かなり必要だと思う」「2. まあ必要だと思う」に○をつけた方に伺います。どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 自ら進んで日頃から住民相互のつながりを持つように心がけること |
| 2. 仕事を持っている人や退職者が地域の活動に積極的に参加すること |
| 3. 町内会・自治会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること |
| 4. ボランティアやNPO（民間非営利組織）の活動を盛んにすること |
| 5. 支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保 |
| 6. 支える人と支えられる人を調整する機関 |
| 7. 支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進 |
| 8. 地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの結成 |
| 9. 地域の人が気楽に集まれる場所をつくること |
| 10. 地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること |
| 11. 行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること |
| 12. 行政、事業者、ボランティア・NPO（民間非営利組織）と住民組織との連携 |
| 13. わからない |
| 14. その他（) |

問10 あなたは、災害がおこった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 災害直後の安否確認や声かけ | 5. 支援は特に必要ない |
| 2. 災害や避難に関する情報提供 | 6. わからない |
| 3. 避難所などへの移動の支援 | 7. その他（) |
| 4. 避難所の運営の協力 | |

問11 あなたは、地域における助け合い・支え合いの意識を育むために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 福祉に関する情報発信の充実 | 5. 子どもへの福祉教育の推進 |
| 2. 福祉に関する講習や研修の充実 | 6. 地域のことを話し合う場の充実 |
| 3. 多世代交流の場の充実 | 7. 特にない |
| 4. 障害のある方との交流の場の充実 | 8. その他 () |

問12 あなたは、ボランティアやNPO（民間非営利組織）といった住民同士による、地域における助け合い・支え合い活動にどの程度期待していますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. かなり期待している | 4. あまり期待していない |
| 2. まあ期待している | 5. ほとんど期待していない |
| 3. どちらともいえない | |

問13 あなたは、地域で生活する中で、次のようなことで悩んだり、困ったりしたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 悩みや困りごとをどこに相談すればよいかわからなかった |
| 2. 悩みや困りごとを相談したが、たらい回しにされた |
| 3. 地域の活動に参加したかったが、情報がなかった |
| 4. 地域の活動に参加したかったが、魅力的な活動がなかった |
| 5. 特に悩んだり、困ったりしなかった |
| 6. その他 () |

地域活動への参加について

問14 あなたは、地域の活動に参加していますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問14-1 問14で「1. はい」に○をつけた方に伺います。

あなたが、地域で参加している活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 町内会・自治会での活動
2. 学校、PTA等の活動
3. 青少年の課外（学校以外の）活動
4. 高齢者クラブでの活動
5. 小地域ネットワーク活動（社会福祉協議会が推進する活動）
6. 文化・スポーツ団体活動（指導を含む）
7. ボランティアやNPO（民間非営利組織）などにおける地域活動
8. その他（ ）

問14-2 問14で「2. いいえ」に○をつけた方に伺います。

地域の活動へ参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や家事が忙しく時間がとれないため
2. 活動したいが、きっかけがないため
3. 興味を持てる活動がないため
4. 活動したいが情報がなかったため
5. 健康に自信がないため
6. 継続して活動に参加できるか不安
7. 身近に活動グループや仲間がないため
8. 地域とは関係なく共通の趣味や目的を持った団体等の活動に参加しているため
9. その他（ ）

問14-3 問14で「2. いいえ」に○をつけた方に伺います。

どのような条件が整えば、地域の活動に参加しやすくなりますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 時間や収入にゆとりがあること
2. とともに活動する仲間や友人がいること
3. 趣味や特技が活かせること
4. 誰でも簡単にできること
5. 家の近くでできること
6. わずかな時間（2～3時間）でできること
7. 活動に必要なお金の支援があること
8. ボランティア講座など知識や技術を学べる機会があること
9. 条件にかかわらず地域活動に参加したくない
10. その他（ ）

問15 あなたが、今後参加したいと思う地域の活動はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 町内会・自治会での活動	6. 文化・スポーツ団体活動（指導を含む）
2. 学校、PTA等の活動	7. ボランティアやNPO（民間非営利組織）な どにおける地域活動
3. 青少年の課外（学校以外の）活動	8. 特に参加するつもりはない
4. 高齢者クラブでの活動	9. その他（ ）
5. 小地域ネットワーク活動（社会福祉協議会 が推進する活動）	

市の福祉施策や制度・サービスについて

問16 羽村市について、どのような印象をお持ちですか。(項目ごとに○はひとつ)

	そう思う	どちらかとい うとそう 思う	そうは思わ ない	わからない
①子育て家族が暮らしやすいまち	1	2	3	4
②障害のある方が暮らしやすいまち	1	2	3	4
③高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4
④地域住民の活動が盛んなまち	1	2	3	4
⑤困った時に隣近所で助け合えるまち	1	2	3	4

問17 あなたは、行政や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族から	8. 市広報紙や市の発行するパンフレットから
2. 友人・知人から	9. 市の公式サイト、公式SNS（Twitter、Facebook等）、 メール配信サービスから
3. 近所の人から	10. 直接市役所に相談する
4. 民生・児童委員から	11. 特にない
5. 社会福祉協議会から	12. その他（ ）
6. 地域包括支援センターから	
7. 地域活動支援センターから	

問18 あなたは、羽村市の福祉や保健に関わる次のような相談窓口や相談機関をご存じですか。
(項目ごとに○はひとつ)

	知っており、利用 したことがある	知っているが、利 用したことはない	知らない
①地域包括支援センター	1	2	3
②地域活動支援センター	1	2	3
③子育て世代包括支援センター (母子保健・相談係、子ども家庭支援 センター、ひとり親・女性生活相談)	1	2	3
④社会福祉協議会	1	2	3
⑤保健センター(健康課、健康相談)	1	2	3
⑥民生・児童委員	1	2	3
⑦生活自立相談窓口	1	2	3

問19 あなたを含め、家族の中で最近1年間に、高齢者や障害者、子育て支援などに関する福祉サービスを利用した人がいますか。(○はひとつ)

1. 自分自身が利用した	3. 自分と家族の両方が利用した
2. 家族が利用した	4. 自分も家族も利用していない

問19-1 問19で「1. 自分自身が利用した」「2. 家族が利用した」「3. 自分と家族の両方が利用した」に○をつけた方に伺います。

福祉サービスの利用にあたって、スムーズに利用開始することができましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. スムーズに利用できた	5. 仕組みが複雑だった
2. 相談先がわかりづらかった	6. 市役所の説明がわかりづらかった
3. 手続きが複雑だった	7. 事業者の情報がわかりづらかった
4. 利用のための情報が入手しにくかった	8. その他 ()

問19-2 問19で「1. 自分自身が利用した」「2. 家族が利用した」「3. 自分と家族の両方が利用した」に○をつけた方に伺います。

利用した福祉サービスに満足していますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. かなり満足している | 4. やや不満である |
| 2. まあ満足している | 5. かなり不満である |
| 3. どちらともいえない | |

問20 あなたは、羽村市には福祉サービスが利用しやすい環境が整っていると思いますか。

(○はひとつ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. かなり整っていると思う | 4. あまり整っていないと思う |
| 2. まあ整っていると思う | 5. ほとんど整っていないと思う |
| 3. どちらともいえない | |

問21 福祉サービスを利用しやすい環境を整備するため、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. サービスの種類、量の確保 | 5. 相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置 |
| 2. サービスの質の向上 | 6. 経済的な負担の軽減 |
| 3. わかりやすい情報の提供 | 7. その他 () |
| 4. 障害のある方や高齢者に対する配慮 | |

問22 福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(○はひとつ)

- | |
|---|
| 1. 福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない |
| 2. 行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである |
| 3. 行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである |
| 4. まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである |
| 5. わからない |
| 6. その他 () |

問23 福祉サービスの充実と税金等の負担について、どのように考えますか。(○はひとつ)

- | |
|--|
| 1. 税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今より充実させるべきである |
| 2. 税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい |
| 3. 税金等の負担は現状程度にして、住民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである |
| 4. 福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである |
| 5. その他 () |

問24 あなたは、次の用語を知っていますか。(項目ごとに○はひとつ)

	内容を知っていた	名前は聞いたことがあるが、内容は知らなかった	名前も内容も知らなかった
①成年後見制度	1	2	3
②市民後見人	1	2	3
③地域福祉権利擁護事業	1	2	3
④小地域ネットワーク活動	1	2	3
⑤再犯防止	1	2	3
⑥保護司	1	2	3
⑦ヤングケアラー	1	2	3
⑧民生・児童委員	1	2	3
⑨生活困窮者自立支援制度	1	2	3

※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方に代わって、後見人等が財産を管理したり、契約を結んだりして、保護や支援する制度です。

※市民後見人とは、本人と親族関係がない専門職以外の人で、成年後見制度に関する一定の知識や技術を身に付けた上で、家庭裁判所から選任された成年後見人のことです。

※地域福祉権利擁護事業とは、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力が十分でない方を対象に、利用者との契約に基づき、日常的な金銭管理サービス、重要書類の預かり等の支援を行う事業です。

※小地域ネットワーク活動とは、地域の中で悩みを抱えている方が、孤立することなく、安心して暮らしていけるよう、町内会・自治会の区域を単位として住民が交流し、見守りや声かけによって支え合う取り組みです。

※再犯防止とは、犯罪や非行をした人が再び罪を犯さないように指導・支援する取り組みです。

※保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティアです。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされています。

※民生・児童委員とは、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、給与の支給はなく（無報酬）、地域住民の立場にたって、地域の福祉を担う活動をしています。

※生活困窮者自立支援制度とは、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図る制度です。

問25 あなたは、金銭管理や財産管理、福祉サービスの利用や医療機関への入院の手続き等を自身で行うのが難しくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 利用したいと思う | 2. 利用したいと思わない |
|-------------|---------------|

問26 あなたは、市民後見人になってみたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|---------------|----------|
| 1. なってみたい | 2. なりたいとは思わない | 3. わからない |
|-----------|---------------|----------|

問27 再犯防止を進めるために、あなたが協力できると思うことをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する |
| 2. 再犯防止について身の周りの人に話したり、情報発信したりする |
| 3. 協力雇用主（犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主）として雇用する |
| 4. 再犯防止について学ぶ機会に参加する |
| 5. わからない |
| 6. その他（) |

問28 再犯防止を進めるために、市がすべきだと思うことをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 犯罪をした人に対する支援ネットワークをつくる |
| 2. 再犯防止に協力するボランティアに、活動場所の提供や財政的な支援をする |
| 3. 住民に対する広報・啓発活動をする |
| 4. 刑期を終えて出所した人を市の機関で雇用する |
| 5. わからない |
| 6. その他（) |

問29 あなたの身の回りに、ヤングケアラーと思われる子どもはいますか。(○はひとつ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問30 もしも、身の回りでヤングケアラーと思われる子どもがいることを知った場合、あなたはどのような対応をとると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 関係機関に相談する | 4. 何もしない |
| 2. 家族、知人、友人に相談する | 5. わからない |
| 3. 本人に様子を聞く | 6. その他 () |

問31 あなたは、民生・児童委員になってみたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|---------------|----------|
| 1. なってみたい | 2. なりたいとは思わない | 3. わからない |
|-----------|---------------|----------|

問31-1 問31で「2. なりたいとは思わない」と答えた方に伺います。

そう答えた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 仕事や学業で忙しいから | 5. 地域の人と関わりたくないから |
| 2. 育児や介護で忙しいから | 6. 自分自身のことで精一杯だから |
| 3. メリットが感じられないから | 7. その他 () |
| 4. 時間をほかのことに使いたいから | |

問32 今後、羽村市が取り組むべき福祉施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援・拠点の整備
2. 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（小地域ネットワーク事業など）
3. 地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定
4. 地域で保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成
5. 福祉や保健などの全般的な相談に対応できる総合窓口の充実
6. 在宅生活が続けられる福祉サービスの充実
7. 福祉や保健に関する情報提供や案内の充実
8. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
9. 成年後見制度の活用促進など、権利擁護事業への取り組み
10. 子育て支援施策の充実
11. 福祉活動への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実
12. 高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備
13. 公共の場のバリアフリー化など、福祉のまちづくりへの取り組み
14. 行政手続き等の電子化などのデジタル技術の活用
15. 特にない
16. その他（）

問33 羽村市では、令和4年度にスタートした第六次羽村市長期総合計画において、「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」を将来像に掲げ、「生涯にわたり、だれもが、家庭、学校、職場、地域などで、自分らしい生き方ができるまちを目指す」こととし、さまざまな取り組みを推進しています。こうしたまちの実現に向け、お気づきの点があれば、ご意見をご自由にお書きください。

最後に、あなたご自身のことについて伺います。

F 1	あなたの性別（○はひとつ）	1. 男性 2. 女性
F 2	あなたの年齢（数値を記入）	（ ）歳
F 3	あなたの職業（○はひとつ）	1. 正社員・正職員 5. 学生 2. 派遣・契約社員 6. 家事専業 3. 自営業・自由業（農林 7. 無職 業含む） 8. その他 4. アルバイト・パートタ （ ） イム
F 4	あなたの羽村市での居住年数 （数値を記入）	（ ）年
F 5	あなたのお住まいの地区 （○はひとつ）	1. 小作台 9. 羽中 2. 川崎 10. 羽東 3. 五ノ神 11. 羽西 4. 栄町 12. 富士見平 5. 神明台 13. 双葉町 6. 玉川 14. 緑ヶ丘 7. 羽 15. その他 8. 羽加美 （ ）
F 6	あなたのお住まいは次のうちどれ ですか。（○はひとつ）	1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 3. 民間の賃貸住宅（一戸建て） 4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅） 5. 公営住宅 6. 社宅（会社が借り上げているアパート等含む） 7. 学生寮 8. その他（ ）
F 7	あなたのご家族は何人ですか。あ なた自身も含めてください。 （数値を記入）	（ ）人

F 8	<p>あなたが一緒に住んでいるのはどなたですか。（○はひとつ） （カッコ内にA～Cの選択肢がある場合は該当項目にも○）</p>	<p>1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世世代家族（A. 親と同居 B. 子どもと同居） 4. 三世世代家族（ A. 子どもと孫と同居 B. 親と子どもと同居 C. 親とその親と同居 ） 5. その他（ ）</p>
F 9	<p>あなたの世帯に次のような人はいますか。（○はいくつでも）</p>	<p>1. 小学校入学前の子ども 2. 小学生から高校生の子ども 3. 日常生活を送る上で介護を必要とする方 4. 障害のある方 5. 「ひきこもり（※注1）」の状態にある方 6. 「ニート（※注2）」の状態にある方 7. 65～74歳の方 8. 75歳以上の方 9. 該当なし</p>
F 10	<p>F 9で「5. 『ひきこもり』の状態にある方」に○をつけた方に伺います。</p> <p>「ひきこもり」の状態にある方の年齢をお答えください。（あてはまるものすべてに○） また、カッコ内に「ひきこもり」の状態になってからの年数をお書きください。</p>	<p>1. 10代 （ 年） 5. 50代 （ 年） 2. 20代 （ 年） 6. 60代 （ 年） 3. 30代 （ 年） 7. 70代 （ 年） 4. 40代 （ 年） 8. 80代以上（ 年）</p>

※注1：仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人と交流をほとんどせずに、6か月以上自宅にひきこもっている状態にある方

※注2：15～34歳で、仕事についていない方のうち、家事も通学もしていない方

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。


羽村市地域福祉計画策定基礎調査
《 報 告 書 》

令和5年3月

発 行

羽村市福祉健康部社会福祉課
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5丁目2番地1
電話 042-555-1111（代表）



リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。